令和６年７月 30 日
生涯学習審議会資料⑤

生涯学習の推進に向けて

（最終案）

宇治市教育委員会

目次

１．　はじめに　Ｐ　２

２．　生涯学習とは　Ｐ　５

３．　宇治市生涯学習の歩み　Ｐ　７

４．　宇治市生涯学習審議会と宇治市教育委員会会議での意見　Ｐ１０

５．　次代を見据えた生涯学習の推進に向けて　Ｐ１２

６．　結びに　Ｐ１５

１．はじめに

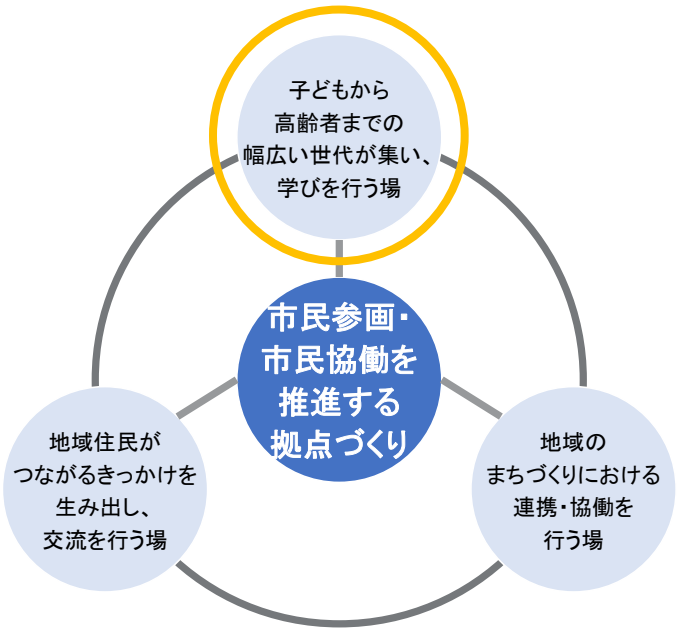
これまでから市民の生涯学習のニーズに応えるため、生涯学習センターや公民館、図書館などの公共施設において各種事業や講座を実施するとともに、市民自らが幅広い分野で学び合える環境整備を進めてまいりました。

また、学びの成果を活かしてボランティアとして活動される方や、発表の機会を通じて新たな学びの輪や繋がりを生みだす方など、生涯学習を通じて様々な場面で活躍され、地域社会の活力醸成に貢献していただいています。

この間、令和 4 年 4 月には「市民協働によるこれからの公共施設に向けて～公共施設の将来像～」（以下、「公共施設の将来像」）を取りまとめ、市内の公共施設についての方向性を示しています。

・時代の流れに伴う社会情勢の変化により、新たな行政サービスの需要が生じており、これからの時代に応じた公共施設へと見直しを行う。
・将来のまちづくりも見据えた新たな付加価値の創出を図る。
・次世代に過大な負担を残さないためにも、長期的な視点に立った長寿命化対策や更新等を進めつつ、集約化・複合化といった取組を進め、公共施設総量の適正化を図る。

集約化・複合化された公共施設は、その機能の一つとして、**子どもから高齢者までの幅広い世代が集い、学びを行う場**となると示しています。

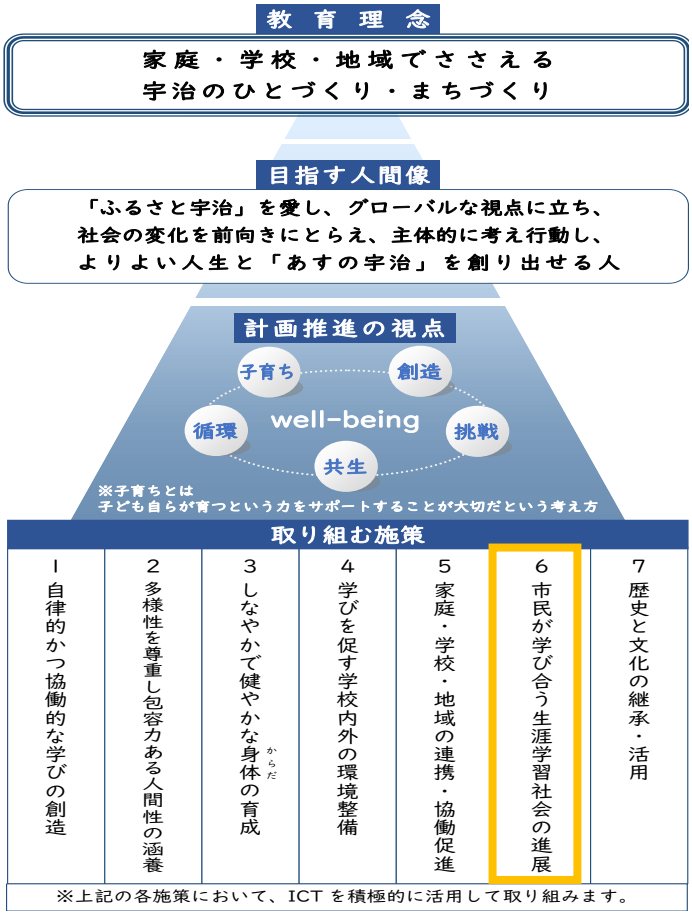


＜市民協働によるこれからの公共施設に向けて～公共施設の将来像～より＞

同じく令和４年４月には「宇治市第２次教育振興基本計画」を策定し、「市民が学び合う生涯学習社会の進展」を施策の一つに掲げました。本計画は市政の最上位計画である「宇治市第６次総合計画」の教育分野計画に位置付けられ、計画期間は総合計画と同じ令和４年度から 15 年度までの 12 年間となります。

主な取組は以下のとおりです。

- 市民が学んだ成果を地域や社会に還元する「市民が学び合う生涯学習社会」の進展を目指します。
- 人生 100 年時代が到来し、社会情勢の変化が著しい現代にあって、市民一人ひとりが学びを通して豊かな人生を送ることができるよう、多様なニーズに応じた学びを推進します。
- 講座履修後に自主的な学習活動やイベントでの学習成果の発表を行うなど、「市民が学び合う生涯学習社会」を推進する仕組みの充実を図ります。
- 地域における豊かな学びを推進するため、多様な主体が協働し、共に学び合えるよう努めます。



＜宇治市第２次教育振興基本計画より＞

現代社会においては、急速なデジタル化や新型コロナウイルス感染症対策から生まれた「新しい日常」など、社会情勢や人々の価値観・ライフスタイルが非常に速いスピードで変化しています。

これまでの生涯学習活動で大切にされてきた「人々が対面で集い、学ぶ」ことは、知識を得ることにとどまらず、直接的なコミュニケーションを通じてお互いの存在やつながりを強く感じることができるなど様々な効果があり、社会の状況が変化する中においてもその重要性や必要性は変わりません。一方で、新型コロナウイルス感染症による社会変容やデジタル技術の急速な発展などにより、多様化する新たな学びのニーズに対応していくことが求められています。

その中で、国において令和 5 年 6 月に閣議決定された「第 4 期教育振興基本計画」において、教育基本法の理念や目標の実現を目指すことはこれからの時代においても、教育の「不易（いつまでも変わらないこと）」であり、この「不易」を実現するためには、社会や時代の「流行」を取り入れることが必要とされているところです。

こうしたことから、宇治市においても、変化の激しい社会情勢の中で市民が学び合う生涯学習の進展のために、時代に応じた新しい視点を取り入れていくことが必要です。また、「公共施設の将来像」に基づき集約化、複合化していく公共施設が新たな学びの場となることから、改めて生涯学習の役割や意義を再確認するとともに、「公民館の今後のあり方（最終案）」を見直し、公民館のあり方を含む今後の生涯学習推進の方向性を示すものです。

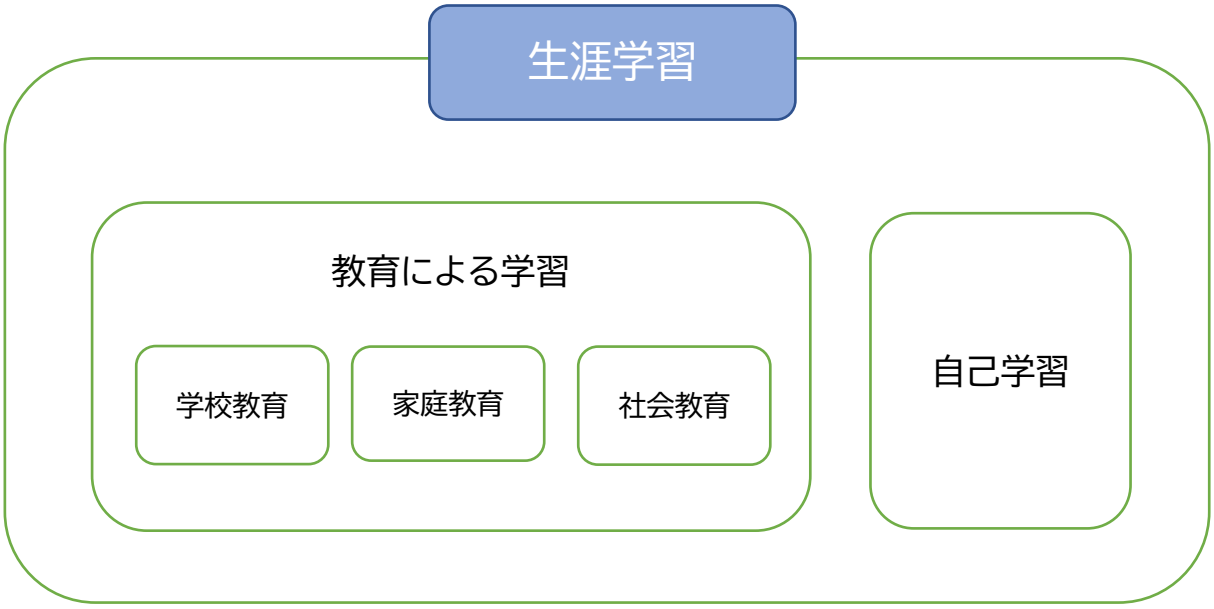
２．生涯学習とは

教育基本法に生涯学習の理念が以下のとおり定められています。

《教育基本法第３条》
「国民一人一人が、自己の人格を磨き、豊かな人生を送ることができるよう、その**生涯にわたって、あらゆる機会に、あらゆる場所において学習することができ、その成果を適切に生かすことのできる社会の実現**が図られなければならない」

また、文部科学省白書において、生涯学習とは以下のとおり定義されています。

「生涯学習」とは，一般には人々が生涯に行うあらゆる学習，すなわち，学校教育，家庭教育，社会教育，文化活動，スポーツ活動，レクリエーション活動，ボランティア活動，企業内教育，趣味など様々な場や機会において行う学習の意味で用いられます。また，人々が，生涯のいつでも，自由に学習機会を選択し学ぶことができ，その成果が適切に評価される社会を指すものとして「生涯学習社会」という言葉も用いられます。
＜令和元年度　文部科学白書より＞



具体的な生涯学習の例は以下のとおりです。

・生涯学習センター、公民館、図書館、地域福祉センター、男女共同参画支援センターなどで開催される講座や教室などに参加
・地域の人たちとともに、コミュニティセンターで作品を共同創作
・図書館で本を借りて読む
・博物館や美術館で展覧会・展示会を鑑賞
・スポーツ少年団に入って活動
・民間のパソコン講座や英会話教室、あるいは音楽教室などで勉強
・友人と社会福祉や環境問題に関するグループをつくり、自宅で調査研究活動
・子育てサークルに参加し、メンバーと子育ての悩みなどについて話し合い
・友人と音楽や美術に関するグループをつくり、練習や発表会を開催
・デパートなどで開催される料理教室や工芸教室などに参加

上記はあくまでも一例です。あらゆる場や機会における学習行為が全て生涯学習となります。

３．宇治市の生涯学習の歩み

（1）これまでの生涯学習について

宇治市では、生涯学習センターや公民館の他、市内各地で市民が生涯学習・社会教育活動に取り組まれ、長年にわたり多くの市民が学び合い、その学びの成果を地域や社会に還元されています。

【これまでの行政や市民の活動例】

・ボランティアや地域活動に取り組もうとする人に向けて、きっかけづくりとなる講座を開催
・大学との連携により、学生と住民が地域の歴史を学び一緒に人形劇を創作
・田畑がある地域の特色を生かして、住民が公民館で親子農業体験を指導
・公民館と登録サークルが共催で講座を開催
・公民館高齢者教室の運営委員の企画により、年間通じて講座を開催
・公民館登録サークル同士で合同発表会を開催
・公民館登録サークルが研究成果をまとめた冊子が紫式部市民文化賞を受賞
・生涯学習センターの人材養成講座から立ち上げたサークルが、環境保護活動や食育活動において市と協働
・生涯学習による成果の社会還元に向けて、生涯学習センターがサポート

（2）生涯学習施設について

宇治市において、生涯学習活動を行うことができる公共施設には、教育委員会が所管している生涯学習センターや公民館、図書館のほか、コミュニティセンターや地域福祉センター、男女共同参画支援センターなどがあります。

生涯学習センターは、生涯学習を実践する拠点施設および生涯学習の基礎となる学校教育の研究・研修施設として平成 6 年に開設し、公民館のとりまとめ館としての機能も担っています。

公民館は昭和 40 年から 61 年にかけ、社会教育活動のために利用できる施設として順次開設しました。

公民館開設から約 60 年が経過する中で、宇治市では公民館のあり方について度々検討してきました。

平成 29 年度に策定した公共施設等総合管理計画において、「耐震性に課題がある施設もあることから、早急に公民館のあり方を検討し、教育委員会会議

や生涯学習審議会などの意見も伺いながら、方向性を取りまとめ、市としての方針を決定しますが、生涯学習の活動は維持・継続しながら、他の施設との複合化や統廃合の検討を進めます。」と定めています。

これを受け、宇治市ではそれらの課題を検討するにあたり、平成 30 年 6 月に公民館の今後のあり方について生涯学習審議会に諮問し、平成 31 年 2 月に答申を受けました。

答申を基に、令和元年 10 月に宇治市教育委員会が「公民館の今後のあり方について～学びの仕組みを再構築するために～（初案）」を策定し、パブリックコメント（※1）を実施しましたが、公民館が新たな教育施設に変わることに対し多数の反対意見が提出されたことから、令和 2 年 1 月に改めて最終案を提示しました。

最終案の中で提示した公民館の 5 つの課題に対する取組を順次進めているところです。

【公民館の課題】

①現状の公民館では、変化する社会状況や地域住民のニーズに応えきれない面がある
②新規利用者が気軽に施設を利用できない
③公民館に関わる情報について周知が不足している
④現状の運営方法では生涯学習の場の維持が困難になる恐れがある
⑤宇治公民館閉館に伴う、周辺住民の学びの場に関する地域性を考慮する必要がある

「公民館の今後のあり方（最終案）」に挙げた上記の課題の内、①③⑤に関しては以下のように取組を実施しており、今後その取組を充実させていきます。

課題①：　現状の公民館では、変化する社会状況や地域住民のニーズに応えきれない面がある
取　組：　社会状況への対応として、オンライン講座やスマートフォン体験講座等を実施

課題③：　公民館に関わる情報について周知が不足している
取　組：　幅広い年齢層に向けた情報発信手段として、生涯学習センターと公民館が連携し、市 LINE による広報を実施

※1 計画等の策定に当たり、計画等の趣旨、目的、内容等を広く公表し、公表したものに対する市民等からの意見、情報及び専門的知識の提出を受け、計画等の案の決定を行うにあたって、その意見等を考慮するとともに、提出された意見等及びこれに対する市の考え方等を公表する一連の手続

課題⑤：　宇治公民館閉館に伴う、周辺住民の学びの場に関する地域性を考慮する必要がある

取　組：　今後整備される中宇治地域市民協働推進拠点が新たな学びの場となるよう、具体化に向けて担当部局と連携

残る課題②④についても以下のとおり、今後順次取組を開始します。

課題②：　新規利用者が気軽に施設を利用できない

取　組：　公民館登録サークル制度等について、より多くの市民が気軽に利用できる仕組みへの変更を検討
市民ニーズに細やかに対応するため、開館時間等の変更を検討

課題④：　現状の運営方法では生涯学習の場の維持が困難になる恐れがある

取　組：　他の公共施設利用者との公平性の整理を図るため、施設使用料の徴収を検討

一方で、令和４年４月に策定した「公共施設の将来像」において、市内の公共施設について以下のように取組を進めていくことを示しました。

○集約化	公共施設の更新にあわせて、施設の機能の集約化を図り、効果的な施設配置を進める。
○複合・多機能化	目的別単機能型施設から、特定の目的に捉われず、多様性・柔軟性がある場を目指す。
○多目的・多用途化	目的に応じた枠組みに捉われることなく、幅広い活動に利用できるよう見直す。

また、「公共施設の将来像」では、以下のように取組のロードマップを示しています。

●中短期的取組	・施設の機能枠組みの見直し ・受益者負担の適正化
●長期的取組	・公共施設の更新にあわせた複合・多機能型施設の整備

公共施設の一つである公民館は、「公共施設の将来像」に基づき、集約化および複合・多機能化の対象となります。

４．宇治市生涯学習審議会と宇治市教育委員会会議での意見

生涯学習のあり方を検討するにあたり、社会情勢の変化や次代を見据えた生涯学習の役割や意義について、宇治市生涯学習審議会と宇治市教育委員会会議で協議・検討いただきました。

宇治市生涯学習審議会

第 8 期生涯学習審議会の答申を踏まえて策定した「公民館の今後のあり方について（最終案）」以降に社会情勢の変化が生じたこと、「公共施設の将来像」に基づき、中宇治地域に「学び」の機能を有する新たな複合・多機能型施設を整備することから、改めて「今後の生涯学習のあり方について」を協議事項としました。

【意見】

・今までの生涯学習活動は個室内で完結することが多かった。今後はオープンスペースで活動が外に見えることが大切だ。活気ある姿を見た人が誘われる仕掛けが必要。
・今まで公民館等を利用していなかった子育て世代、若年層のニーズに応えるために、多世代交流の場となるべき。
・審議会での議論は公民館での活動を否定するものではない。これまで公民館で続けてこられた活動も含めて、生涯にわたる学びの場の確保について議論するものだ。
・図書館と防災など分野部局を超えた生涯学習事業のコラボが広がると良い。生涯学習課が各課の出前講座（健康体操等）の窓口になってコーディネートしてはどうか。
・答申、「公民館の今後のあり方」、「公共施設の将来像」の方向性は違わない。3 つを融合したゴールを目指すと良い。
・公民館のあり方も時代と共に変わる必要があること、市が複合・多機能化を検討していることをしっかり説明しなければいけない。
・公民館、コミセン、福祉センターなど施設の利用実態が重なってきている。それらを集約化した施設が宇治市内に何か所かあれば良い。
・複合化で活動スペースが小さくなることを不安に思う人が一定存在する。行政が活動スペースの紹介や、やりたいことの実現を支援すれば不安がやわらぐのでは。

【参考】第 8 期答申の生涯学習のビジョン（一部抜粋）

次世代を担う若者から、知識・経験を継承する立場の高齢者まで、あらゆる年代の市民を、市の生涯学習推進に巻き込んでいく仕組みを構築する。そして、その中での活動が、教育の範疇にとどまらず、地域活動や福祉、防災等他の分野と連携することで、各々が専門性を活かしながら、新しい取組が生まれるのではないか。つまり、生涯学習に関する施設・仕組み・組織・事業等を総合化していくことで、世代を超えた地域交流の促進や、市民によるまちの活性化につながるような生涯学習が推進できるものとなる。

宇治市教育委員会会議

①生涯学習審議会での協議結果について

【意見】

・公民館がなくなると思われている市民が一定おられるような印象がある。社会教育事業は公民館がどういう形になったとしても、継続されることが望ましい。

・現代的で若い世代に対してのアプローチの仕方もどんどん取り入れていく必要がある。

・「市民協働推進拠点」が開館して、そこが社会教育を含んでの生涯にわたる学びの場としてできるのであれば、中宇治の学びの場として現時点ではよいのではないかと思う。

②中宇治地域における学びの場について

【意見】

・宇治市の財政が厳しい中、今から同一地域で複数の施設を整備することは難しいと思う。中宇治地域の市民協働推進拠点が学びの場として働くように、市長部局とも連携しながらしっかり対応するのが教育委員会の役割である。

・宇治公民館閉館の際は活動する場が確保できるのかと心配していたが、9 割近くの団体が活動場所を変えて、継続されている。今後は新たに中宇治地域市民協働推進拠点が中宇治の学びの場となっていくということで、宇治公民館を再建しなくても、地域の学びの場は充足されていくのではないかと感じた。

５．次代を見据えた生涯学習の推進に向けて

急速な時代の変化に対応しながら、市民が学び合う生涯学習の進展のために、幅広い世代が集い、お互いを認め合いながら、共に学び合う仕組みの構築が必要です。

そこで次に挙げる４つの視点を基に、今後の宇治市の生涯学習を進めていきます。

（１）教育の範疇を超えた学びの展開

市教育委員会の事業に限らず市長部局の事業の中にも、生涯にわたる学びにつながる内容のものがあります。

＜令和５年度現在の事業例＞

担当課	事業
危機管理室	防災出前講座
長寿生きがい課	高齢者アカデミー
健康づくり推進課	食生活改善推進員養成講座、各種健康教育講座
男女共同参画課	市民企画事業（サポート事業・奨励事業・地域推進支援事業）

今後は、各課が単独で事業を企画・運営するのではなく、相互に連携し、異なる専門性や視点を活かした事業を展開することを検討し、学びの充実や新しい学びとの出会いの機会の創出を目指します。

また、市民が学びの情報を効率的に受け取ることができ、自身の学びの計画や目標に沿った活動を選択できるよう、各課が主催する学びの情報を集約し、市民のニーズに応じた情報を提供できる仕組みの構築を目指します。

社会教育主事（※2）を中心とした生涯学習担当課職員が、こうした学びの展開を推進していきます。

（２）多世代交流による学びの輪の広がり

宇治市が策定した「公共施設の将来像」の中で、集約化・複合化された公共施設の機能の一つとして、「子どもから高齢者までの幅広い世代が集い、学びを行う場となる」と示しています。

東京学芸大学の自主ゼミグループによる、若者が社会教育施設に求めていることに関するアンケート調査の中に、「若い世代が少なく場違い感、しかし単

※2 社会教育主事は地域の学習課題を把握し、社会教育事業の企画・実施や、関係者への専門的技術的な助言と指導を関係各機関との効果的なネットワークを活用して行うことによって、地域住民の自発的な学習活動や学習を通じた地域づくりの活動を支援する役割を果たしています。

に若者が多ければいいという単純な話ではない」という回答がありました。アンケート結果を踏まえてこの自主ゼミグループは、若者が魅力的に感じる施設像の要素の一つとして「社会人、高齢者だけでなく、若者や子どももいて、多世代交流が自然と行われる雰囲気があること」を提案しています。

＜月刊社会教育 2023.3 より＞

これは、公共施設が子どもから高齢者までの幅広い世代が集い、学びを行う場として機能するために重要な観点です。

そこで、多世代交流のきっかけを作るため、多世代がそれぞれの目的で集う場を整えます。従来は、ひとつの施設の中で様々なグループが各部屋で各々の活動を行うことが主流でしたが、今後はオープンな活動場所を整えることで、施設内での活動を可視化し、利用者同士がお互いの活動に触れることができる開放的な場を創ります。また、多目的・多用途な施設は、市民が気軽に立ち寄ることができる場となり、より幅広い世代の利用が期待できます。これまで利用のなかった人が集うことで、新たな活動や取組が生まれる可能性を模索します。

（３）多種多様な学びのスタイルの尊重

新型コロナウイルス感染症などを契機に、従来型の対面での学習活動に加え、デジタル技術を活用したオンライン講座などの新たな学びの取組が急速に普及しました。その結果、時間や場所の制約がない学習環境の提供が可能となり、様々な学習方法の中から個人のニーズに合わせて最適な方法を選択することができるようになりました。

このように、時代の変化に伴い、学びの手段や機会が多様化しています。また、学びの内容も多様化しており、「学び直し」や「情報リテラシー（情報活用能力）」なども生涯学習に関連する要素として注目されています。

集団や個人での学び、学ぶ場所・時間・方法・内容は人によって異なりますが、共通していえるのは、学びがそれぞれの人生を豊かにし、成長や自己実現に貢献しているということです。

今後は、時代の変化に応じて生まれた多種多様な学びのスタイルを受け入れ、一人ひとりの学びをお互いが尊重できるよう、市民の生涯学習を支援する体制を整えます。

（４）生涯学習の活動の場

宇治市では、これまでから生涯学習センター、公民館、地域福祉センター、男女共同参画支援センターなどの公共施設を中心に生涯学習を実施してきました。

令和２年に「公民館の今後のあり方（最終案）」を取りまとめて以降、新型コロナウイルス感染症による社会変容やデジタル技術の急速な発展など、多様化する新たな学びのニーズに対応することが求められています。

また、生涯学習審議会及び教育委員会会議での「公共施設の将来像」の方向性は「公民館の今後のあり方（最終案）」と一致するものであるという意見を踏まえ、今後も公共施設を中心に生涯学習を実施していくこととします。

このため、公民館については次のとおり方向性を定めます。

＜宇治公民館＞

・利用者のうち、大部分の方が活動を継続できていること
・中宇治地域市民協働推進拠点が新たな学びの場となること
・宇治市を取り巻く財政環境を鑑み、中宇治地域に同様の機能を持つ複数の施設を整備する必要はないこと

⇒以上のことから、宇治公民館は基本的に再建しないこととします。

＜中央・木幡・小倉・広野公民館＞

公民館を含め、公共施設の更新を図る際には、集約化及び複合・多機能化を進めることとします。

【アンケート結果等を踏まえた今後の推進の方向性】

情報発信の強化

・より多くの市民に生涯学習情報が行き届くように、民間の情報媒体を利用するなど更なる広報手段を検討します。
・生涯にわたる学びに関する情報を集約したポータルサイトの作成や窓口の一元化等を検討します。

生涯学習講座の充実

各年代のニーズに合った講座や講習会等を開催します。

・２０歳代、３０歳代を対象とした育児や教育に関する講座や講習会等
・２０歳代から５０歳代向けに生涯学習活動に参加しやすい休日の講座や講習会等
・５０歳代以上を対象とした生涯学習活動へのきっかけづくりのための講座や講習会等
・７０歳代を対象としたインターネットに関する講座や講習会等

生涯学習施設の利便性の向上

・個人での学びに対応した自習スペースの確保に努めるとともに、多世代交流ができるような取り組みを検討します。
・多くの市民の生涯学習活動への参加機会を増やすため、身近な生涯学習関連施設で出前講座などの事業を展開します。
・生涯学習関連施設におけるインターネット環境を充実します。

その他

・オンライン講座や動画配信など多様な学び方に対応した生涯学習事業を推進します。
・生涯学習活動を行っている市民をコミュニティ・スクールや社会教育団体につなげるなど、個人の生涯学習活動を地域活動へ還元する取り組みを充実します。
・子どものころから興味のあることや新しいことを知る楽しさや喜びを感じることにより、生涯にわたる学びの礎となるような取り組みを充実します。

６．結びに

「人生 100 年時代」、「超スマート社会（Society 5.0）」に向けて社会が大きな転換点を迎える中にあって、生涯学習の重要性は一層高まっています。

これまでの生涯学習活動で大切にされてきた「人々が対面で集い、学ぶ」という取組を引き続き大切にしながら、一方でデジタル化、価値観の多様化、ライフスタイルの変化によって生まれた新たな学びのニーズに対応し、市民一人ひとりが生涯を通して学ぶことのできる環境の整備、多様な学習機会の提供、学習した成果を生かして様々な分野で活動できるようにするための仕組みづくりなどをさらに進めていく必要があります。

今後「公共施設の将来像」に基づき、公共施設の集約化・複合化といった取組を進め、これからの時代に応じた公共施設へと見直しを行う中においても、市民一人ひとりのニーズに応じて生涯にわたり学び続けていただけるよう、学びに関する施設・仕組み・組織・事業等を総合化し、これまでになかった異世代との出会いや交流、多様な学びの機会や学び合う場の創出を目指すとともに、これまで以上に市民が学べる環境を充実させるため、生涯学習担当課に配置している社会教育主事をはじめとする職員がここに定める視点を持って生涯学習事業を推進してまいります。

資料

◆市民が活動している主な施設

◆公民館に関する経過

年度	主な経過
S27	宇治市公民館条例制定
S40	市民会館　開館（会館内に社会教育課設置）
S48	公民館を教育委員会庁舎内に移設　（社会教育課に公民館係新設）
S53	公民館を市民会館へ移設
S56	木幡公民館、小倉公民館　開館
S59	文化センターが完成　→　中央公民館　開館 中央公民館開館に伴い、宇治市公民館を「宇治公民館」に名称変更
S61	広野公民館　開館
H6	生涯学習センター　開館
H12	宇治市公共施設整備計画策定 第 4 次総合計画における公共施設の整備に関する基本方針 ・ 公民館は、登録サークルに限らず、町内会等も積極的に活用 ・ 公民館の施設更新時には、コミュニティセンターとして建替え ・ 宇治公民館は耐震性能不足により建替えの必要性あり （実現せず）
H23	宇治市第 5 次総合計画策定 公共施設整備計画は策定せず、中期計画で方向性を位置づけ ・ 第 1 期中期計画（23 年度）→ 宇治公民館の整備を再検討 ・ 第 2 期中期計画（26 年度）→ 宇治公民館のあり方を検討し、整備を進める ・ 第 3 期中期計画（30 年度）→ 宇治公民館は他の施設との複合化・機能移転等 他の公民館はあり方を整理し、複合化・統廃合検討

年度	主な経過
H26 H29	(仮)宇治川太閤堤跡歴史公園の計画概要を公表 歴史公園交流センター(現:茶づな)への宇治公民館の機能移転を検討 ・H29.6 月　歴史公園整備運営事業の債務負担行為が可決 →公民館機能を除き、観光施設として特化した施設として提案 宇治市公共施設等総合管理計画策定 公共施設の総量適正化として延床面積 20%削減を目標 ・全体方針に加え、施設類型ごとの基本方針記載 ◆公民館 耐震性に課題のある施設もあるため、生涯学習審議会等の意見も聞きながら、早急にあり方を検討し、方向性を取りまとめ、生涯学習の活動は維持・継続しながら、他の施設との複合化や統廃合を検討 ・施設類型ごとの基本方針を踏まえ、<u>個別施設管理実施計画を策定</u>
H30	宇治公民館閉館(H30.3.31) 【閉館理由】 ①耐震性に課題があり、利用者の安全確保必要 ②JR 奈良線の複線化工事実施にあたり、公民館(市民会館)の底地を工事ヤードとして活用するため、JR 西日本へ土地の一部返却
H31 (R 元)	**公民館の今後のあり方について検討着手** 公共施設等総合管理計画を踏まえ、個別施設管理実施計画として公民館の今後のあり方を策定 ・H30.6 月　生涯学習審議会　　諮問 ・H31.2 月　生涯学習審議会　　答申 ・R1.10 月　公民館の今後のあり方(初案)　パブリックコメント ・R2.1 月　公民館の今後のあり方(最終案)　文教福祉常任委員会報告 ◆生涯学習のビジョン実現に向けた 3 つの取組 ①公民館を幅広い視点で生涯学習を推進する場に転換（まなび館化） ②市の資源・資産を引き継ぐために費用負担のあり方を検討（有料化） ③中宇治地域に学びの場を確保（多機能複合型施設）

年度	主な経過
	→パブコメ反対意見多数。公民館を廃止する必要性に疑問。
H31（R 元）	・R2.1 月　各公民館における利用者説明会実施 →公民館の廃止理由、有料化への不満の意見多数。 ↓ 理事者協議にて 3 月定例会の提案見送りを決定 ・R2.2 月　文福に公民館関係条例提案の見送りを報告 →利用者や議会に理解いただけるよう説明に努める
R2	・R2.8 月　公民館利用団体への個別説明会実施（参加希望の 127/205 団体） →市民理解はある程度進んだと考えられるものの、公民館を廃止し、まなび館化すること等、市教委の取り組みに対し、積極的な賛成を示してはいない。
R4	・4 月に政策戦略課が「市民協働によるこれからの公共施設に向けて～公共施設の将来像」を発表 ◆公共施設の課題解決に向けた取組 求められる行政サービスの変化 十分に施設が認知されていない 全ての公共施設の維持は困難 → 集約化 複合・多機能化 既存施設の多機能化目的・多用途化
R5	・第 11 期生涯学習審議会 第 1 回　7 月 25 日 「第 8 期（平成 29～30 年度）生涯学習審議会答申（平成 31 年 2 月）」、「公民館の今後のあり方（最終案）（令和 2 年 1 月）」、「公共施設の将来像（令和 4 年 4 月）」を踏まえた、今後の公共施設で行っていく生涯学習のあり方について協議 第 3 回　10 月 12 日、第 4 回　11 月 30 日 「第 8 期生涯学習審議会答申」に示された生涯学習のビジョンを再度確認し、集約化、複合・多機能化された後の公共施設において生涯学習の機会を充足するために必要なことについて協議

年度	主な経過
R5	・12 月文教・福祉常任委員会　12 月 20 日 生涯学習のあり方の検討状況について報告 ・12 月定例教育委員会　12 月 22 日 生涯学習のあり方の検討状況について報告 ・2 月定例教育委員会　令和 6 年 2 月 5 日 中宇治地域市民協働推進拠点に係る基本ビジョン策定に伴う、中宇治地域における学びの場の確保について報告（宇治公民館の取り扱いについて意見聴取） ・2 月文教・福祉常任委員会　令和 6 年 2 月 6 日 中宇治地域市民協働推進拠点に係る基本ビジョン策定に伴う、中宇治地域における学びの場の確保について報告（12 月・2 月の教育委員会会議における委員意見も報告） ・市議会 3 月定例会文教・福祉常任委員会　令和 6 年 2 月 29 日 中宇治地域にかかる学びの場の確保ができることから、宇治公民館は基本的に再建しないと報告 ・第 11 期生涯学習審議会 第 5 回　令和 6 年 3 月 25 日 「生涯学習のあり方（素案）」について協議 ・3 月定例教育委員会　令和 6 年 3 月 25 日 「生涯学習のあり方（素案）」について報告
R6	・4 月文教・福祉常任委員会　令和 6 年 4 月 17 日 「生涯学習の推進に向けて（案）」について報告 ・5 月文教・福祉常任委員会　令和 6 年 5 月 15 日 「生涯学習の推進に向けて」の策定に向けたアンケート調査について

令和６年７月30日
生涯学習審議会資料⑥

「生涯学習の推進に向けて」策定のための
アンケート結果報告書

令和６年７月
宇治市教育委員会

目 次

Ⅰ アンケートの概要……2
Ⅱ 調査結果……3
問1 はじめに、あなた自身にあてはまる番号を選んでください。……3
問2 この1年間に、月に1日以上どのようなことを学習しましたか。……6
付問① 問２で、1～10、12と答えた方への質問です。学習した理由は何ですか。……7
付問② 問２で、11と答えた方への質問です。学習をしていない理由を教えてください。……8
問３ これから学習する場合、どのようなことを学習したいですか。……9
問４ これから学習する場合、どのような場所や形態で学習したいと思いますか。……10
問５ 市に期待する生涯学習に関する取り組みはありますか。……11
問６ 生涯学習施設にどのような役割や機能等を期待しますか。……12
問７ 生涯学習がしやすい時間帯はいつですか。……13
問８ 生涯学習に関してどのような情報を必要としていますか。……14
問９ 生涯学習施設をどれくらい利用していますか。……15
<クロス集計>……16
問１ウ（居住校区）と問９（生涯学習施設の利用頻度）について……16
問２（過去１年間の学習実態）で「学習していない」を選択された方の問３の回答について……17
問２（過去１年間の学習実態）で「学習していない」を選択された方の問４の回答について……18
問２（過去１年間の学習実態）で「学習していない」を選択された方の問５の回答について……19
問５（市に期待する生涯学習の取り組み）で「生涯学習講座の内容を充実させる」を選択された方の問３の回答について……20
問５（市に期待する生涯学習の取り組み）で「生涯学習に関する情報発信」を選択された方の問８の回答について……21
問５（市に期待する生涯学習の取り組み）で「生涯学習施設の利便性の向上」を選択された方の問６の回答について……22
問９の生涯学習施設の利用頻度別の各設問の回答傾向について……23
Ⅲ 宇治市の教育行政への意見・提案（自由意見）……25
情報発信について（44 件）……25
施設について（48 件）……31
施策について（34 件）……39
市政について（30 件）……45
交通手段について（19 件）……50
講座について（46 件）……53
その他（79 件）……60
調査票……70

Ⅰ　アンケートの概要

１ アンケートの目的

「生涯学習の推進に向けて」の策定にあたり、その方向性に市民意見を反映するために実施

２ 調査対象

20 歳以上の宇治市民 3,000 人（無作為抽出法により抽出）

３ 調査期間

令和6年5月 29 日　から　令和6年6月24日

４ 調査方法

郵送　又は　インターネットによる回答

５ 回収状況

対象者数	有効回答者数	有効回答率
3,000 人	1,060 人	35.3%

有効回答者数	うち郵送回答者数（※）	うちインターネット回答者数
1,060 人	805 人	255 人

※直接窓口へ持参された分を含む

６ 調査結果の表示方法

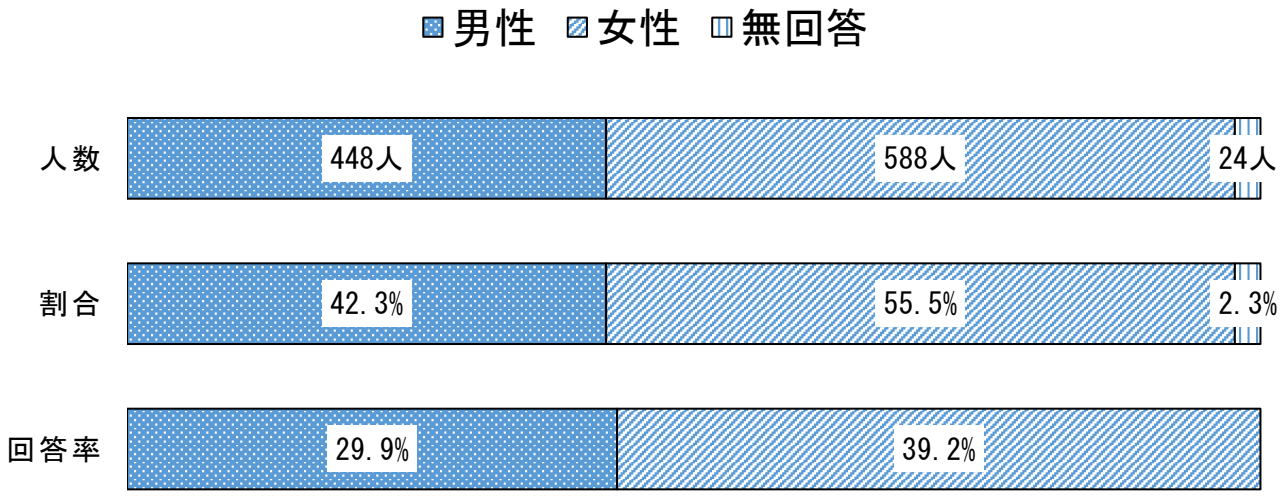
・調査結果は各質問の回答者数を基数とした百分率（%）で示しています。また、小数点以下第2位を四捨五入しているため、内訳の合計が 100%にならない場合があります。
・複数回答が可能な設問の場合、回答者が各項目を選択した割合を示していますので、各項目の合計が 100%を超える場合があります。
・問2以降の年代別の集計では、各年代の回答数上位3項目を色つきで表示しています。

Ⅱ　調査結果

問1　はじめに、あなた自身にあてはまる番号を選んでください。

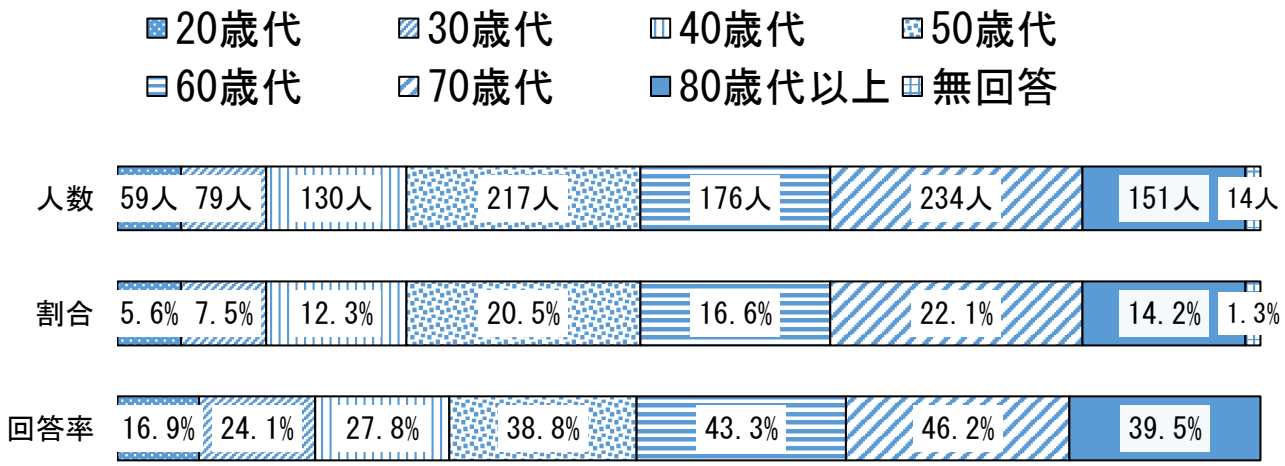
ア　性別

男性の回答は 1,500 人中 448 人(回答率 29.9%)、女性の回答は 1,500 人中 588 人(回答率 39.2%)、性別無回答が 24 人でした。回答全体に占める男性の割合は 42.3%、女性の割合は 55.5%、性別無回答が 2.3%でした。

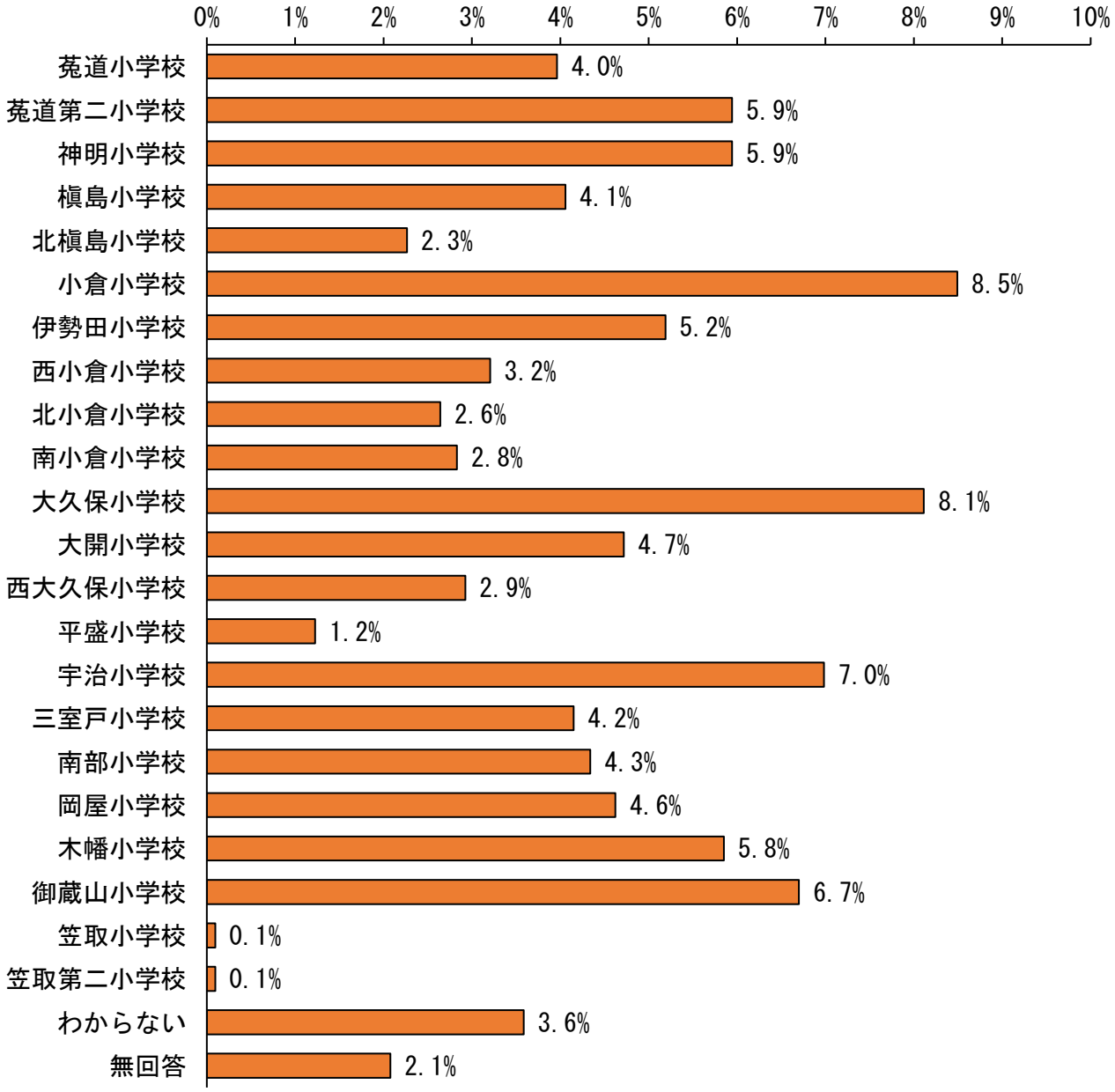


イ　年齢

回答率については、50 歳代以上が高くなる結果となりました。調査対象者を年代ごとに傾斜配分しましたので、回答者全体では「70 歳代」が 22.1%と最も高く、次いで「50 歳代」が 20.5%、「60 歳代」が 16.6%となっています。

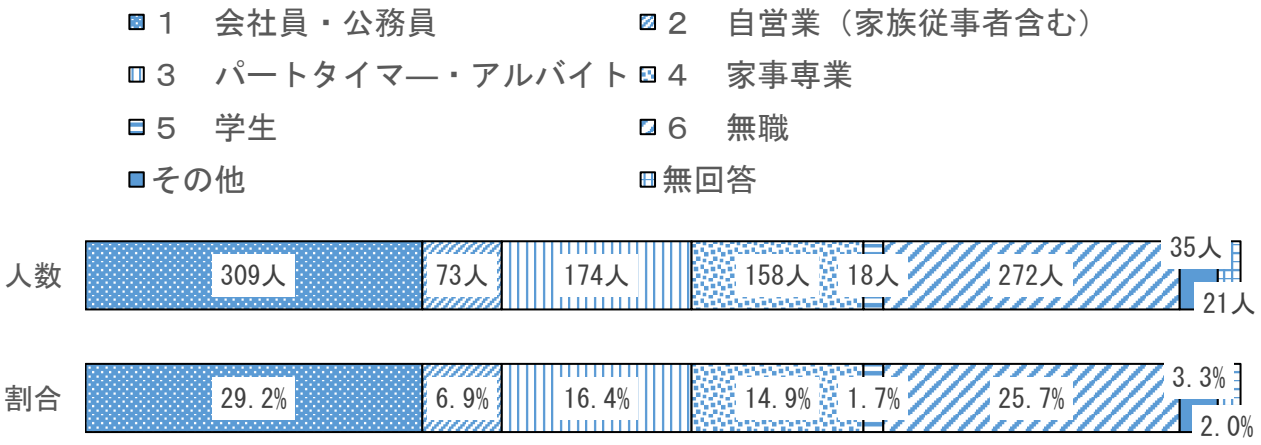


ウ 居住校区


0%
1%
2%
3%
4%
5%
6%
7%
8%
9%
10%
菟道小学校 4.0%
菟道第二小学校 5.9%
神明小学校 5.9%
槇島小学校 4.1%
北槇島小学校 2.3%
小倉小学校 8.5%
伊勢田小学校 5.2%
西小倉小学校 3.2%
北小倉小学校 2.6%
南小倉小学校 2.8%
大久保小学校 8.1%
大開小学校 4.7%
西大久保小学校 2.9%
平盛小学校 1.2%
宇治小学校 7.0%
三室戸小学校 4.2%
南部小学校 4.3%
岡屋小学校 4.6%
木幡小学校 5.8%
御蔵山小学校 6.7%
笠取小学校 0.1%
笠取第二小学校 0.1%
わからない 3.6%
無回答 2.1%

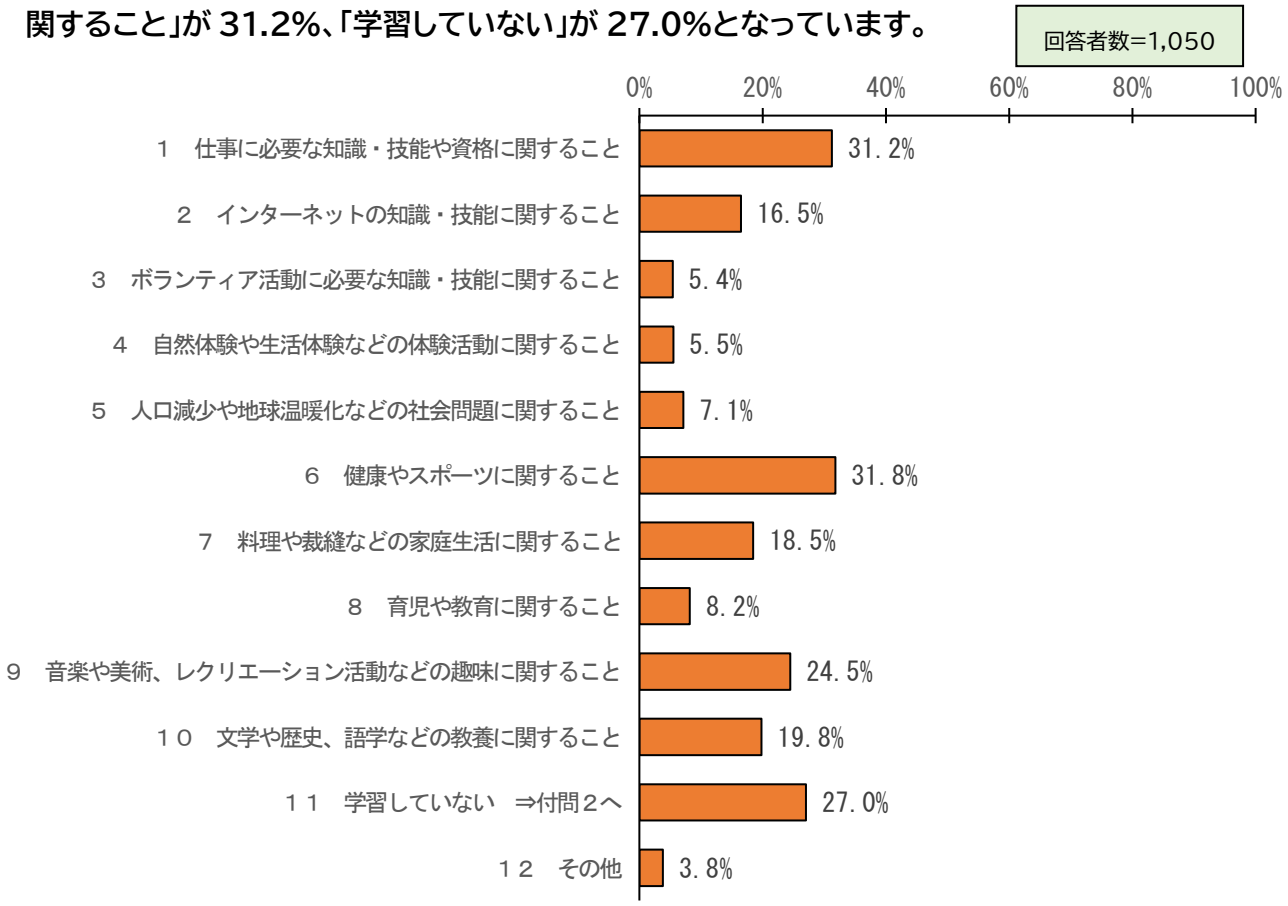
エ　職業等

「会社員・公務員」が29.2%で最も高く、次いで「無職」が25.7%、「パートタイマー・アルバイト」が16.4%となっています。



問2　この1年間に、月に1日以上どのようなことを学習しましたか。
（あてはまるもの全てに○）

「健康やスポーツに関すること」が 31.8%で最も高く、次いで「仕事に必要な知識・技能や資格に関すること」が 31.2%、「学習していない」が 27.0%となっています。



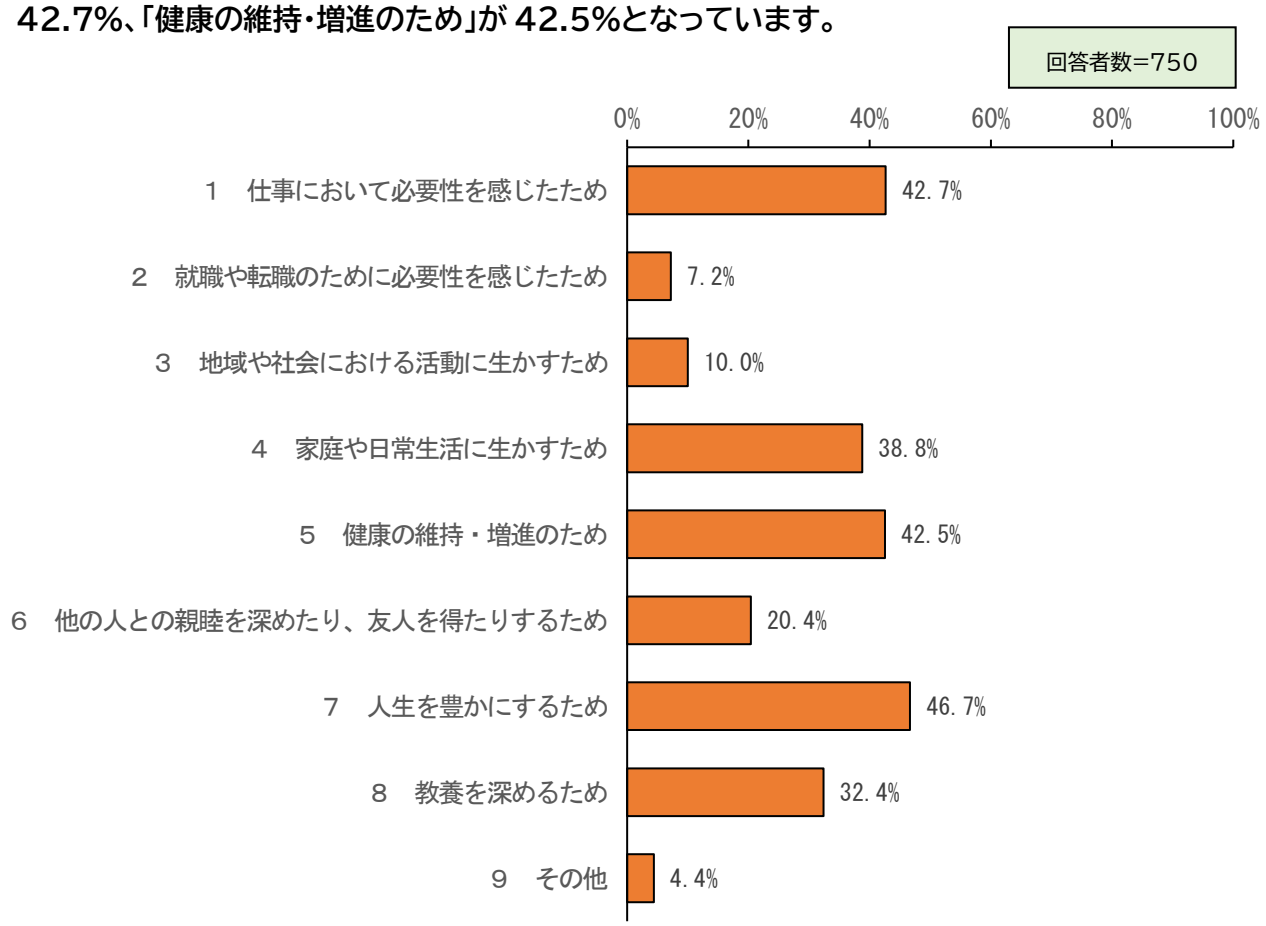
【年代別】

「仕事に必要な知識・技能や資格に関すること」が 20 歳代から50歳代で高くなっています。「健康やスポーツに関すること」は各年代で高く、「学習していない」は 30 歳代や 60 歳代以上で高くなっています。

年齢	回答者数	１　仕事に必要な知識・技能や資格に関すること	２　インターネットの知識・技能に関すること	３　ボランティア活動に必要な知識・技能に関すること	４　自然体験や生活体験などの体験活動に関すること	５　人口減少や地球温暖化などの社会問題に関すること	６　健康やスポーツに関すること	７　料理や裁縫などの家庭生活に関すること	８　育児や教育に関すること	９　音楽や美術、レクリエーション活動などの趣味に関すること	１０　文学や歴史、語学などの教養に関すること	１１　学習していない⇒付問2へ	１２　その他
20歳代	59	64.4%	20.3%	3.4%	5.1%	5.1%	22.0%	20.3%	18.6%	15.3%	10.2%	10.2%	5.1%
30歳代	79	53.2%	8.9%	2.5%	1.3%	3.8%	20.3%	19.0%	24.1%	11.4%	17.7%	27.8%	0.0%
40歳代	130	55.4%	21.5%	4.6%	6.9%	6.2%	30.0%	20.0%	15.4%	26.2%	18.5%	19.2%	0.8%
50歳代	217	45.6%	19.8%	6.0%	6.9%	6.5%	26.3%	24.0%	8.8%	27.6%	22.1%	24.0%	4.6%
60歳代	176	27.3%	15.3%	5.7%	4.5%	6.8%	38.1%	20.5%	5.1%	26.1%	19.9%	28.4%	3.4%
70歳代	230	8.3%	17.0%	6.5%	5.7%	8.3%	40.0%	16.1%	2.2%	27.0%	20.9%	30.4%	3.9%
80歳代以上	148	4.1%	10.8%	4.7%	6.1%	10.8%	32.4%	9.5%	1.4%	24.3%	20.3%	37.8%	6.8%
無回答	11	36.4%	9.1%	18.2%	0.0%	0.0%	18.2%	18.2%	9.1%	9.1%	27.3%	27.3%	9.1%

付問① 問 2 で、1～10、12と答えた方への質問です。学習した理由は何ですか。（あてはまるもの全てに○）

「人生を豊かにするため」が 46.7%で最も高く、次いで「仕事において必要性を感じたため」が 42.7%、「健康の維持・増進のため」が 42.5%となっています。



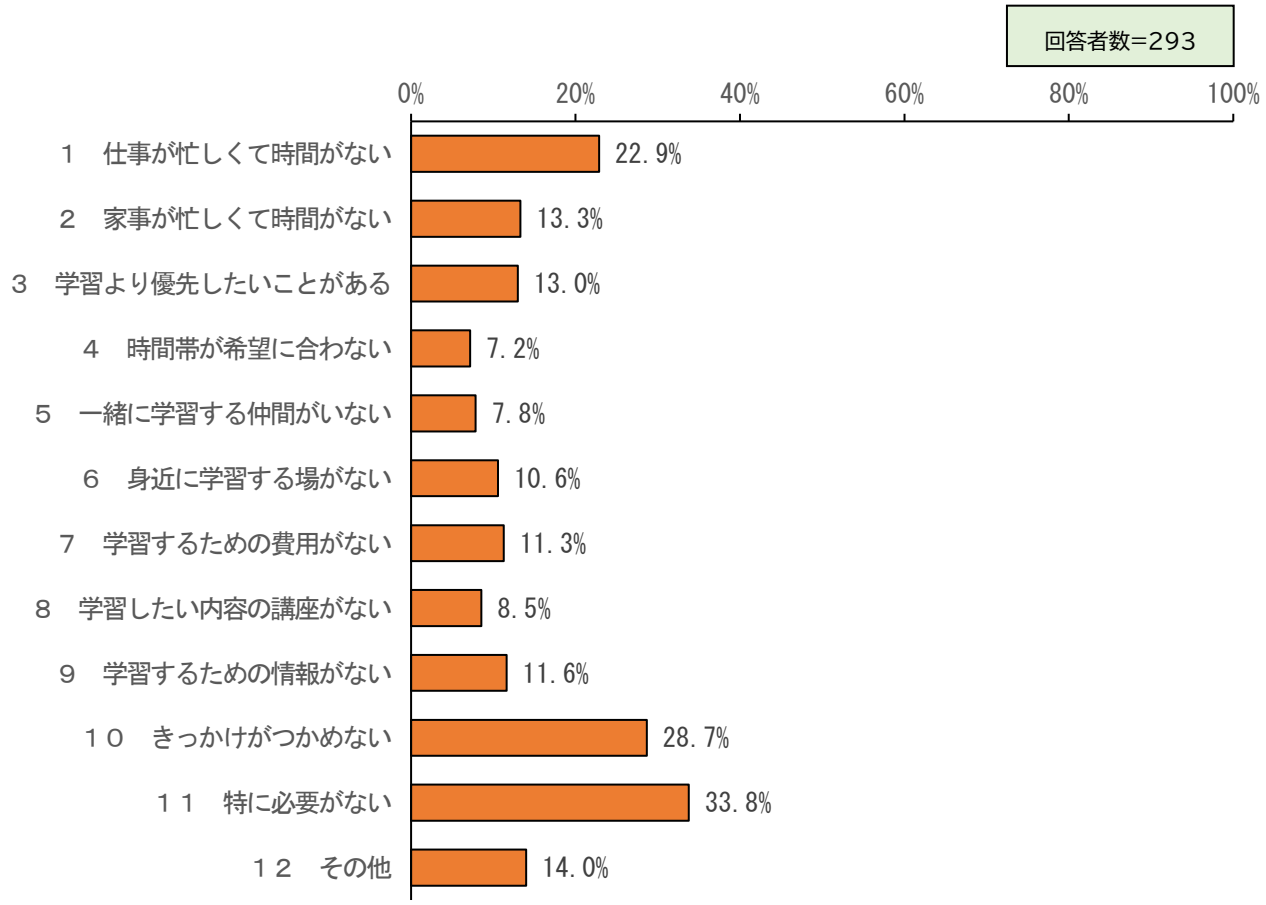
【年代別】

「仕事において必要性を感じたため」が 20 歳代から50歳代で、「健康の維持・増進のため」が 60 歳代以上で高くなっています。その他、「家庭や日常生活に生かすため」や「人生を豊かにするため」が各世代で高くなっています。

年齢	回答者数	1 仕事において必要性を感じたため	2 就職や転職のために必要性を感じたため	3 地域や社会における活動に生かすため	4 家庭や日常生活に生かすため	5 健康の維持・増進のため	6 他の人との親睦を深めたり、友人を得たりするため	7 人生を豊かにするため	8 教養を深めるため	9 その他
20歳代	52	59.6%	25.0%	1.9%	30.8%	23.1%	11.5%	40.4%	21.2%	3.8%
30歳代	56	67.9%	16.1%	3.6%	46.4%	23.2%	3.6%	46.4%	21.4%	0.0%
40歳代	103	68.0%	7.8%	6.8%	39.8%	30.1%	12.6%	43.7%	34.0%	6.8%
50歳代	165	61.2%	7.9%	12.7%	40.6%	33.3%	15.8%	40.6%	34.5%	4.2%
60歳代	126	39.7%	7.1%	11.9%	38.1%	50.8%	19.8%	47.6%	35.7%	2.4%
70歳代	153	13.1%	0.7%	13.1%	42.5%	60.1%	32.7%	56.2%	31.4%	5.2%
80歳代以上	86	8.1%	0.0%	8.1%	30.2%	58.1%	33.7%	46.5%	34.9%	5.8%
無回答	9	33.3%	11.1%	22.2%	22.2%	22.2%	22.2%	55.6%	55.6%	11.1%

付問② 問２で、11と答えた方への質問です。学習をしていない理由を教えてください。
（あてはまるもの全てに○）

「特に必要がない」が 33.8%で最も高く、次いで「きっかけがつかめない」が 28.7%、「仕事が忙しくて時間がない」が 22.9%となっています。



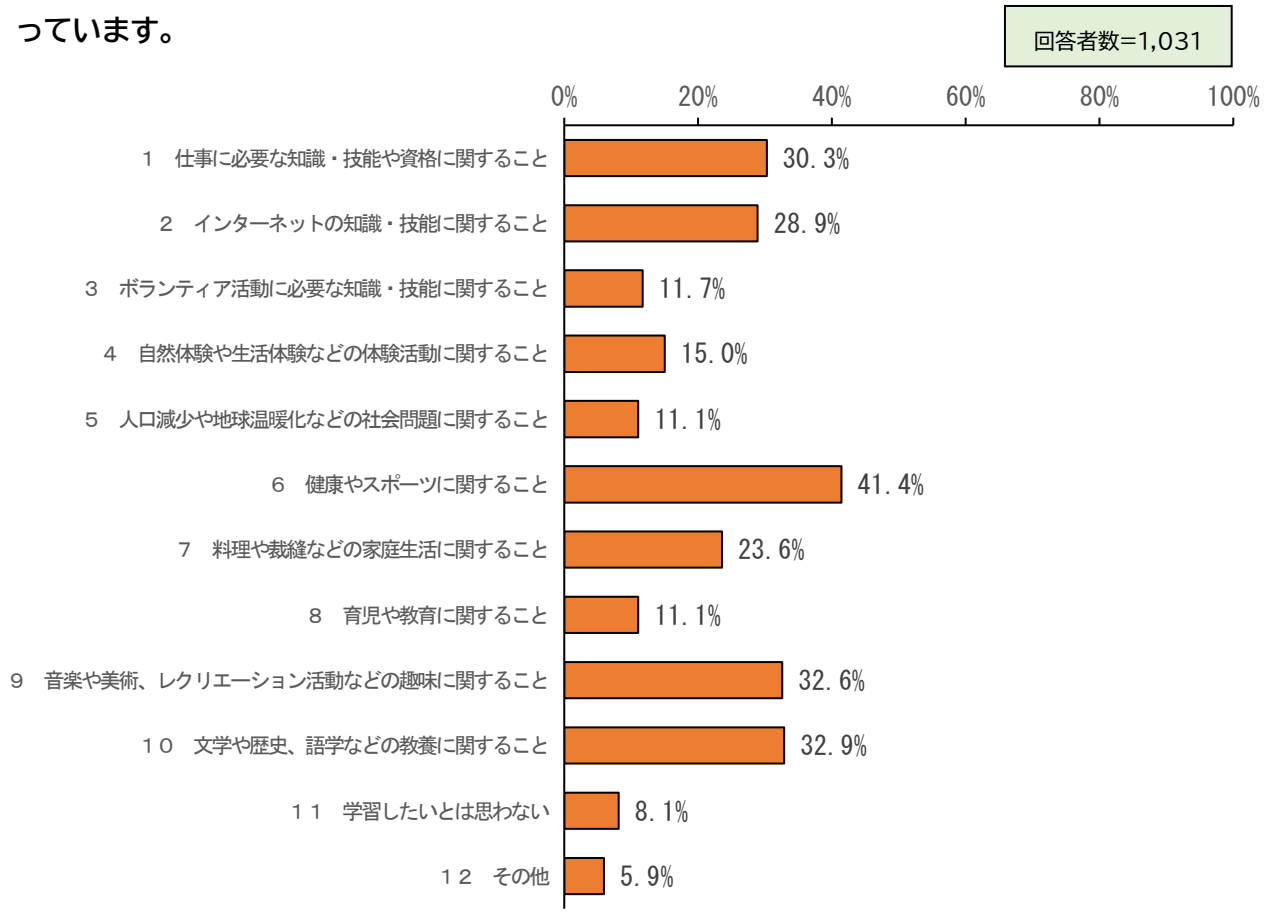
【年代別】

「仕事が忙しくて時間がない」が 20 歳代から50歳代で、「きっかけがつかめない」が 50 歳代以上で高くなっています。その他、「特に必要がない」が 40 歳代以外の世代で高くなくなる一方、40 歳代では「学習するための費用がない」が高くなっています。また 80 歳代以上で高くなっている「その他」の内訳として、高齢であることや病気、体調不良が挙げられていました。

年齢	回答者数	１　仕事が忙しくて時間がない	２　家事が忙しくて時間がない	３　学習より優先したいことがある	４　時間帯が希望に合わない	５　一緒に学習する仲間がいない	６　身近に学習する場がない	７　学習するための費用がない	８　学習したい内容の講座がない	９　学習するための情報がない	１０　きっかけがつかめない	１１　特に必要がない	１２　その他
20歳代	7	57.1%	42.9%	14.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	14.3%	42.9%	0.0%
30歳代	22	45.5%	31.8%	27.3%	4.5%	9.1%	4.5%	13.6%	4.5%	4.5%	9.1%	36.4%	4.5%
40歳代	27	51.9%	40.7%	11.1%	11.1%	7.4%	14.8%	29.6%	14.8%	11.1%	11.1%	18.5%	3.7%
50歳代	54	42.6%	16.7%	14.8%	20.4%	9.3%	13.0%	16.7%	11.1%	20.4%	44.4%	25.9%	5.6%
60歳代	50	24.0%	12.0%	14.0%	4.0%	10.0%	8.0%	8.0%	12.0%	14.0%	34.0%	32.0%	10.0%
70歳代	74	5.4%	0.0%	14.9%	5.4%	8.1%	13.5%	10.8%	4.1%	10.8%	37.8%	32.4%	14.9%
80歳代以上	56	0.0%	5.4%	3.6%	0.0%	5.4%	7.1%	0.0%	8.9%	5.4%	16.1%	48.2%	35.7%
無回答	3	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%	33.3%	0.0%	33.3%	0.0%	66.7%	0.0%

問３　これから学習する場合、どのようなことを学習したいですか。
（あてはまるもの全てに○）

「健康やスポーツに関すること」が 41.4%で最も高く、次いで「文学や歴史、語学などの教養に関すること」が 32.9%、「音楽や美術、レクリエーション活動などの趣味に関すること」が 32.6%となっています。



【年代別】

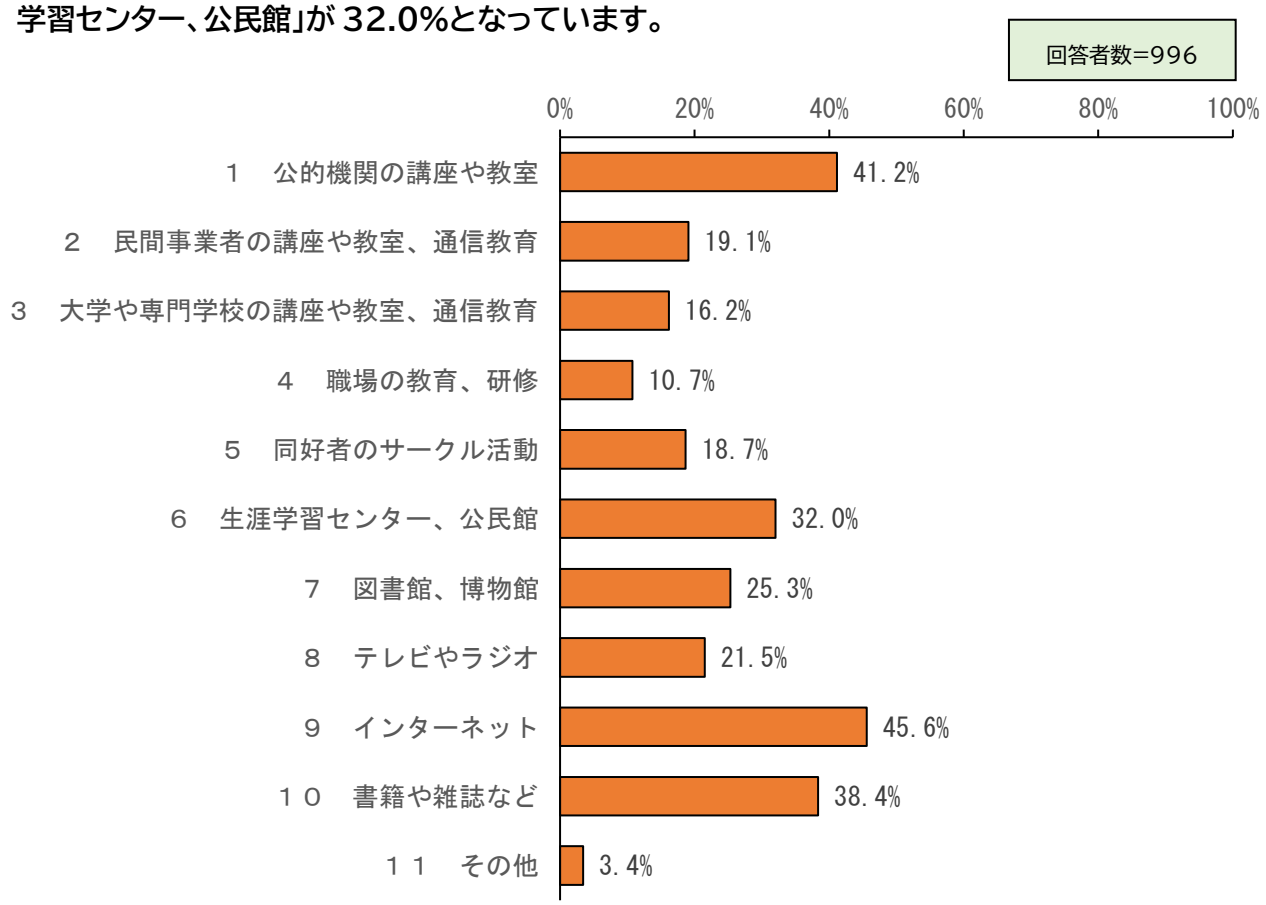
「仕事に必要な知識・技能や資格に関すること」が 20 歳代から50歳代で高くなっています。「健康やスポーツに関すること」が 30 歳代以上で、「育児や教育に関すること」が 20 歳代と 30 歳代で、「音楽や美術レクリエーション活動などの趣味に関すること」や「文学や歴史、語学などの教養に関すること」は各世代で高くなっています。

年齢	回答者数	１　仕事に必要な知識・技能や資格に関すること	２　インターネットの知識・技能に関すること	３　ボランティア活動に必要な知識・技能に関すること	４　自然体験や生活体験などの体験活動に関すること	５　人口減少や地球温暖化などの社会問題に関すること	６　健康やスポーツに関すること	７　料理や裁縫などの家庭生活に関すること	８　育児や教育に関すること	９　音楽や美術、レクリエーション活動などの趣味に関すること	１０　文学や歴史、語学などの教養に関すること	１１　学習したいとは思わない	１２　その他
20歳代	59	69.5%	33.9%	3.4%	11.9%	6.8%	22.0%	25.4%	27.1%	27.1%	27.1%	6.8%	0.0%
30歳代	79	67.1%	24.1%	3.8%	11.4%	7.6%	30.4%	29.1%	34.2%	21.5%	30.4%	6.3%	3.8%
40歳代	129	54.3%	37.2%	10.1%	22.5%	7.0%	46.5%	28.7%	26.4%	40.3%	31.8%	3.1%	6.2%
50歳代	217	43.3%	29.0%	17.1%	13.8%	12.9%	44.7%	30.4%	9.2%	35.0%	34.6%	3.2%	5.5%
60歳代	173	17.9%	30.1%	14.5%	17.3%	11.6%	50.3%	27.2%	4.6%	37.6%	38.7%	6.9%	4.6%
70歳代	228	7.0%	32.0%	13.2%	14.5%	11.8%	42.1%	18.0%	2.2%	30.7%	31.1%	11.4%	6.6%
80歳代以上	138	2.2%	15.9%	7.2%	11.6%	14.5%	35.5%	10.1%	2.2%	28.3%	29.7%	18.8%	10.1%
無回答	8	50.0%	12.5%	12.5%	12.5%	0.0%	12.5%	0.0%	12.5%	12.5%	50.0%	0.0%	12.5%

問４　これから学習する場合、どのような場所や形態で学習したいと思いますか。（あてはまるもの全てに○）

形態の面では「公的機関の講座や教室」が 41.2%と最も高く、次いで「民間事業者の講座や教室、通信教育」が 19.1%、「同好者のサークル活動」が 18.7%となっています。

場所の面では「インターネット」が 45.6%で最も高く、次いで「書籍や雑誌など」が 38.4%、「生涯学習センター、公民館」が 32.0%となっています。



【年代別】

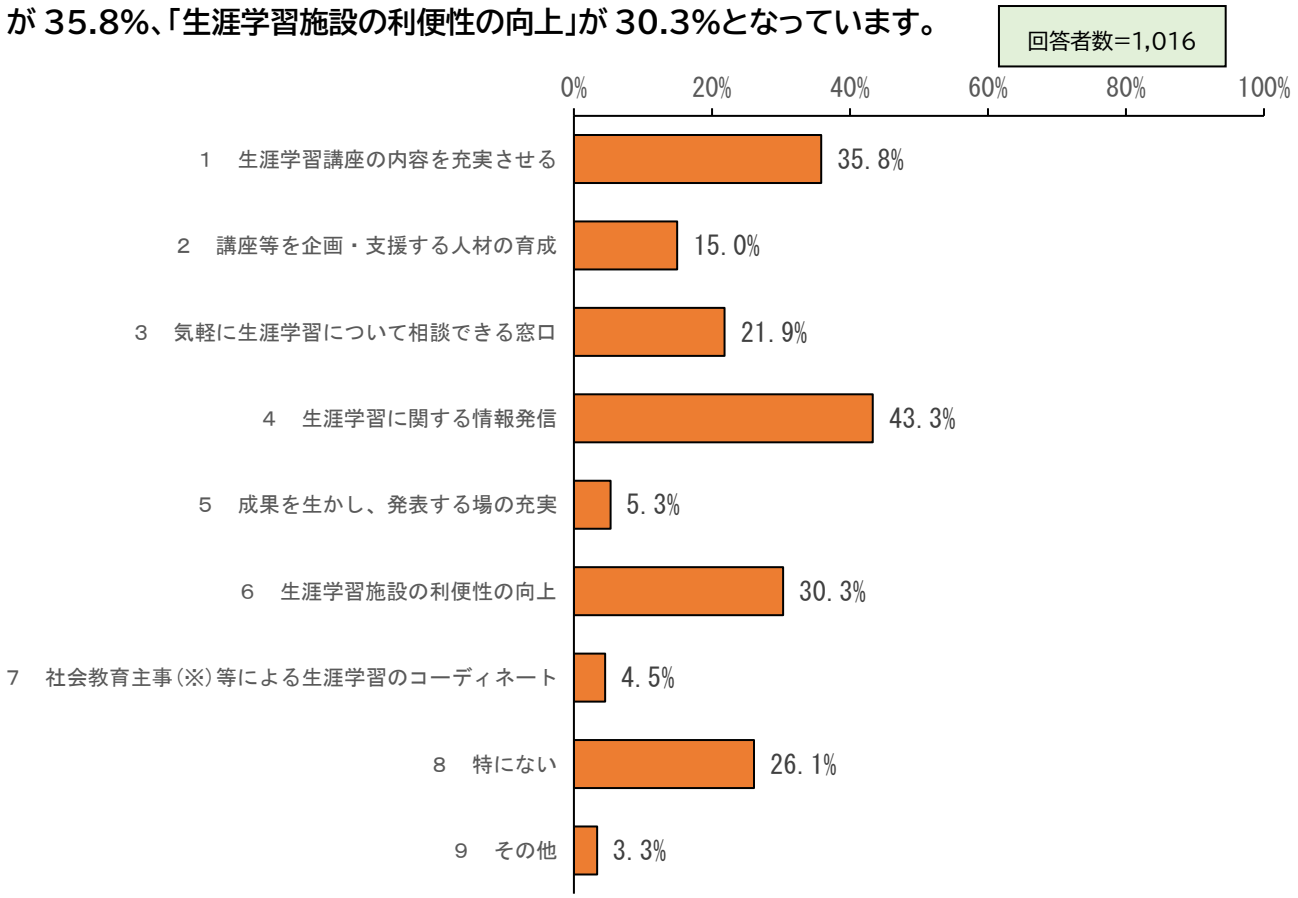
形態の面では、「大学や専門学校の講座や教室、通信教育」、「職場の教育、研修」が 20 歳代で、「公的機関の講座や教室」が 30 歳代以上で、「同好者のサークル活動」が 70 歳代で高くなっています。

場所の面では、「インターネット」が 20 歳代から 60歳代で、「書籍や雑誌など」が各世代で、「生涯学習センター、公民館」が 40 歳代以上で高くなっています。

年齢	回答者数	１　公的機関の講座や教室	２　民間事業者の講座や教室、通信教育	３　大学や専門学校の講座や教室、通信教育	４　職場の教育、研修	５　同好者のサークル活動	６　生涯学習センター、公民館	７　図書館、博物館	８　テレビやラジオ	９　インターネット	１０　書籍や雑誌など	１１　その他
20歳代	58	22.4%	19.0%	34.5%	32.8%	13.8%	5.2%	25.9%	12.1%	72.4%	34.5%	0.0%
30歳代	79	32.9%	26.6%	19.0%	24.1%	5.1%	12.7%	27.8%	16.5%	64.6%	38.0%	1.3%
40歳代	129	50.4%	30.2%	24.0%	19.4%	13.2%	32.6%	24.0%	17.8%	66.7%	39.5%	2.3%
50歳代	214	47.2%	26.6%	20.1%	11.2%	14.5%	29.9%	25.2%	17.8%	52.3%	39.7%	1.9%
60歳代	171	49.7%	18.7%	13.5%	8.8%	22.2%	41.5%	26.9%	24.6%	48.5%	40.9%	1.8%
70歳代	214	36.4%	10.3%	7.5%	0.0%	28.0%	40.7%	27.1%	24.3%	26.2%	36.4%	5.6%
80歳代以上	123	30.9%	5.7%	7.3%	4.1%	22.8%	33.3%	18.7%	30.9%	15.4%	36.6%	8.9%
無回答	8	50.0%	12.5%	50.0%	0.0%	0.0%	12.5%	37.5%	12.5%	62.5%	37.5%	0.0%

問５　市に期待する生涯学習に関する取り組みはありますか。
（あてはまるもの全てに○）

「生涯学習に関する情報発信」が 43.3%と最も高く、次いで「生涯学習講座の内容を充実させる」が 35.8%、「生涯学習施設の利便性の向上」が 30.3%となっています。



※社会教育主事は、地域の学習課題を把握し、事業の企画・実施や専門的な助言と指導を行うことによって、地域住民の自発的な学習活動や学習を通じた地域づくりの活動を支援する役割を果たしています。

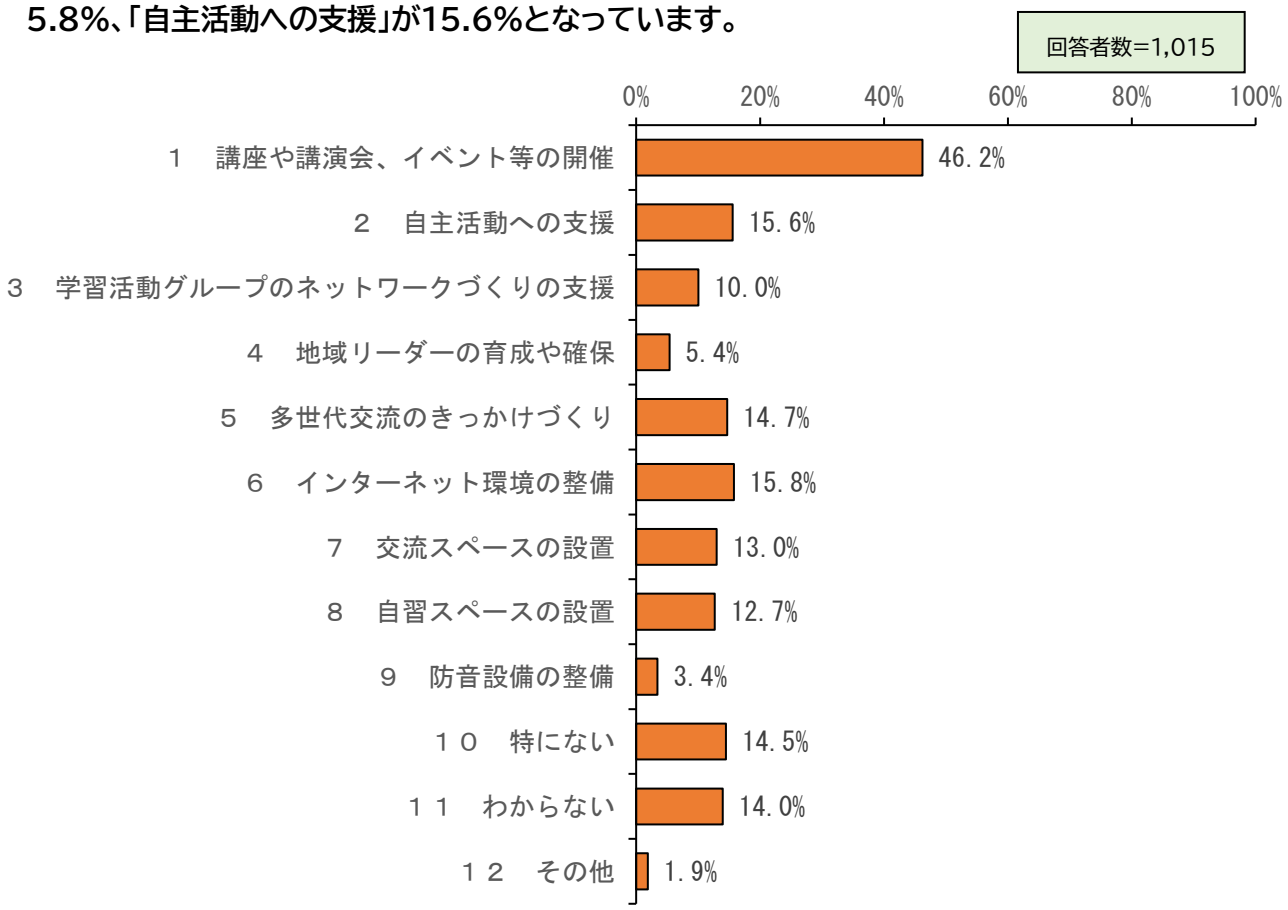
【年代別】

「生涯学習講座の内容を充実させる」や「生涯学習に関する情報発信」、「生涯学習施設の利便性の向上」が各世代で高くなっています。一方で、20 歳代、30 歳代と 80 歳代以上は「特にない」も高くなっています。

年齢	回答者数	１　生涯学習講座の内容を充実させる	２　講座等を企画・支援する人材の育成	３　気軽に生涯学習について相談できる窓口	４　生涯学習に関する情報発信	５　成果を生かし、発表する場の充実	６　生涯学習施設の利便性の向上	７　社会教育主事(※)等による生涯学習のコーディネート	８　特にない	９　その他
20歳代	59	23.7%	22.0%	15.3%	20.3%	3.4%	27.1%	1.7%	37.3%	0.0%
30歳代	79	34.2%	15.2%	15.2%	41.8%	6.3%	25.3%	3.8%	27.8%	3.8%
40歳代	129	45.0%	18.6%	19.4%	52.7%	5.4%	35.7%	6.2%	18.6%	6.2%
50歳代	217	44.7%	18.9%	20.7%	47.0%	6.0%	33.2%	4.6%	18.9%	3.7%
60歳代	173	40.5%	17.3%	27.7%	54.9%	5.8%	34.1%	6.4%	22.5%	0.6%
70歳代	222	28.8%	10.4%	23.9%	39.6%	5.0%	28.8%	2.7%	27.9%	4.1%
80歳代以上	128	22.7%	6.3%	19.5%	29.7%	3.9%	21.1%	3.1%	43.0%	3.1%
無回答	9	55.6%	11.1%	55.6%	44.4%	11.1%	44.4%	33.3%	0.0%	11.1%

問６　生涯学習施設にどのような役割や機能等を期待しますか。
（主なもの2つまで○）

「講座や講演会、イベント等の開催」が46.2%と最も高く、次いで「インターネット環境の整備」が15.8%、「自主活動への支援」が15.6%となっています。



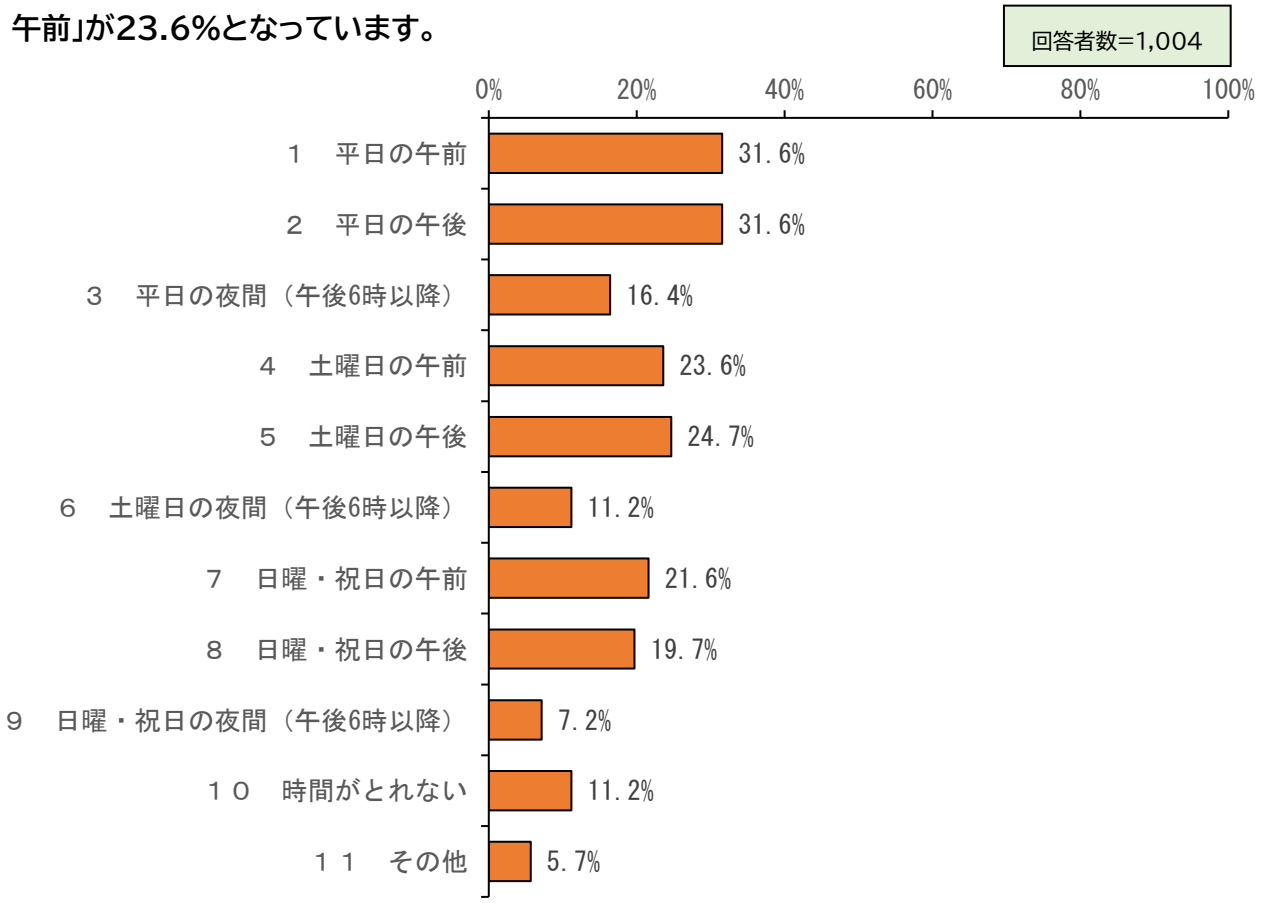
【年代別】

「講座や講演会、イベント等の開催」が各世代で高くなっています。その他、「インターネット環境の整備」が20歳代から60歳代で、「自習スペースの設置」が20歳代から40歳代で高くなっています。

年齢	回答者数	１　講座や講演会、イベント等の開催	２　自主活動への支援	３　学習活動グループのネットワークづくりの支援	４　地域リーダーの育成や確保	５　多世代交流のきっかけづくり	６　インターネット環境の整備	７　交流スペースの設置	８　自習スペースの設置	９　防音設備の整備	１０　特にない	１１　わからない	１２　その他
20歳代	59	23.7%	20.3%	13.6%	1.7%	10.2%	16.9%	6.8%	23.7%	10.2%	13.6%	13.6%	1.7%
30歳代	76	43.4%	14.5%	3.9%	2.6%	13.2%	22.4%	13.2%	21.1%	2.6%	10.5%	10.5%	1.3%
40歳代	129	54.3%	16.3%	15.5%	3.9%	20.9%	19.4%	9.3%	20.9%	7.0%	7.0%	7.8%	1.6%
50歳代	216	56.9%	19.0%	9.3%	5.1%	13.9%	21.3%	13.9%	13.9%	3.2%	9.7%	10.6%	1.9%
60歳代	170	55.3%	12.9%	17.1%	6.5%	12.9%	18.2%	14.1%	12.9%	2.9%	12.4%	14.1%	1.8%
70歳代	222	40.5%	14.0%	8.1%	5.9%	17.6%	8.6%	14.0%	6.3%	1.4%	17.1%	19.8%	2.3%
80歳代以上	131	29.8%	13.7%	2.3%	8.4%	10.7%	6.9%	13.7%	3.1%	1.5%	32.1%	17.6%	2.3%
無回答	12	50.0%	16.7%	8.3%	8.3%	8.3%	25.0%	25.0%	16.7%	8.3%	0.0%	16.7%	0.0%

問７　生涯学習がしやすい時間帯はいつですか。
（あてはまるもの全てに○）

「平日の午前」、「平日の午後」が31.6%と最も高く、次いで「土曜日の午後」が24.7%、「土曜日の午前」が23.6%となっています。



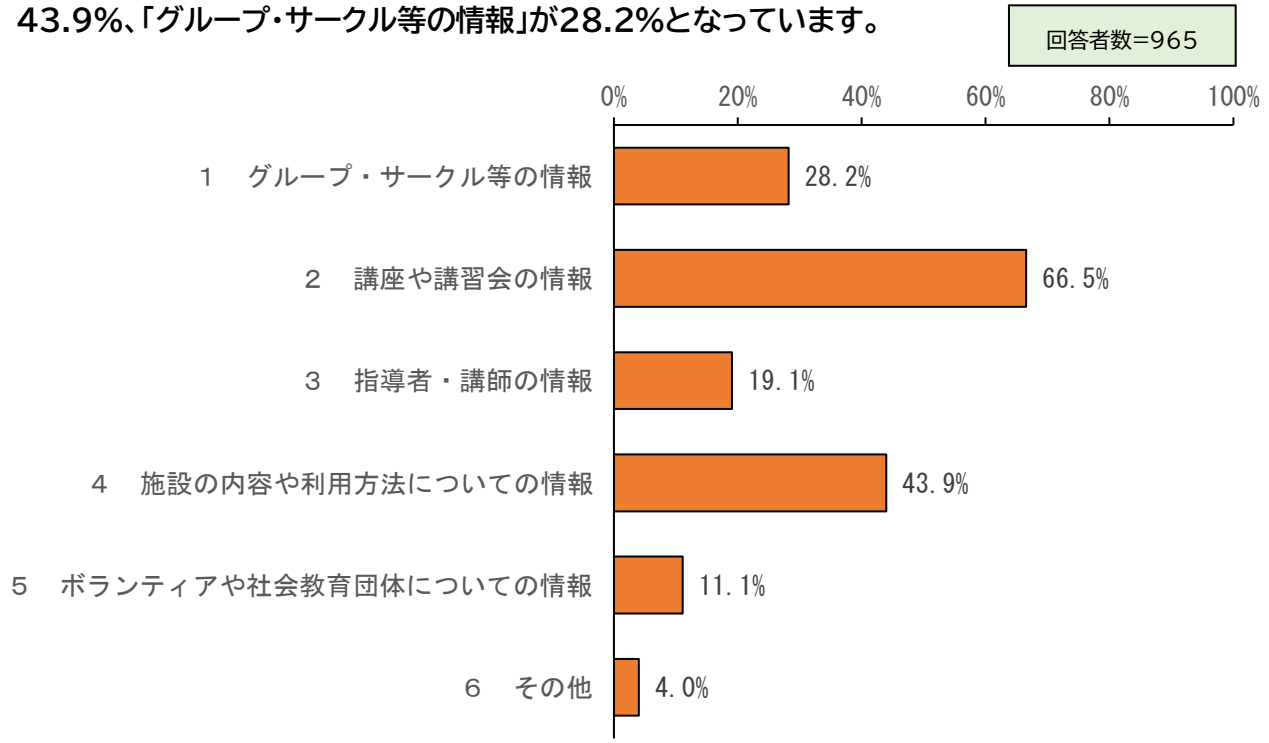
【年代別】

60歳代以上では「平日の午前」、「平日の午後」が高くなっています。一方で20歳代から50歳代では「土曜日の午前」、「土曜日の午後」、「日曜・祝日の午前」、「日曜・祝日の午後」が高くなっているほか、20歳代では「平日の夜間（午後6時以降）」も高くなっています。

年齢	回答者数	１　平日の午前	２　平日の午後	３　平日の夜間（午後6時以降）	４　土曜日の午前	５　土曜日の午後	６　土曜日の夜間（午後6時以降）	７　日曜・祝日の午前	８　日曜・祝日の午後	９　日曜・祝日の夜間（午後6時以降）	１０　時間がとれない	１１　その他
20歳代	59	5.1%	8.5%	33.9%	22.0%	33.9%	20.3%	23.7%	23.7%	18.6%	23.7%	5.1%
30歳代	78	17.9%	10.3%	23.1%	26.9%	28.2%	17.9%	34.6%	23.1%	11.5%	24.4%	3.8%
40歳代	129	17.8%	14.7%	29.5%	35.7%	32.6%	21.7%	31.8%	27.9%	15.5%	10.9%	7.8%
50歳代	215	24.2%	19.5%	24.7%	29.8%	34.9%	17.7%	29.3%	29.8%	11.2%	12.1%	5.1%
60歳代	172	40.7%	39.5%	12.2%	22.7%	25.0%	7.6%	20.9%	20.9%	3.5%	7.6%	4.7%
70歳代	213	48.8%	51.2%	5.2%	15.0%	14.1%	1.9%	11.3%	10.3%	0.0%	7.0%	4.7%
80歳代以上	126	37.3%	47.6%	2.4%	15.1%	11.9%	2.4%	7.9%	5.6%	0.8%	7.1%	9.5%
無回答	12	33.3%	50.0%	8.3%	25.0%	8.3%	0.0%	16.7%	8.3%	8.3%	16.7%	0.0%

問８　生涯学習に関してどのような情報を必要としていますか。
（主なもの2つに○）

「講座や講習会の情報」が66.5%と最も高く、次いで「施設の内容や利用方法についての情報」が43.9%、「グループ・サークル等の情報」が28.2%となっています。



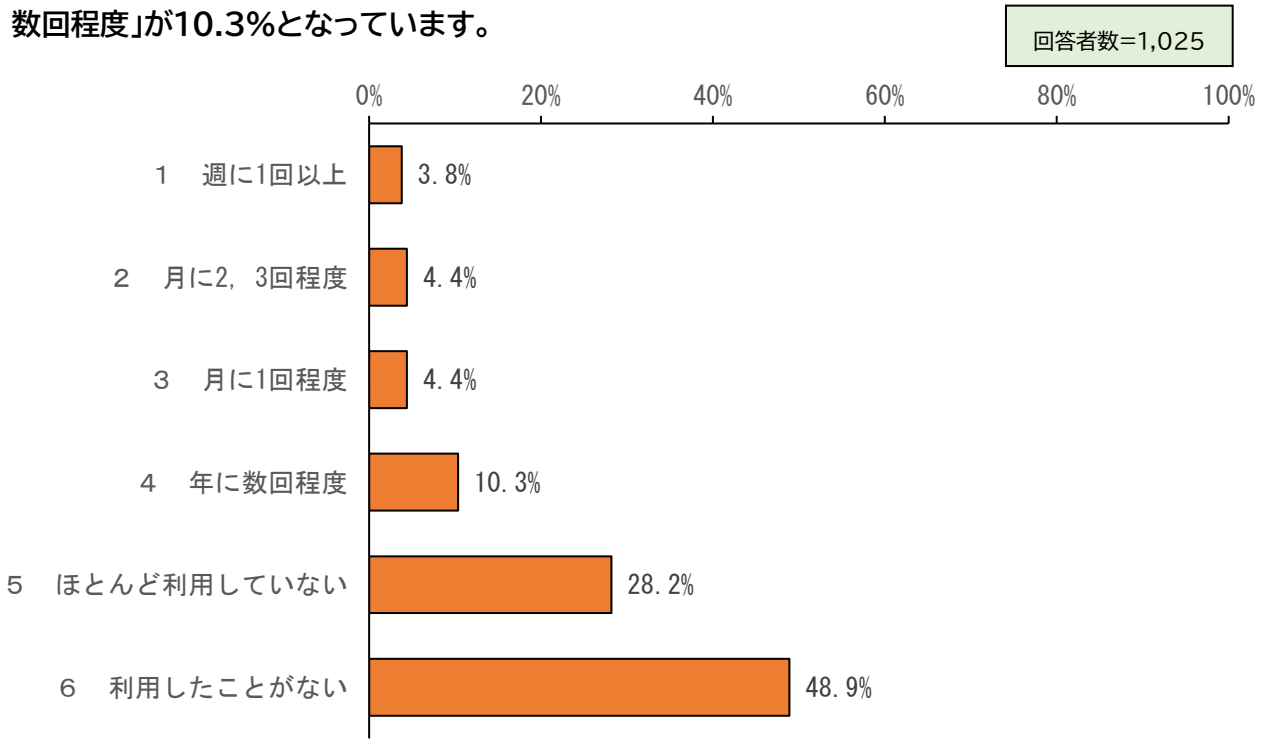
【年代別】

全ての世代で「講座や講演会の情報」、「施設の内容や利用方法についての情報」、「グループ・サークル等の情報」の順で高くなっています。

年齢	回答者数	１　グループ・サークル等の情報	２　講座や講習会の情報	３　指導者・講師の情報	４　施設の内容や利用方法についての情報	５　ボランティアや社会教育団体についての情報	６　その他
20歳代	57	22.8%	54.4%	19.3%	40.4%	12.3%	3.5%
30歳代	76	18.4%	67.1%	17.1%	50.0%	6.6%	1.3%
40歳代	127	27.6%	73.2%	26.0%	51.2%	7.1%	2.4%
50歳代	213	24.9%	75.1%	20.7%	44.6%	10.3%	3.8%
60歳代	163	29.4%	76.1%	17.2%	39.9%	14.1%	0.6%
70歳代	207	34.8%	56.0%	17.4%	41.5%	10.6%	5.3%
80歳代以上	110	30.0%	51.8%	16.4%	43.6%	15.5%	10.0%
無回答	12	33.3%	83.3%	8.3%	33.3%	16.7%	16.7%

問９　生涯学習施設をどれくらい利用していますか。
（１つに○）

「利用したことがない」が48.9%と最も高く、次いで「ほとんど利用していない」が28.2%、「年に数回程度」が10.3%となっています。



【年代別】

各世代で「利用したことがない」、「ほとんど利用していない」が非常に高くなっていますが、年齢があがるにつれて「週に1回以上」、「月に2、3回程度」、「月に1回程度」が高くなる傾向があります。

年齢	回答者数	１　週に1回以上	２　月に2，3回程度	３　月に1回程度	４　年に数回程度	５　ほとんど利用していない	６　利用したことがない
20歳代	58	1.7%	0.0%	0.0%	6.9%	24.1%	67.2%
30歳代	78	2.6%	2.6%	1.3%	10.3%	28.2%	55.1%
40歳代	129	0.8%	3.1%	4.7%	10.9%	33.3%	47.3%
50歳代	214	0.5%	2.8%	2.8%	13.6%	26.2%	54.2%
60歳代	173	3.5%	3.5%	4.6%	9.2%	28.9%	50.3%
70歳代	227	7.0%	8.8%	4.8%	9.7%	25.1%	44.5%
80歳代以上	136	8.8%	4.4%	8.8%	8.8%	31.6%	37.5%
無回答	10	0.0%	10.0%	10.0%	10.0%	40.0%	30.0%

<クロス集計>
問１ウ（居住校区）と問 9（生涯学習施設の利用頻度）について

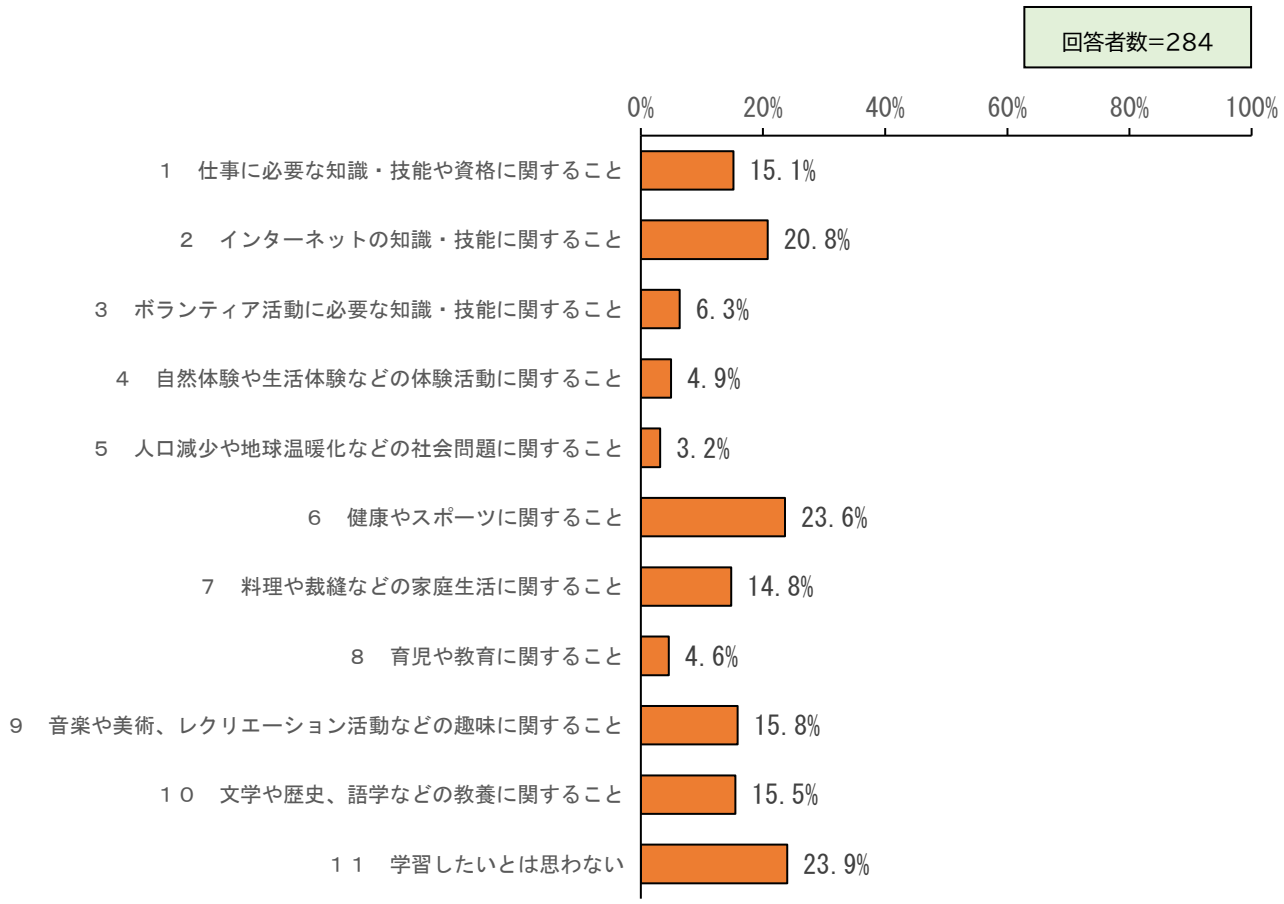
居住校区ごとに生涯学習施設の利用頻度を集計しました。回答者が少ない「笠取小学校」、「笠取第二小学校」を除き、概ね全ての校区で 10%前後の回答者が月 1 回以上生涯学習施設を利用している結果となりました。

回答者数=1,060

居住校区	回答者数	１　週に1回以上	２　月に2，3回程度	３　月に1回程度	４　年に数回程度	５　ほとんど利用していない	６　利用したことがない	無回答	*月に1回程度以上の集計*	*年に数回程度以下の集計*
０１　菟道小学校	42	2.4%	7.1%	4.8%	19.0%	31.0%	31.0%	4.8%	*14.3%*	*81.0%*
０２　菟道第二小学校	63	6.3%	6.3%	0.0%	11.1%	34.9%	41.3%	0.0%	*12.7%*	*87.3%*
０３　神明小学校	63	3.2%	0.0%	6.3%	7.9%	39.7%	41.3%	1.6%	*9.5%*	*88.9%*
０４　槇島小学校	43	2.3%	4.7%	4.7%	9.3%	37.2%	41.9%	0.0%	*11.6%*	*88.4%*
０５　北槇島小学校	24	0.0%	0.0%	4.2%	4.2%	29.2%	62.5%	0.0%	*4.2%*	*95.8%*
０６　小倉小学校	90	7.8%	3.3%	4.4%	7.8%	18.9%	54.4%	3.3%	*15.6%*	*81.1%*
０７　伊勢田小学校	55	5.5%	3.6%	3.6%	14.5%	16.4%	50.9%	5.5%	*12.7%*	*81.8%*
０８　西小倉小学校	34	0.0%	2.9%	8.8%	0.0%	29.4%	50.0%	8.8%	*11.8%*	*79.4%*
０９　北小倉小学校	28	7.1%	0.0%	3.6%	14.3%	14.3%	60.7%	0.0%	*10.7%*	*89.3%*
１０　南小倉小学校	30	3.3%	3.3%	3.3%	3.3%	36.7%	46.7%	3.3%	*10.0%*	*86.7%*
１１　大久保小学校	86	0.0%	5.8%	3.5%	12.8%	37.2%	36.0%	4.7%	*9.3%*	*86.0%*
１２　大開小学校	50	4.0%	6.0%	4.0%	12.0%	26.0%	44.0%	4.0%	*14.0%*	*82.0%*
１３　西大久保小学校	31	3.2%	3.2%	6.5%	9.7%	25.8%	48.4%	3.2%	*12.9%*	*83.9%*
１４　平盛小学校	13	7.7%	0.0%	7.7%	15.4%	7.7%	61.5%	0.0%	*15.4%*	*84.6%*
１５　宇治小学校	74	2.7%	4.1%	2.7%	12.2%	27.0%	50.0%	1.4%	*9.5%*	*89.2%*
１６　三室戸小学校	44	6.8%	11.4%	4.5%	11.4%	31.8%	31.8%	2.3%	*22.7%*	*75.0%*
１７　南部小学校	46	2.2%	2.2%	8.7%	10.9%	21.7%	52.2%	2.2%	*13.0%*	*84.8%*
１８　岡屋小学校	49	4.1%	6.1%	4.1%	12.2%	30.6%	42.9%	0.0%	*14.3%*	*85.7%*
１９　木幡小学校	62	4.8%	4.8%	3.2%	9.7%	17.7%	56.5%	3.2%	*12.9%*	*83.9%*
２０　御蔵山小学校	71	1.4%	2.8%	4.2%	7.0%	31.0%	50.7%	2.8%	*8.5%*	*88.7%*
２１　笠取小学校	1	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	*0.0%*	*0.0%*
２２　笠取第二小学校	1	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	*0.0%*	*100.0%*
２３　わからない	38	5.3%	2.6%	2.6%	7.9%	5.3%	73.7%	2.6%	*10.5%*	*86.8%*
無回答	22	0.0%	9.1%	4.5%	0.0%	27.3%	31.8%	27.3%	*13.6%*	*59.1%*

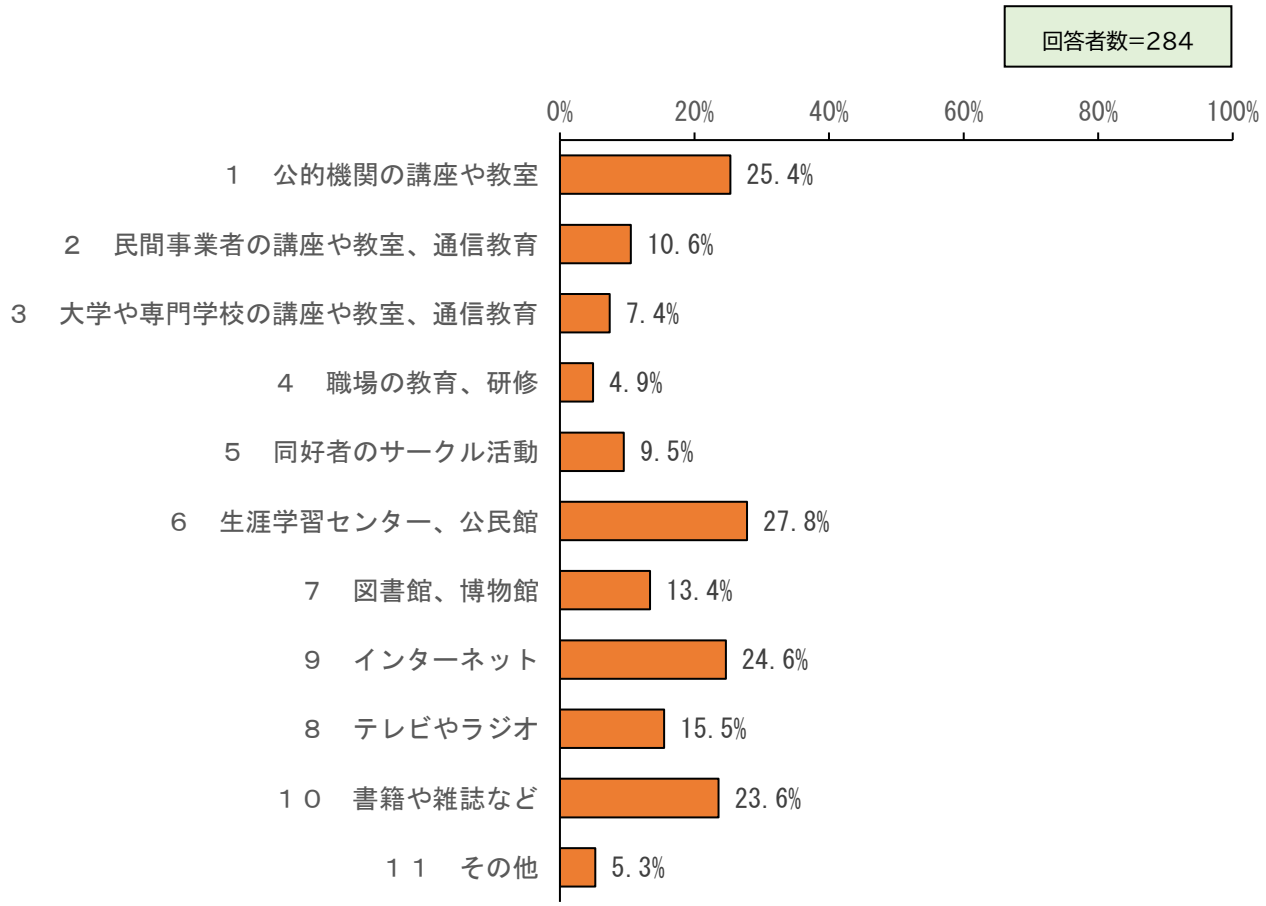
問２（過去１年間の学習実態）で「学習していない」を選択された方の問３の回答について

過去 1 年間に「学習していない」を選択された方が、これからどのようなことを学習したいと考えておられるかを集計しました。P9 の回答者全員の集計と比較すると、「学習したいとは思わない」の割合が高く、その他の項目の割合は低くなっています。



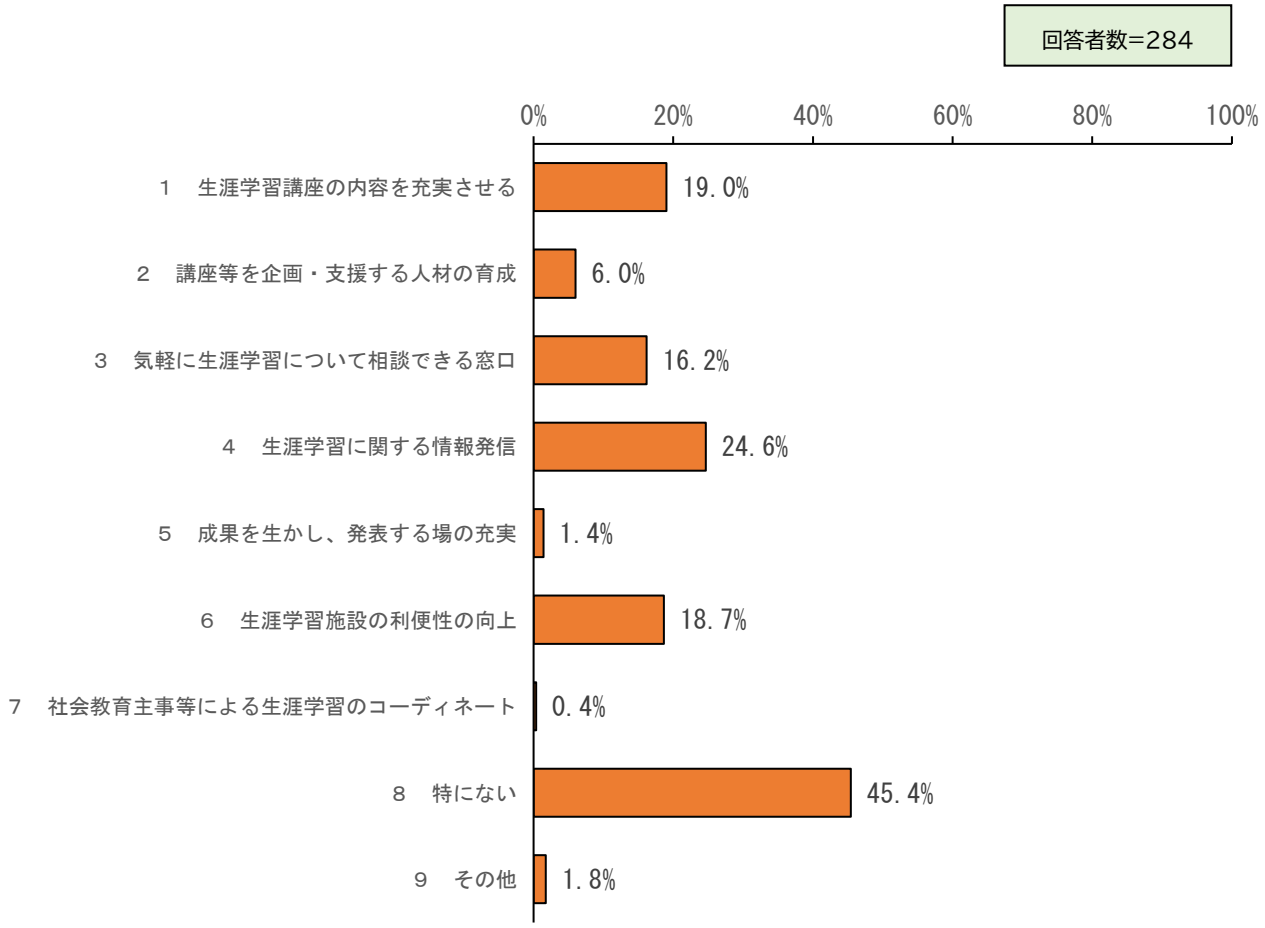
問２（過去１年間の学習実態）で「学習していない」を選択された方の問４の回答について

過去１年間に「学習していない」を選択された方が、これからどのような場所や形態で学習したいと考えておられるかを集計しました。P10 の回答者全員の集計と比較すると、数値は全項目で低くなっていますが、形態の面で「公的機関の講座や教室」が、場所の面で「生涯学習センター、公民館」、「インターネット」、「書籍や雑誌など」の割合が他の項目より高い傾向は同じです。



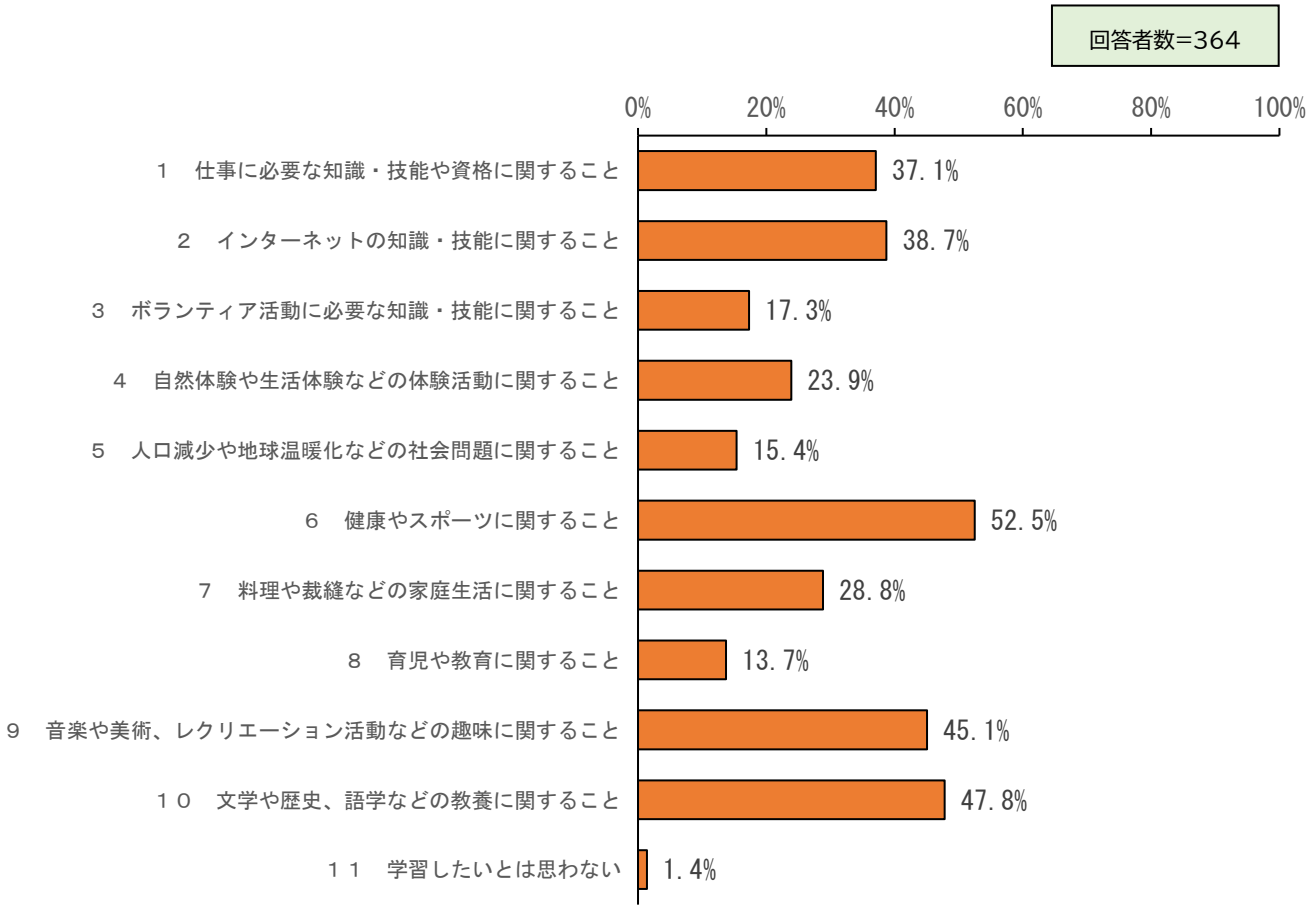
問２（過去１年間の学習実態）で「学習していない」を選択された方の問５の回答について

過去１年間に「学習していない」を選択された方が、市にどのような生涯学習の取り組みを期待されているかを集計しました。P11 の回答者全員の集計と比較すると、「特にない」の割合が高く、その他の項目の割合は低くなっていますが、「生涯学習講座の内容を充実させる」、「生涯学習に関する情報発信」、「生涯学習施設の利便性の向上」の割合が他の項目より高い傾向は同じです。



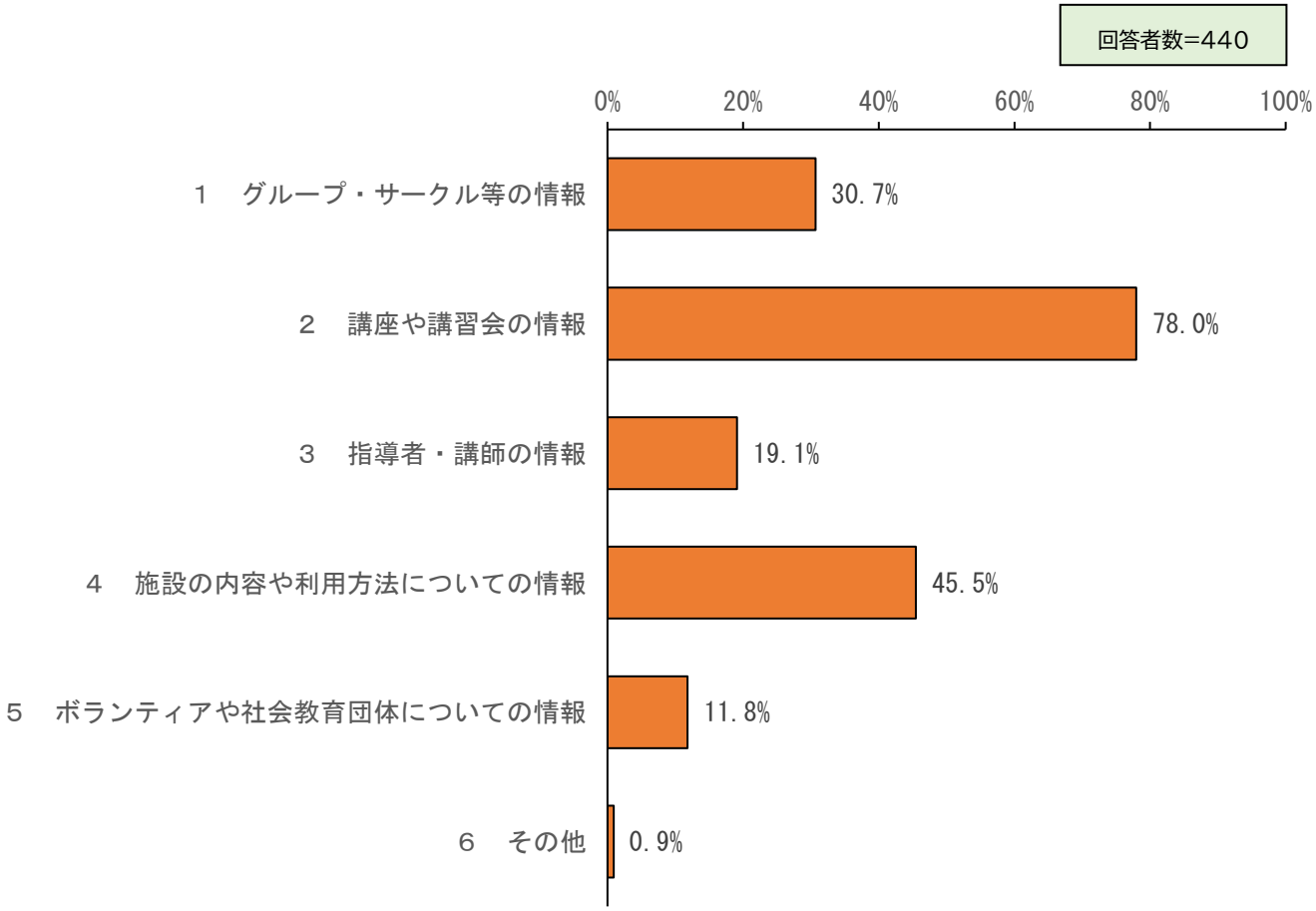
問 5（市に期待する生涯学習の取り組み）で「生涯学習講座の内容を充実させる」を選択された方の問 3 の回答について

市に期待する生涯学習に関する取り組みについて「生涯学習講座の内容を充実させる」を選択された方が、これからどのようなことを学習したいと考えておられるかを集計しました。P9 の回答者全員の集計と比較すると、「学習したいとは思わない」の割合が低く、その他の項目の割合は高くなっていますが、「健康やスポーツに関すること」、「文学や歴史、語学などの教養に関すること」、「音楽や美術、レクリエーション活動などの趣味に関すること」の順で数値が高く、傾向の違いは見られませんでした。



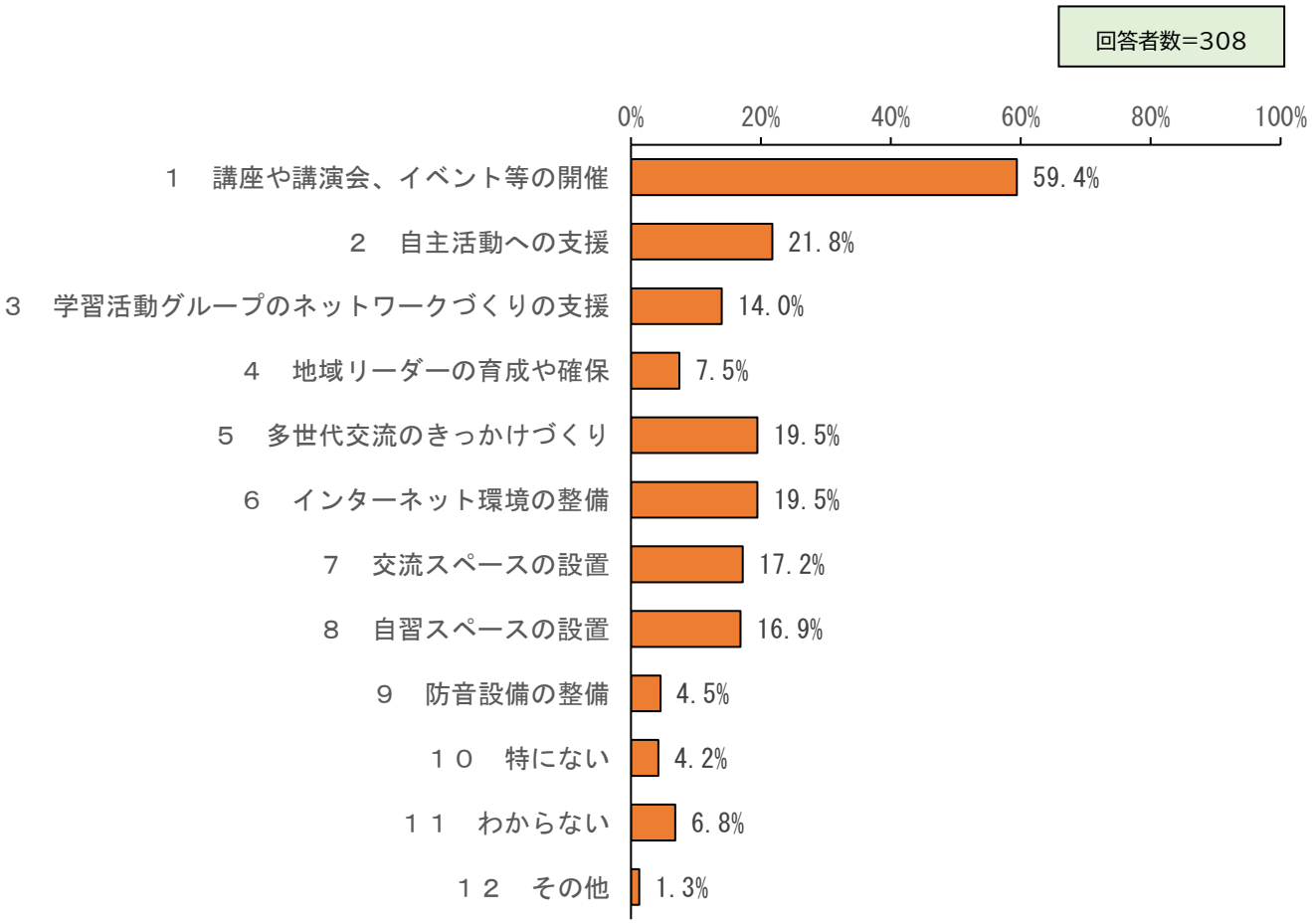
問 5（市に期待する生涯学習の取り組み）で「生涯学習に関する情報発信」を選択された方の問 8 の回答について

市に期待する生涯学習に関する取り組みについて「生涯学習に関する情報発信」を選択された方が、生涯学習に関してどのような情報を必要とされているかを集計しました。P14 の回答者全員の集計と比較すると、「講座や講習会の情報」、「施設の内容や利用方法についての情報」、「グループ・サークル等の情報」の順で数値が高く、傾向の違いは見られませんでした。



問 5（市に期待する生涯学習の取り組み）で「生涯学習施設の利便性の向上」を選択された方の問 6 の回答について

市に期待する生涯学習に関する取り組みについて「生涯学習施設の利便性の向上」を選択された方が、生涯学習施設にどのような役割や機能等を期待されているかを集計しました。P12 の回答者全員の集計と比較すると、「講座や講演会、イベント等の開催」が最も高く、その他の項目が横並びの状態であり、傾向の違いは見られませんでした。



問９の生涯学習施設の利用頻度別の各設問の回答傾向について

問 4（希望する生涯学習の場所や形態）について、問 9 の生涯学習施設の利用頻度別に回答を集約しました。「公的機関の講座や教室」の割合は「年に数回程度」以上で 50%を超えており、「同好者のサークル活動」や「生涯学習センター、公民館」は利用頻度が高い階層で、「インターネット」や「書籍や雑誌など」は利用頻度が低い階層で選択される傾向が見られます。

回答者数=1,025

生涯学習施設利用頻度	回答者数	1 公的機関の講座や教室	2 民間事業者の講座や教室、通信教育	3 大学や専門学校の講座や教室、通信教育	4 職場の教育、研修	5 同好者のサークル活動	6 生涯学習センター、公民館	7 図書館、博物館	8 テレビやラジオ	9 インターネット	10 書籍や雑誌など	11 その他
1 週に1回以上	39	51.3%	15.4%	7.7%	2.6%	53.8%	56.4%	38.5%	20.5%	30.8%	30.8%	5.1%
2 月に2，3回程度	45	55.6%	28.9%	22.2%	11.1%	42.2%	66.7%	26.7%	17.8%	26.7%	37.8%	4.4%
3 月に1回程度	45	55.6%	15.6%	13.3%	2.2%	28.9%	44.4%	35.6%	20.0%	40.0%	44.4%	0.0%
4 年に数回程度	106	53.8%	16.0%	21.7%	7.5%	17.9%	46.2%	44.3%	27.4%	51.9%	47.2%	1.9%
5 ほとんど利用していない	289	44.3%	20.1%	15.9%	12.5%	16.6%	30.4%	23.2%	22.8%	45.7%	40.5%	1.7%
6 利用したことがない	501	29.1%	17.6%	14.6%	10.8%	12.8%	21.2%	18.8%	18.0%	43.7%	31.7%	3.6%

問 5（市に期待する生涯学習に関する取り組み）について、問 9 の生涯学習施設の利用頻度別に回答を集約しました。利用頻度に関わらず、「生涯学習講座の内容を充実させる」、「生涯学習に関する情報発信」、「生涯学習施設の利便性の向上」の数値が高くなっていますが、「利用したことがない」を選択された方は「特にない」の数値も高くなっています。

回答者数=1,025

生涯学習施設利用頻度	回答者数	1 生涯学習講座の内容を充実させる	2 講座等を企画・支援する人材の育成	3 気軽に生涯学習について相談できる窓口	4 生涯学習に関する情報発信	5 成果を生かし、発表する場の充実	6 生涯学習施設の利便性の向上	7 社会教育主事（※）等による生涯学習のコーディネート	8 特にない	9 その他
1 週に1回以上	39	38.5%	15.4%	15.4%	56.4%	10.3%	41.0%	12.8%	10.3%	5.1%
2 月に2，3回程度	45	55.6%	24.4%	28.9%	48.9%	11.1%	55.6%	6.7%	4.4%	8.9%
3 月に1回程度	45	51.1%	22.2%	17.8%	53.3%	11.1%	35.6%	4.4%	13.3%	4.4%
4 年に数回程度	106	49.1%	21.7%	24.5%	56.6%	5.7%	41.5%	11.3%	7.5%	2.8%
5 ほとんど利用していない	289	39.8%	15.9%	23.2%	45.3%	4.5%	30.1%	4.2%	19.0%	3.1%
6 利用したことがない	501	25.1%	10.6%	19.2%	35.1%	3.6%	23.4%	2.0%	35.7%	2.4%

問 6（生涯学習施設に期待する役割や機能等）について、問 9 の生涯学習施設の利用頻度別に回答を集約しました。利用頻度に関わらず、「講座や講演会、イベント等の開催」の数値が高くなっています。また、利用頻度が高い階層では「多世代交流のきっかけづくり」や「交流スペースの設置」を選択され、生涯学習施設に交流を通じた学びの機能を求める傾向が見られますが、利用頻度が低い階層では「インターネット環境の整備」や「自習スペースの設置」を選択され、個別の学びを求める傾向が見られます。

回答者数=1,025

生涯学習施設利用頻度	回答者数	1 講座や講演会、イベント等の開催	2 自主活動への支援	3 学習活動グループのネットワークづくりの支援	4 地域リーダーの育成や確保	5 多世代交流のきっかけづくり	6 インターネット環境の整備	7 交流スペースの設置	8 自習スペースの設置	9 防音設備の整備	10 特にない	11 わからない	12 その他
1 週に1回以上	39	48.7%	28.2%	5.1%	12.8%	23.1%	10.3%	23.1%	5.1%	5.1%	7.7%	5.1%	5.1%
2 月に2，3回程度	45	53.3%	35.6%	17.8%	8.9%	15.6%	4.4%	26.7%	17.8%	6.7%	8.9%	2.2%	4.4%
3 月に1回程度	45	62.2%	15.6%	20.0%	0.0%	13.3%	13.3%	15.6%	15.6%	2.2%	4.4%	2.2%	2.2%
4 年に数回程度	106	60.4%	16.0%	14.2%	9.4%	17.9%	17.9%	12.3%	16.0%	3.8%	5.7%	7.5%	0.9%
5 ほとんど利用していない	289	51.6%	14.5%	9.0%	8.0%	18.7%	15.9%	14.9%	15.9%	2.4%	10.0%	8.3%	0.3%
6 利用したことがない	501	35.9%	12.6%	7.6%	2.2%	10.2%	16.2%	8.6%	9.2%	3.4%	19.2%	19.8%	1.8%

Ⅲ　宇治市の教育行政への意見・提案（自由意見）

「生涯学習の推進に向けて（案）」及び今後の市の教育行政に対するご意見・ご提案がありましたら、ぜひ、お聴かせください。（自由記入）

情報発信について（44 件）

Ｎｏ．	年代	性別	意見
1	20 歳代	男性	何か取り組もうと思う姿勢は見られるが、情報発信が少し弱いと思える。
2	20 歳代	男性	市のホームページや情報誌で講座を開催している事をもっとアピールしてみんなに知ってもらった方が良いと思います。知らない人が多いのではないかと思います。高齢者が増加するので、ネット配信で自宅でも受講できる様にすれば良いと思います。
3	20 歳代	男性	どのような内容の講座があるかを、もっと宣伝した方がいい。利用を検討する人が多くなると考える。
4	20 歳代	女性	生涯学習施設を今回このアンケートで知ったので、みんなにも知ってもらえるようにもっと宣伝するべきだと思いました。
6	30 歳代	女性	引っ越してきたばかりで、生涯学習施設がある事を今回初めて知りました。もっと知る機会があればいいなと思いました。生涯学習施設がどこにあり、何ができる場所なのかもわからないため…。
7	40 歳代	男性	関心の薄い人はどのような活動を行っているか知らない人も多いと思います。もっと広く周知できるよう、今までとは異なる方法や工夫した取組も必要ではないでしょうか。
8	40 歳代	男性	生涯学習センターのことを知らなかったので、もっと知ってもらう活動が必要。
9	40 歳代	男性	子育て（乳幼児）と会社勤めに追われて、そんな余裕は自分にはないと思うが、子ども達の教育による学習が充実するのであれば、しっかりと発信・周知をしながら進めてほしい。
10	40 歳代	女性	何かに興味を持ってやりたい学びたいと思っても、情報入手が難しい。各コミセンに行ってサークル案内をみて回ったりもしたし、たまたま活動している場に居合わせて活動を知ったりした。もっと一元的に情報集約しておいてほしい。

Ｎｏ．	年代	性別	意見
11	40 歳代	女性	正直、どこでどういった内容の活動をされているのか情報を目にすることがほとんどありません。若い方たちはもっと知らないと思います。 若者も立ち寄るような各沿線の駅やコンビニにも情報誌を備え付けたり、ネットも活用してどんどん市民に情報が行き渡るようにしたほうが良いのではと思います。
12	40 歳代	女性	あまり情報が届いていないと感じるので、SNS 等でも広報してほしいです。オンラインでの学びを充実させて頂けると嬉しいです。
13	40 歳代	女性	宇治市が主催している『学習イベント』どこでどのような事が行われているか、SNS（インスタやフェイスブック）などでもっと情報発信してほしいです。紙媒体での情報はあまり見ないのと、電話での予約などは少しハードルが高く思います。市のイベントは興味はありますが、堅苦しいイメージがあります（勝手なイメージですみません）。 追伸：このアンケートきっかけで宇治市のインスタ見つけました！フォローしました。情報発信楽しみにしています！
14	40 歳代	女性	数年前に京都市より転入してきて今だにペーパードライバーなので自宅から徒歩圏内に生涯学習センターのような場所ができるともっと気軽に行ってみようかなと思いやすくなると思います。高齢者の方も。町内会の回覧版にこのような情報をどんどん発信してより多くの市民に知ってもらうことで学ぼう、行ってみようと思う人はいるのでは…（町内会の回覧版は毎年いつも内容が同じなので、もっと広く情報がほしいです。サインまでして回すので読んでいる方多いと思います）話ずれてしまい申し訳ございません。
15	40 歳代	女性	手話や語学を勉強したいが、経済的・時間の余裕がないので市の取組を活用できたらな～と思っていたところ、今回のアンケートが届いた。宇治市の LINE 登録しているが、公民館の情報設定していないのか広報が入ってこない。生涯学習の市の取組は一部の人しか活用できていない印象がある。年齢問わず一人でも気軽に参加できる学習の場があればと思っている。（案）の中で「学び直し」が注目されているとあったので、ぜひ形にしてほしい。
16	50 歳代	男性	わかりやすい内容で発信してください。

Ｎｏ．	年代	性別	意見
17	50 歳代	男性	個人で新たなコミュニティーへの参加は一般的にハードルが高い。広報の際、新規参加がしやすいような呼びかけや画像、動画などによる工夫を行い、見ていて行きたくなるような仕組みが必要。（現状、自由参加を呼びかけるのが堅くて真面目で面白そうでない）
18	50 歳代	男性	今回のアンケートで、宇治市の生涯学習について知りました。現役を引退された一部の方々が集って活動するイメージがあるので、現役世代が学ぶきっかけになるような取り組みに期待したい。また、市政だよりの掲載や、宇治市の SNS（があるのか？）、公民館へのチラシの設置などで広報しているだけでは、情報は届かないので、知らせる工夫をされてみては、いかがでしょう。
19	50 歳代	男性	学習講座の案内などが自宅に配布されると有難いです。
20	50 歳代	男性	私には利用することはありませんでしたが、市民のため、必要とされている方に分かりやすく周知していただけたらと思います。
21	50 歳代	男性	よい講座をやっていただいていると思います。そういう情報は自ら取りに行けばよいのですが、仕事に追われなかなか困難ですので、新聞や市政だよりなどに、目立つように発信していただければと思います。また、図書館の蔵書がちょっと少ないのではないかと思います。人気本ばかりではなく、また実利に役立たなくても、教養を深められる本を蔵書していただければ幸いです。
22	50 歳代	女性	どんなことをしてるのかわからない。 生涯学習センターの HP 見たら色んなことをやってるみたいでびっくりした。 もっと情報発信してもらえると興味のあるものに参加してみたい。 サークルの案内など市政だよりなどで発信してもらいたい。 城陽市のように宇治文化センターをもっと活用して欲しい。 ライブや演劇とかやって欲しい。
23	50 歳代	女性	最近たくさんの外国からの観光客を目にします。そういう方へのボランティアガイドなどができればと思いますが、何をどうすれば良いのかさっぱりわかりません。情報の発信があればうれしく思います。日本の方への歴史のガイドなども興味があるので、そういう情報もあればお願いします。折角、観光の街に住んでいるので、何かやってみたいとずっと思っていました。今回の機会でご意見させていただけ、ありがたく思います。

Ｎｏ．	年代	性別	意見
24	50 歳代	女性	市民が利用しやすいように発信してください。私は働いておりますので夜間の利用が便利です。
25	50 歳代	女性	私には「生涯学習」と聞くと、「仕事をリタイヤした高齢者のするもの」というイメージがあります。そういうものではないという何か宣伝、啓蒙も必要と思います。
26	50 歳代	女性	サポーターとして行かせていただいている親子あそびの「おやこっこらんど」については知っているが、他にもっと子育て支援をされているのか、他にどんな活動、市民が気軽に足を運べるような企画があるのか、情報の発信がどの程度されているのかがわかりにくい。他のことは知らない…というか。子どもが小学校の時に保育園の同窓会をするのに調理室を借りたことがありますが…。気軽に利用できるということが大切かなと感じます。学生には自習室として、夜まで開放などできるとありがたいと思う。宇治市は図書館にも自習室がない。
27	60 歳代	男性	メールマガジンなどを隔週ぐらいで発行して欲しい
28	60 歳代	男性	講座や学習会の情報発信が足りて無いのではと感じています。
29	60 歳代	男性	「広報うじ」で生涯学習講座を見ますが、掲載以外の活動は認知度がほぼゼロなのではないかと思っています。
30	60 歳代	男性	学習施設等の情報発信を具体的に！特に趣味等での交流をはかれる場づくりや人材交流もあれば必要では。
31	60 歳代	男性	生涯学習に関わる情報発信を更に強化していただきたい。
32	60 歳代	男性	活動イベント等の情報が分かりやすいように発信してほしい。
33	60 歳代	男性	宇治市 18 万人の内、何人が利用していますか？20 数年住んでいますが図書館を数度利用しただけです。 冊子のはじめに書いてあります内容ですが、環境整備、活力醸成に貢献など感したことがありません。 冊子 8 ページ課題 3 が全てだと思う。市民は「生涯学習」の言葉は知っているが、実際の中身は知らない人が多いと思う。講座、講演会などをしているのは知っているが、どんなことをいつやっているかを知らない。市 LINE、施設へのポスターなどで広報ができていると思っているところから、考えなおしたほうがいいと感じています。

Ｎｏ．	年代	性別	意見
34	60 歳代	男性	アンケート調査資料を読ませていただく中で、公民館に関する経過や課題について学ぶことができました。ありがとうございました。 【公民館の課題】③「公民館に関わる情報についての周知が不足している」については同感です。今の市政だよりは日程と行事の羅列になっているので、公民館独自の情報発信が必要です。市 LINE による広報には限界があると思います。 公民館利用者の声を聞きつくすことが最も重要ではないでしょうか？ 引き続き、教育委員会としての主体（独立）性を発揮していただき、生涯学習社会の発展を願っています。 事務局の皆さんご苦労様です。頑張って下さい。期待しています。
35	60 歳代	男性	（案）P2.「はじめに」で、「～、市民自らが幅広い分野で～進めてまいりました。」とありますが、まだまだ情報提供（市民への周知）が必要ではないでしょうか。 例えば、近くに「西小倉コミセン」がありますが、どのような学習会、事業や活動が展開され、気軽に参加できるのか、など、全く知り得ません。(知らないのは自分のみで、ほとんどの地域住民の方が知っておられるなら、けっこうです。)
36	60 歳代	女性	まずセンターに行くのに歩いてバス停に（15 分）そこからバスに乗り行かなければならないのが面倒でおっくうになっています。いろんな催事をしてくださっているようですが、告知が「字（漢字)」だらけで目を引かずとまらず、堅苦しく感じてしまっています。行けばきっと勉強になることや楽しさがあると思いますが、その一歩が重いです。気楽さ、気軽さを欲しています。勝手なことを書いていますが、どうぞめげずにおもしろい企画やら堅い企画やら発信し続けてください。これを機会に一度足を運んでみようという気になっております。まとまりない文面ですみません。最後に、ぜひ明るい大きな告知を！
37	60 歳代	女性	「uji」とかに載せるだけではなく、チラシみたいに講演会とかサークル活動をこまめに発信して欲しい。

Ｎｏ．	年代	性別	意見
38	60 歳代	女性	市民の生涯学習への取組はいろいろ考えられて実際に活動されているようですか？末端まで伝わりづらいのか、周知されていないものも多いと思います。市民だより等、よく目にするものにわかりやすく紹介されていると興味がわいたり行動しやすいとと思います。 それから施設までの交通が不便だと行きづらいです。 市民だより等の施設がどこにあるかわからないので、施設の紹介があってもうれしいです。
39	70 歳代	男性	今回のアンケートが良い機会になりました。色々な事に参加していきたいなあと思いました。色々な情報発信を御願いします。
40	70 歳代	男性	最近まで働いていましたので、宇治市の施設を利用したことはありません。丁度、今後施設で実施されている講座、講習及びサークル等に参加したいと思っていたとことです。 現在私みたいな環境の人が多いのでは？と思っておりこれらの人たちの生涯学習意欲を活性化させるためには「一歩を踏み出すきっかけ（契機）作り」が大切と思います。その契機を提供する情報発信をおねがいします。 例えば宇治市ホームページ上で独自のサイトを作り、年金、住居、講座等の種類等から自分の目的に行き着くような HP はいかがでしょうか。
41	70 歳代	女性	滋賀・京都・奈良・木津等の日頃拝観できない寺社仏閣の拝観日等のお知らせだよりがあれば良いのですが…。
42	70 歳代	答	交流＆ボランティアをしたくても、どの様にして良いかわからないです。
43	80 歳代以上	男性	各活動されているグループのメンバーと活動内容が固定化されており、新規参入がむずかしい。呼びかけと宣伝が今後の課題と思われます。
44	80 歳代以上	女性	情報があまり伝わってこないのでわかりません。これからの時代にはあなた方がとり組んでいる教育行政を求められると思います。

施設について（48 件）

Ｎｏ．	年代	性別	意見
1	20 歳代	男性	生涯学習に関するものは年寄りしか使ってない印象。 コミセンしかりもう若い世代は使わないと思う。 建物を潰したら年寄りの反対に合うのは目に見えてるけど、未来世代には無用の産物。 公用施設のあり方について再検討すべき。施設の管理や修繕に税金が投入されていると思うと甚だ疑問に思う。
2	20 歳代	男性	世代を超えて気軽に交流できる場所を増やす。
3	20 歳代	女性	図書館の充実および自習スペースの併設。
4	20 歳代	女性	勉強できる場所がない。あったとしても 17 時までと短い。京都市にある青少年活動センターのような場所があるのなら教えていただきたいです。私自身勉強できる所を調べるが、勉強してもよい所なのか分かりません。コミセンや市役所内など勉強できるのであれば、情報提供してほしいです。私自身大学が市内で少し時間もかかるため宇治でしたいと思っています。家だとなかなか集中できないため勉強できる所をつくってほしいです。友人や家族も家以外で勉強できる所をさがしています。また夕方から利用できると嬉しいです。意見として言っていいか分かりませんが、お願いします。
5	30 歳代	女性	私が子どもの頃の公民館のイメージは「いつでも卓球しに行けるらしい」位のものでした。いま生涯学習センターと言われても、学校の作品展など限られた機会しかなく、生活に密着していない人も多いと思います。子どもたちが自由に遊べるとか、ママ友同士で集えるとか、サークル活動などを計画したときに「生涯学習センターにしよう」となるような場所になれば良いなと思います。立派な建物なので、もっともっと市民が利用できる親しみがある場所としてイメージができるようになればいいのになと思います。話は変わりますが、学校によってシステムが違うことに不公平を感じています。学校同士の交流はないのでしょうか。情報共有していたり、よりよくしていこうという動きがないのが不思議でなりません。教育現場の人々も、本当に子どもたちのことを考えて働いていただいているのかなと不安になります。

Ｎｏ．	年代	性別	意見
6	30 歳代	女性	宇治公民館が閉鎖されたことが気になっています。そこで活動していた人たちが同じように活動できるような場所を作ってほしいと思います。
7	30 歳代	女性	最近は図書館なども自習が禁止されていることが多いので気軽に利用できる自習スペースがあれば良いなと思いました。
8	40 歳代	男性	・既存の施設の充実と環境をととのえて頂きたい。（ネット環境や資料の充実など） ・他府県との連携で資料や作品などの相互レンタルなどの推進。 　宇治市はお茶や源氏物語に頼りすぎている節がある。（もっと他にも目をかけていかないと総合的に他県に遅れをとる可能性もある） ※こないだも地上波で自虐的に紹介していました。
9	40 歳代	女性	今の現状では、入り口が狭い。 生涯学習も、ネット環境を利用すれば老若男女使用できる機会が増える。 どこかの施設に行かなければならない事自体が市の施設を利用する気にならない。
10	40 歳代	女性	茶づなに公民館の機能を移転してほしかった。若者の意見は人数的に高齢者には勝てないので残念です。
11	40 歳代	女性	明石市、神戸市に住んでいた期間が長いので、宇治市の生涯学習が充実していないことを残念に思います。子どもから大人まで学びたい気持ちを育ててほしいのなら、まずは図書館を整えてほしいです。仕事帰りでヘトヘトにつかれたサラリーマンこそ、本は大切です。閉館時間が早すぎます。ネットで見たら？ではなく、図書館の役割を、もっと宇治市の職員さんは考えてほしい。明石図書館を参考にして下さい。
12	40 歳代	女性	図書館の利用時間は夜 9 時頃までにしてほしい。午後 5 時 6 時は早い。
13	50 歳代	男性	東京の昭和館のようなテーマに関連する雑誌や漫画を図書館に置いて、国会図書館のように館内閲覧のみにすれば、世代を超えた市民が利用すると思います。
14	50 歳代	男性	無料で利用できる自習室の整備を希望します。槇島町本屋敷グリーンタウンに住んでいますが、生涯学習施設が近くにはないようにみうけられます。

Ｎｏ．	年代	性別	意見
15	50 歳代	男性	・公民館、図書館等へのアクセスが不便 ・図書館の使いにくさを感じる 　他の市の図書館の造り、利用方法を学ぶべき ・図書館と、例えばスターバックスなどの café を併設すると利用する市民は多くなるのでは？
16	50 歳代	男性	公共施設の更新に合わせて、施設の機能の集約化を図り、効果的な施設配置を進めてほしい。市役所のスペースを使って活動する事も考えてほしい。
17	50 歳代	女性	これまで、コミセンと公民館の違いがよく分かりませんでした。 今回の資料を読み込んでもあまりピンときていません。 公民館が統廃合されると、通うのに遠くなってしまう方が出てくるのではないでしょうか？ また、遠方になると、車で通われる方もおられるかもしれないので、どうお考えでしょうか？ コミセンは、住民票などの公的な書類の受け取りが出来ますが、公民館では今後そのような機能はあるのでしょうか？ マイナンバーが普及して、便利にはなりましたが、ご高齢の方がその方法についていけていないと感じます。 私もこれから歳をとって、今と同じように動けなくなった時にどうしたら良いのだろうと、思います。 生涯学習と言えば、鳳凰大学で受講するイメージでした。 新型コロナの流行で、集まる機会が激減しました。 家に引きこもられる方も増えておられ、家族、地域では賄いきれない課題ですね。 また、不登校の子どもたちも多く、学校に何らかの理由で行けない、行かない子どもたち、保護者の方への支援も担っていただきたいと思います。 大分的外れですが、今回の機会をいただき、お伝えしたいと思いました。
18	50 歳代	女性	もっと安価で貸し出してほしい。 （特に借り手が少ない時間帯など） また、生涯学習センターは市が管理しているはずなのに、市の委託事業などでも、借りるのにお金がかかるのはなぜ？と思う。 縦割り行政の悪いところが出ている。

Ｎｏ．	年代	性別	意見
19	50 歳代	女性	子どもが小さい頃にお世話になった公民館、これ以上縮小したりなくさないでほしいです。
20	50 歳代	女性	（思いつくままに書きますのですでに対策済でしたら申し訳ございません。） 今後施設を新設されるのであれば単体ではなく複合的意味合いを持たせては？美馬市地域交流センター（ミライズ）に旅の途中で立ち寄った際、良い施設と感じました。1F にスーパーもあり、長時間滞在できる感じがしました。いろいろな選択肢があって個々が選び取ることがひとつの建物でできそうでした。個人的にはひとりでやることが好きなので、インターネットを利用した何かがあれば定年後に利用できるかもしれません。運転ができなくなれば、循回バスに乗って施設に行けたらと思います。よりよい方向へよろしくお願いいたします。
21	50 歳代	女性	宇治市に参りまして 2 年です。残念ながら「公民館…何をしているところ？」レベルです。資料を拝読しますと、施設数はある様に思えますが、近鉄線東部に片寄っている気もします。〇〇センターもその違いがよくわからず名称と機能から考え直しても良いのでは？市民活動の場だけでなく災害時のハコとしての役割を考えると、テコ入れも必要に思います。月 2 回の広報誌も目を通してはいますが…広報活動大事だと思います。 施設の近隣に商業施設を誘致して欲しいです。モールでなくて良いのでイオン来て欲しいです。買物が不便に感じます。
22	50 歳代	女性	家で勉強することが難しい学生が自習するスペースがないと思います。夏休みや長い休みに学生が利用できるスペースを確保していただきたい。
23	50 歳代	女性	図書館の貸出本を増やしてほしい。 利用期間を平日以外でも増やしてほしい。 利用時間を長くしてほしい。

Ｎｏ．	年代	性別	意見
24	50 歳代	女性	現在、高校生、大学生の子どもの子育て中に、図書館のおはなし会、夏休みのイベントや、料理教室、映画鑑賞など、「学習」と気負わず気軽に参加、活用させていただきました。中、高、大学生が安全で静かに勉強出来るスペースがあったら生涯学習施設の利用は引き続くと思うのですが、いかがでしょうか？使用目的を絞りすぎず誰でも自由に机と向き合えるオープンな場所が宇治市にあったらと切に願います。（もちろん既存の建物でも） 登録制の大学生でフリースタディコーナーの管理運営等を任せたりルールをアップデートさせながら、新しい発想で、生涯学習課施設の活発な活用が続いていきますよう心から願っております。 ぜひぜひご検討くださいませ。
25	50 歳代	女性	育児中や定年後は利用が多くなると思います。地域で集える場は大切だと思います。有料では参加しにくいので、現在と同程度の無料で使用できるのがいいです。宇治公民館は育児中は利用していました。以前より小さい建物でいいので再建を希望します。
26	60 歳代	男性	様々な立場の方々の居場所づくりや、気軽に立ち寄れるカフェスペースの設置。障害者作業所のパンや菓子の販売コーナーもあれば、嬉しい。 また、様々な研修会の期間限定でも、録画視聴が出来れば、働いている世代でも、学びを深めることができる。オンライン対応の充実。
27	60 歳代	女性	公民館の「集約化及び複合、多機能化」の名の下に統廃合は止め、これまでどおり存続を強く希望します。駐車料金や利用料金について、市民の負担を増やすなどは止めてください。地方自治は住民のため、自治体の役割は住民の福祉向上のための施策を行うことです。住んで良かったと思える行政を願っています。よろしくお願いいたします。
28	60 歳代	女性	働いているものには利用しにくい時間帯の施設や活動が多いのかと思いほとんど利用したことがありません。今後改善されれば利用したいと思いますが…。
29	60 歳代	女性	活動している主な施設が 6 カ所との事で、もう少し増設してもらえると利用者も増加すると思います。
30	60 歳代	女性	駐車場の利用について、市役所の駐車場でないといけないのはなぜか。同じ宇治市民なのに…。

Ｎｏ．	年代	性別	意見
31	60 歳代	女性	宇治公民館は私（60 代）が小さい頃から、気軽に行ける場所でした。家からも自転車で行けてとても良かったです。無くなってしまって残念でした。気軽に行ける場所で、色々と習ったりしたいです。
32	60 歳代	女性	公民館を中学校の側とか中とかに移動したら場所はわかりやすいし避難場所とかにも充実するのではないか？ お金はある程度は支払った方が良い。当事者意識は必要だからすべてにコストがかかることを認識すべき。ついでに茶づなは無駄づかい。
33	70 歳代	男性	公共施設の集約化及び複合・多機能化、強く賛成します。今時箱物の新設は時代遅れです。オンラインなどネット空間で出会い、学習を大幅に増やすことで目的は達成できる。直接会うことは人と人の温もりも伝わるので無くすことはできないが、会う回数が減れば、施設が小規模になっても利用し合うことはできる。正に個々の施設をネット空間に置き換えれば、将来維持管理費を含む次世代への負担を減らせます。間違いなくこれから年と共にネット空間のコミュニケーションは増え、施設に頼る世代（人口）は減ります。国のネット活用デジタル化方針を飛び越える位の具体策を望みます。若い世代のために頑張って欲しい。
34	70 歳代	男性	定年退職後、長年あたためてきたテーマをまとめたいと思いました。自学自習できる施設がないか調べたのですが公民館は個人には貸していない、図書館は本を読む場所であり自習の場ではないとのことです。テーマに沿って調べたり書いたりできる場所があれば有り難いと思うのですが…。
35	70 歳代	男性	・公共施設は必要最小限にとどめ、広い場所施設等で各年代が総合的に利用出来るもの。 ・我ら高齢になると、施設までの交通機関の利用、自分自身で出向けるところ。 ・図書館、美術館、博物館、展示会の鑑賞は多く。 ・パソコン講座、高齢者アカデミー等々を気軽に参加したい。
36	70 歳代	女性	現在自主的に活動している団体の活動を市が規制・制限したりすることがないようお願いしたい。公民館廃止には反対します。

Ｎｏ．	年代	性別	意見
37	70 歳代	女性	中宇治地区は商業地区でもあるので観光客でにぎわっているが、実は地元民が集まって学びをする場所がない。公民館が無くなって、どこに行って人と出会い学びがあるのか不安がある。空地・空家はコインパーキングばかりです。観光の町ですが、地元民はつまらない。出会いや会話も無くなって悲しい。商店だけが楽しくもうけている。
38	70 歳代	女性	現在ふれあいセンターを週１回以上利用させていただいている。雨の日はドア付近まで雨が降る状態で、靴や傘の内部までビショビショになる。せめてひさしを付けていただきたい。また、高齢者の楽しみであるサークル継続のためには、無料で使用できるという事がミニマム必要である。貧乏のなかでも顔を合わせ話しして学ぶ事がとても大事である。日々のくらしは全く余裕のかけらもない状態であるが、その’学ぶという心’を市が奪ってしまうという事がないようにしてもらいたい。ふれあいセンターが金持ちのための教養センターにならないか、とても心配している。金持ちは有料のカルチャーセンターがホテルや新聞社、旅行会社があるので、そこへ行ってもらえばよい。生活の苦しい老人のための施設であってほしい。
39	70 歳代	女性	70 代前半頃はまだ生涯学習施設を利用させて頂いてましたけど下肢の状態のせいで、文化センター市役所付近の行事は遠のいています。色んな行事にも（体操・趣味・色んな勉強）参加したいと思いますので、町内の公民館・集会所での機会を考えて欲しいです。宜しくお願いします。
40	70 歳代	女性	・バイク、車を運転しない人にも利用しやすい場所。 ・参加して場違い感を与えない雰囲気作り。 社会に参加したい高齢者は多数おられると思います。経験上、上記2点の理由で参加を諦めている事があります。
41	70 歳代	女性	だんだん年取っていくと、時間はあるが人と話す事は少なくなってくるので、公民館とかある所で、お茶でも出来る所があるといいですね。
42	70 歳代	女性	公民館の場合、学びの場としての利用や地域ボランティアの活動拠点としての大切な場。 地域のボランティア活動が安心して継続できるよう、使用料金や部屋の押さえ等は考えて頂きたいと思います。

Ｎｏ．	年代	性別	意見
43	80 歳代以上	男性	職業生活を定年後、高年齢者大学（4 年間）に継続して地元の高年齢者教室（3 年程度）に通所し学習しました。以後、老人農園（4 年間）を利用しました。現在は囲碁サークルに週 4 日程度通っています。大変勉強になり、友達もでき、健康保持に役立ったと思います。継続できた一つの条件として、住居と施設（場所）の近接が私の場合は大きな条件であったと考えます。83 歳の現在では行動範囲が制限されますので、できれば少子高齢化に伴う学校施設の空教室、また民間の空家の活用等、身近な施設の活用で高年齢者にとっても交通至便な施設を考えてほしいと思います。
44	80 歳代以上	男性	私は大開校区に居住していますが、この中の地区の公民館（城南壮公民館）は、主に趣味の娯楽に利用されているようであり、もう少し教養の内容に使用するよう努めて頂きたい。それと、公民館がいつ誰がどのような内容のもので使用されているのかが判るよう、公民館使用計画みたいな物を提示されたらどうだろうと思う。
45	80 歳代以上	女性	コミセン施設の使用料は少し高いのでは？
46	80 歳代以上	女性	始める時間（鍵が開く時）、終了の時間（鍵を閉める時）等について、5～10 分位の余分な時間を認めてほしい。
47	80 歳代以上	女性	85 歳を超えた今、集会所が近くにあり、できるだけ自己管理に気を付けて、他人に迷惑をかけないように心がけて暮らしております。老いるという事はこんな事かと実感しています。絵手紙、体操等に参加して皆様に会えるのが楽しみです。もっと子どもたちとも会える場所、遊べる誰でも立ち寄れる場所があったらいいな…。時代の変換期大変でしょうが頑張ってください。
48	無回答	男性	高齢化が益々進む中、高齢者の生きがい、社会活動のための学習の場として、生学センターの役割は大きいと思います。関係の皆様に感謝申し上げます。

施策について（34 件）

Ｎｏ．	年代	性別	意見
1	30 歳代	男性	1）マルチメディア（テレビ、インターネット、広告など）を活用して広報経路を拡大する。 2）模範を示して話し、学習への自信を高める積極的な代表者を選出します。 3）学習の閾値を下げるためには、ある程度の難易度を設定し、学習者の思想的負担を軽減する必要があります。 4）タスクベースのプロジェクトを設定し、グループとして協力して目標を達成します。 5）個人の学習目標を設定するために 1 人 1 つの戦略を採用する。
2	30 歳代	女性	5 年程前に宇治市へ転居してきました。今年 3 月に第一子が生まれ、子育て支援のサービスや教室を初めて利用させて頂きました。パンフレットや HP も見やすく、助かっています。これまで生涯学習施設を利用してきませんでしたが、これから子どもと共に利用させて頂きたいと思います。親子で学べるような場所が充実すると嬉しいと思います。
3	40 歳代	女性	上記案拝読しました。生涯学習についての理念について初めて知りました。宇治市の財政が厳しいことは理解してますので、利用料を施設利用者から徴収するなど検討しても良い時期なのではないでしょうか。公共施設を公平に市民が利用できるように努力いただきたい。さらにオンライン講座などあれば若い世代も幅広く学習活動に参加できると思います。発信をお願いします。
4	40 歳代	女性	生涯学習施設等を利用したくなるような施策の提案。
5	40 歳代	女性	忙しくて、公共施設が十分利用できていないのですが、（案）は具体的に何を目指しているのか、よく分からない。利用者の意見をしっかり聞くことが大切だと思います。箱ものだけつくっても、コーディネートする人がいなければ利用できにくく、人を育てることにならないのではないかと思います。周りに宇治公民館を利用していて、閉館になり、困った人がたくさんいます。ぜひ、その人たちの声を聞いて、よりよいものをつくってほしいと思います。

Ｎｏ．	年代	性別	意見
6	50 歳代	男性	1. 世代間の交流の機会がないので、気軽に参加できるイベントやボランティア活動がもっと活発に行われてほしい。 2. 世代ごとの父親母親学級的なものが開催され、かつ、たくさんの住民が参加するものであるのが理想。 子どもへの学習内容は、将来子どもが生まれた時夫婦で協力しあうのが当たり前の考えになるようなものを。 子育て世代には、夫婦協力して子育てをする考えになるような教育も含め、かつ、実際に必要な情報やサービスの提供の場を。 その上の世代には、子どもたちが自由に過ごせる空間の大事さを伝えるなど(子どもの声が騒音になるという苦情もあると聞くので)。
7	50 歳代	男性	宇治市は、自然史に関する情報が特に少ないように思います。身近な自然を学びたいと考えても、基礎となる資料がありません。巨椋池干拓誌や天ケ瀬ダム関連資料以降、現在の自然をまとめではどうでしょうか。
8	50 歳代	男性	市内で起業や就職しやすくなるような学習に関する取り組みや小中学校の廃校施設や空き教室等の利用による設備・備品の使用。
9	50 歳代	男性	施設使用料の徴収を検討とあるが、今は無料なのか？殆ど利用したことがなく、必要性を感じない（ネットなどで充分）者からしたら無料で使っている人の為に税金を使っているとしたらすぐにでも有料にして欲しいです。
10	50 歳代	男性	宇治茶についてもっと学べるように。
11	50 歳代	女性	生涯学習施設としての役割としては初めましての入口。 市民同士をつなげる場。 それ以上を求めるには民間または個人の有料の講座へと移行しなくてはならない。 生涯学習講座は入門以上の内容を講師は出し惜しみする。 講師の謝金では世間の受講料に対して低くて価格破壊をおこしてしまいます。 また、公の講座だと思うと講師も少しおとなしい講座になって、いまいち盛り上がりきらない気がする。 また、市民の自主主催講座はお金を取れないのは完全な価格破壊、講師となる人のモチベーションを保てない。そして、また出し惜しみする。 市民講師にも最低限の権利を。

Ｎｏ．	年代	性別	意見
12	50 歳代	女性	友達が京田辺市に住んでおり、着付けや料理（材料費除く）の参加費用が 250 円だと聞きました。参加費用が安いことは重要だと思いました。どこかの偉い人ではなく、市民が講師となり、様々な学びを提供していただける企画を作ってもらいたいです。生涯学習というわかりにくい言葉ではなく、親しみやすいネーミングをつけて積極的に広げていってもらいたいです。楽器演奏に防音室を利用したいです。また、中学、高校生のバンドや吹奏楽練習にも、防音室を低価格で借りれる仕組みを作り、文化的な活動を推進してもらえたらと思っています。市民の力を生かしたシステム作りを願います。
13	50 歳代	女性	多世代交流の場をもっと増やし、コーディネーターの育成や切れ目のない活動の場になってほしいです。宇治市から京都府へそして国へと情報発信元となるよう、心から応援しています。新しい事の立ち上げは難しいことだと思いますが、何事もやってみないと分かりません。失敗してもいいと思います。そこから学ぶ事の方が良い結果につながると思います。頑張って下さい。ありがとうございました。
14	50 歳代	女性	学びたい学習内容がわかりづらいこと、一定の日時が多いので自主学習しやすい環境があればと感じます。
15	50 歳代	女性	イベント等を増やし興味も持ってもらう。
16	50 歳代	女性	人伝いではありますが教育現場の様子が昔と今では異なり、とまどうようなお話を伺います。今の時代なので「流行」はもちろん理解できますが、「人とのふれ合い」を大事にしてもらえる教育が必要だと思います。大人になっても「豊かな学び」が自分を支え、「信用できる大人に出会う事」が社会で自分を本当の意味で強くすることになると思います。生涯学習は年齢関係なく参加できる、誰もが参加しても安心できる、学習で社会に一歩踏み出せるなど…これからも健全なものであってほしいと思います。20 年後宇治市の教育への取組が好評価されることを願ってます。
17	60 歳代	男性	既設の生涯学習施設だけではなく、市内の企業や個人が場を設け、興味や関心のある方々が分け隔てなく気軽に参加できる学習の場が市内のあちこちに生まれる文化が芽生え、かつその場があらゆる学習や活動につながり、地域コミュニティの活性につなげたい。
18	60 歳代	男性	生涯学習の推進に期待しておりますので、魅力的で継続的な取り組みをお願いします。

Ｎｏ．	年代	性別	意見
19	60 歳代	男性	送られてきた「生涯学習の推進に向けて（案）」を拝読しましたが、「公民館」と言う昭和の亡霊に引きずられた前時代的な進め方に思えます。 みんなで集まって学習するのも意味はありますが、「好きな時間」に「好きな場所」で「学びたいテーマ」のような、そんな学習スタイル・学習機会を提供してほしいものです。
20	60 歳代	男性	定年などを迎え生活環境が変化する中で、社会とのつながりが希薄になってゆく傾向にあります。 是非、生涯学習の推進により、人との出会いや学習の場を設けてもらいたい。
21	60 歳代	女性	高齢化が進むので、スポーツをもっと重要視して頂きたい。心身ともに健康な人を増やすことが今の市がやるべき最も大切なことと考えています。現在でも例えばフレイル予防のための体操など取り組んでいると思います。しかし面白くないのでなかなか続かず、効果が限定的になりがちではないでしょうか。スポーツになじみのない人にスポーツを勧めるのは難しいですが、面白いことをして健康増進することが必要です。市の仕組みはよくわかりませんが府の保健所と連帯して例えばスポーツとスポーツのための栄養を「お笑い」を通じて浸透させるなど、効果的で役に立つ勉強を生涯学習として提供してほしいです。またそのための人材確保も大変重要と思います。健康寿命を延ばしてこそ、他の学習や活動も活発に出来ると思います。
22	60 歳代	女性	学びを深めるには継続が必要、提供方法はとても難しいと感じますが、「〇〇へ行けば様々なことが学べる、知ることができる」と思えるようになれば、足を運んでくれる回数が増えるのでしょう。地域活動や福祉、防災等ではなく、ここに防犯という言葉も入れば良いのにと思います。インターネットトラブル、詐欺被害など多いと感じます。このような学びの機会を増やしていただければと思います。
23	70 歳代	男性	家は砂田地域ですが、小倉公民館が場所的に 4ｋｍ程度あり遠いです。元気な老人・高齢者がおられますので、生涯学習推進を積極的に推進してほしいです。

Ｎｏ．	年代	性別	意見
24	70 歳代	男性	添付されていた「生涯学習の推進に向けて」（案）を拝見しましたが、アウトラインや検討といった言葉がきれいに並べられているだけで「推進」とは程遠い内容ではないでしょうか（だからアンケートをしているのかも）。例えば他の自治体のベストプラクティスなんかも事例にしてもっと具体的に議論を「推進」できるように進めていってほしいと感じました。「財政環境を鑑み」が前面に出ては建設的な成果は出てきにくいですね。
25	70 歳代	男性	年齢に関係なく「学ぶ意思意欲」のある市民への機会の拡大と支援、及び学びたくなる学習内容の充実を期待します。
26	70 歳代	男性	・スポーツ用品購入の高齢者割引制度。 ・スポーツ施設の割引。
27	70 歳代	男性	内容の充実も必要かもしれませんが、同じ内容であってもそのやり方、運営によって大きく評価が変わると思います。いかに分かりやすく、飽きずにやれるかの運営を工夫すべきだと思います。それは講師や指導者個人によって決まると思います。この選び方（基準）をもっと考えるべきだと思います。
28	80 歳代以上	男性	社会情勢の変化に伴い、宇治市においても就労外国人が多くなってきている。日本語を教える講座の充実を図る必要があるのではないでしょうか。そして現在ボランティアで携わっている人に対しても配慮が必要ではないかと考えます。
29	80 歳代以上	男性	地域の発展、市民向の交流を常に考慮し実行できる人を育てていくことを望みます。私自身身近に住んでる人との交流を積極的に進めています。
30	80 歳代以上	男性	AI が自由に使えるようになり、格段に便利になった。また、深く知ることができるようになった。これらの事をふまえた教育行政のあり方を研究する必要があると思います。
31	80 歳代以上	男性	①生涯学習の理念、教育基本法第 3 条は全くそのとおりで十分理解しているが、年代や個人的格差が大きすぎることから、今回のアンケート調査結果で総てであると思われるような集約をしようと考えるのは公平性が欠けると思われる。（対象者の年齢がバランスよく選定されているか中身が分からないため） ②大勢の方々（特に高齢者）は自分の健康状態に合った学習方法を考えることが基本であり、病人・通院通いをしている人は参加したくとも参加できないので、色々な方法で配慮する必要があるのではないか。

Ｎｏ．	年代	性別	意見
32	80 歳代以上	男性	今後も市民の教養学習向上に向け企画推進を続けて下さい。
33	80 歳代以上	男性	今後公民館や施設での教育環境は利用出来なくなる…施設へ行くことの困難。アクセス手段が悪くなっている、バスがない。 解決手段としてインターネット環境での方法を配慮して欲しい。市議会の様に。
34	80 歳代以上	女性	コロナの時に全てが自粛された時、外に出ることも無くなったため、一気に脚が動かなくなりました。 何をするにも億劫になり、さらに身体が弱ってしまったように感じます。 そういう時にも、自宅でできる学習の支援をしていただけるとよかったと感じています。

市政について（30 件）

Ｎｏ．	年代	性別	意見
1	30 歳代	男性	木幡公民館の老朽化が気になってます。学校区広く（影ない道を長く歩いている）、5～11 月気温湿度高い日が年々多い中の子どもの登下校、熱中症心配してます。日傘の市からの推奨や学校からの支給など検討を願います。首冷やすリングを下校時つけさせる等、何か対策してほしい。 黄檗公園施設、太陽が丘、公民館等施設は充実していると感じている。ありがたい。保育園、こども園、療養施設は不足と感じている。
2	30 歳代	女性	このアンケートの為に冊子を作成したり、わざわざ郵便で送ってくるのはその費用がもったいないと思います。税金をもっと有効活用して欲しいです。
3	30 歳代	女性	生涯学習の学びの場はもちろん必要であると思うが、その前に各校の教員不足を何とかしてほしい。教員が足りていないことによる不利益の方が問題。超過労働で質が下がる教育しか提供できないのなら、教員数を増やせるよう文科省に問い合わせるなどして宇治市独自でも教員数を確保できるよう働きかけてほしい。生涯学習よりも公的教育機関の充実を切に願う。
4	40 歳代	男性	時代、社会情勢に沿った青少年の教育、及び規則、校則の改訂 例 スマートフォン持ち込み禁止は社会情勢にそぐわない。 なぜなら、防犯のためにスマートフォンでの位置情報を取得しており、有事の際には所在特定に役立てるため。 授業中は、教壇横の机に置かせておけば良い。 禁止して、何かあった際に責任を取れるのか。 責任を取りたくないなら、取らないための方策を検討すべきである。
5	40 歳代	女性	資格取得に対する支援をしてほしい。 過去問を印刷する際の印刷代、受かった場合の祝い金など。 奨励資格の一覧を作成し、難易度に応じた奨励金があればやる気が出る。 学習の先にあることを明示して将来に備える大事さ、社会人になっても学びが必要なことを伝えてほしい。

Ｎｏ．	年代	性別	意見
6	40 歳代	女性	子ども達がもっと伸び伸び暮らせる行政にして下さい。ムダをなくして税金安くなるよう努力して下さい。中学の給食は何年かかっているのですか？もっと本当に役に立つ行政へ変わって下さい。
7	40 歳代	女性	今後中宇治地域を中心に活性化を測っていくとのことですが、宇治駅周辺～平等院あがた通りは、車の駐車スペースが少なく、満車、駐車料金が割高な印象があります。土地柄、公共交通機関を利用して中宇治へ行くことに躊躇します。停めやすい駐車スペースを同時にたくさん作ってもらえるとうれしいです。 「地域のつながり、きっかけづくり」といえば、〇〇というアイコン的場所におもしろい人が集まることを期待します。 河原町御池の Quest:on（京信）のような場を宇治にも作ってほしいです。 落西ニュータウンでの ACWA BACE 等（アグティ（株））の取りくみもおもしろいです！
8	40 歳代	女性	テレビや新聞では本当の事が分からない時代になったように思います。コロナワクチンに関し、接種した方が体調を崩され、近所からは接種しないと悪者になります。自分で考え選択できるよう宇治市で健康について子どもの頃からの教育をして頂きたいです。国が推し進める事について No とは言えないかもしれませんが、昔の食事・家庭のあり方は良かったのかもしれません。
9	50 歳代	男性	何のアンケートか回りくどい。要は公民館を有料にすればよい。一部への忖度で無償貸し出し行政の責任。駐車場も無料なのが市の怠慢。 無料貸し出しを許している意味がわからない。 耐震が問題なら、無駄金と癒着の茶づなを利用すればよいのでは？ 生涯学習を本気で考えるならば多くの方に関心を持ってもらえるような運営が市に必要。
10	50 歳代	男性	生涯学習なんてどうでも良いから、道路脇の生け垣を伐採してほしい。 車高低い車で大通りに出るとき、生け垣が伸び過ぎて車が見えなくて危険。 事故が起きてからでは遅い。
11	50 歳代	男性	学校統廃合により、青少年の健全育成にかかわるスポーツ等の活動が継続できないようなことにならないようにお願いします。

Ｎｏ．	年代	性別	意見
12	50 歳代	男性	生涯スポーツにもちからを入れてほしい！！
13	50 歳代	男性	退職後大学再（初）入学用奨学金制度構築
14	50 歳代	女性	先日久御山町のウォーキングイベントに参加して楽しかったです。特産品や宇治市ご出身のシェフ、パティシエをお呼びしてランチミーティングとか楽しそうです。もっと特産品を推していくべきでは？
15	60 歳代	男性	月に 1～2 回宇治観光施設付近の清掃をボランティアで行ったらどうでしょうか。 京田辺・城陽市での図書館は実に充実していますが、宇治市の図書館はそんなにかわりばえなく、情報等が得られないように思います。
16	60 歳代	男性	宇治市としての市民が行う文化活動・学習活動への支援・理解が貧しいように感じます。高齢化が進展している中、高齢者が中心となっている団体・サークル等の活動は維持されている一方、若者の公民館やコミセンの利用の枠の空きが無いようにも思えます。民間のホール・スタジオを利用する際の補助等の支援も考えていただく事はできませんか。特に音楽に関しての活動場所が少なすぎると感じます。
17	60 歳代	男性	市民が市政や国政など政治に興味を持つような施策をもっと積極的に行ってほしい。政治を分かりやすく身近なものにしてほしい。選挙の投票率を上げる施策をしてほしい。子どもたちに選挙の大切さ、政治の大切さを教育してほしい。
18	60 歳代	男性	あまり税金を使ってほしくないので現状のままで良い。住民税の軽減、行政職の人員削減をしていただきたいです。
19	60 歳代	男性	宇治市の職員は大変がんばっているので特に言うことはない。宇治市に対しても特に言うことはないが、本件に関しては市の仕事としてはどうかと思う。市の予算、優秀な職員をこのようなことにリソースを分散させるのは大きな無駄と考えている。 むしろ、市の仕事を拡げるのではなく予算、人員を集中的に必要なことに手厚くふりむけるべきと考える。 もっとやるべきことは他にあると思います。市の職員のみなさまがんばってください。 勉強したければ、ネットでもなんでもできます。市がやることではないと思っています。

Ｎｏ．	年代	性別	意見
20	60 歳代	女性	昨年と今年続いて宇治市の緑のウォークラリー、宇治市植物公園・太陽が丘・今年はクリーンパーク折居へ参加させてもらいました。身体を動かして新緑や花、人々とのふれあい、少し得をしたような楽しいイベントでした。スマホが 1 人 1 台あって情報もすぐに入り、どうしても眼にも悪影響がある毎日の中で、このようなイベントに参加させてもらえて良かったと思います。知らない人と挨拶をしたり、いつまでも常に学習させてもらえる機会をたくさん作ってほしいです。人と人とのつながりの大切さをいろんな人に伝えられて、昔の良いことはずっと続いてほしいと思います。
21	60 歳代	女性	子どもが小さかった時はサークルやスポーツ少年団 etc の活動に参加させて頂きとても充実した生活を送らせて頂きましたが、シニア世代になりいざ自分の為に何かをと思った時、何をしましょうという感じでおります。興味も年ごとに変わりつつあり年齢に合った催しが地域単位でもうすこしたくさんあればと思っています。私の父も高齢ですが健在です。ペースメーカーもつけて腰が弱く歩行がスムーズにできません。福祉の方ではしっかり受け答えができている為か、介護認定を受けることができていないようです。1 日中ほとんど外に出る事なく椅子に座りっぱなしで、新聞や本を読みテレビを観ています。高齢者のケアが勉強できる場が身近にあればと思っています。運動もさせてあげたいけど、素人では不安です。子どもから高齢までのケアを繋げられる学習の場があれば良いなぁと思います。
22	70 歳代	男性	京都市の国際交流会館の様な組織を作ってほしい。
23	70 歳代	男性	年金も目減りし、人生 100 年と言われる時代にどのように過ごせば生き残れるのか。高齢者にとっては安定した生活と健康維持が何よりも願う事です。まだ若い時ならば、スポーツ活動や音楽仲間を求めて活動の場を広げる事もあると思います。もう訪れつつある高齢化社会を見据えた取り組みを願います。老後の暇つぶしのお手伝いはほどほどで。
24	70 歳代	男性	宇治市は文化に対する講演会は周辺地区（城陽市や久御山町）に比べ極端に少ない。 過去の遺産の平等院に安住している！ 今後の宇治を「文化の町」にするには恥ずかしい文化行政である。

Ｎｏ．	年代	性別	意見
25	70 歳代	男性	中学生、高校生への短期間（休み中での）の海外留学の実施。（公募により作文などで選出する等で）
26	70 歳代	女性	生涯学習センターや文化センターは遠くて交通の便も悪くて行きづらい。主に地域の集会所での活動になっているため、集会所の存続と充実に力を入れて頂きたいと思います。
27	70 歳代	女性	高齢者の独居が増えていく中、ひきこもらずに社会との交流、助け合いがあれば、認知症も少しは減らないでしょうか。でも今まで家の中におられた方はなかなか自分から外へは出ていかれないでしょう。高齢者同志で話が出来る事もあるでしょう。高齢者が増えていくなかで、もっと活用して人間関係がふくらんでいかないでしょうか。公共の施設はエレベーターがなく階段で、増々高齢者の方々は遠のくでしょう。
28	70 歳代	女性	独り身の高齢者には気楽に集まれる場所が近くにない。近くの集会所を開放し、いつでも行ける場所がほしい。サークルやレクリエーションに参加されている高齢者は活発な方で、家に閉じこもっている高齢者はどうすればいいんでしょうね。
29	70 歳代	女性	上記の内容とは関係ないと思いますが、町内の役が廻って来ると思うと心配でならない。町内会解散してほしい。
30	80 歳代以上	男性	教育ボランティアは子どもの教育問題に取り組みますが、多文化や海外、災害など、もう少し幅広いボランティア活動も取り組まれることを期待します。他大学との研究活動、海外での芸術活動、近所での災害防止等を体験し、多くの「生涯学習」から学びました。生涯にわたって行われる学習活動を、今後とも推進されますことを期待いたします。

交通手段について（19 件）

Ｎｏ．	年代	性別	意見
1	50 歳代	女性	参加してみたいと思ってもまず駅から近いか場所を重視します。通いやすい所なら申し込むきっかけになります。
2	50 歳代	女性	東宇治側に住んでいると、生涯学習センター等が遠くて行きにくい。駐車場ないし、講座があっても行けない。駐車場を整備するとか、無料シャトルバスを出すとか通いやすいようにしてほしい。 木幡や東宇治公民館は既存の団体の中には入っていきにくいなあと思います。今すぐに何かをしたいことはないが、10 年後とかに何かをしたいと思った時にハードルが低いとありがたいです。
3	50 歳代	無回答	・公民館を集約するのは良いが、車や自転車では行けない人（特に高齢者）がいるという事を認識いただき、地域に歩いて行ける範囲に気軽に行ける場があることが大事だと思います。 ・サークルの情報が見にくいです。HP で見ると分かりにくいのでもっと分かりやすく探しやすくしてほしい。地域毎の公民館やコミセン別に分けて記載して頂くと分かりやすいです。
4	60 歳代	男性	施設への送迎。
5	60 歳代	女性	時々、受講してみたいなと思う講座もありますが、会場が市役所近辺のことが多く西小倉地域から参加するのは距離の関係で断念することがあります。交通の便等も整備していただいて地域による格差がないように取り組んでいただけると嬉しいです。
6	70 歳代	男性	今はまだ運転できます。高齢になり足が無くなり、行きたくても行けなくなります。何とか願いを届けたら助かります。ぜひ思いが叶うように。市内は近くて遠いです。もっと時間が余ってます。ボケないように皆と話して頭を使って今以上に利用したいです。（巡回交通等を希望します。）
7	70 歳代	女性	高齢になると興味を抱くものもほとんどなくなります。また、交通手段が徒歩かタクシーになってしまいますので、施設などに出向くのは無理になります。
8	70 歳代	女性	後期高齢者になり、車の運転をやめました。生涯学習施設など利用したいと思いますが、歩いて行ける所ならいいのですが…。図書館にはたまに行っています。高齢者の行動半径が狭くなるということ、この年になって分かることですね。

Ｎｏ．	年代	性別	意見
9	70 歳代	女性	文化会館、市役所、植物園との距離が離れすぎ、行きにくさが伝わってきます。図書館もなかなか行きにくいです。源氏物語ミュージアムは遺跡に近いので仕方がないとは思いますが、たくさんの書籍を活かした学習の場が広がるといいですね。動画はとてもおもしろいです。 エレベーター、エスカレーター、市バスの充実が人を呼ぶと思います。
10	70 歳代	女性	高齢になると車にも自転車にも乗れなくなって、参加できない人が多いのではないのでしょうか。(会場へ行く足がない) 文化センターや生学学習センターなどと町内を循環するバス（有料）があれば多くの人が参加できるようになると思います。
11	70 歳代	女性	宇治市は交通の便が多様化していて、公共の施設を利用するのに不便を感じています。特に高齢になると徒歩圏内に施設があるのが望ましいと思います。
12	70 歳代	女性	講座・教室等参加するにあたり、交通機関がなく不参加するしかない。高齢者にもっと優しく。
13	70 歳代	女性	公民館などの施設を利用するにはバス、電車、バスなど交通機関を利用する頻度が多く、不便で金銭的にも大変です。以前木幡に住んでいた時は徒歩で利用できたので色々な行事に参加して、交際も広がり充実していました。今は徒歩で行ける所はほとんどなく、御蔵山小学校近くに空き地がありますが、そこに公共で利用出来る施設があれば高齢で１人暮らしの人達には希望がもてます。
14	70 歳代	女性	宇治市は生涯学習にかかわるメインとなる施設（文化センター、図書館、生涯学習センター・・等）に行くのにとても不便です。 車のある時はどこへでも行けたのですが、免許を返納すると、電車とバスを乗り継がないと行けません。宇治公民館、ゆめりあ程の立地で多目的に使える施設を望みます。 今では京都市内にでかけることが多くなりました。
15	80 歳代以上	男性	運転免許証返納後、図書館等へ行く事が出来なくなり、宇治市内のみで良いので、バスの無料化と、公的機関案内図が有ればと思う。学習意欲が低下する大きな要因は、出かける足が無くなることでは（私見)。何とか月１回以上は、京都市内の本屋に行き大賞受賞小説等を買い込み、読書を楽しんでいます。

Ｎｏ．	年代	性別	意見
16	80 歳代以上	男性	高齢による、体力低下や健康不安等により、施設が近くになければ通所をためらいます。小学校区内等で、指導会等行ってもらえれば、自習出来る事等がふえると思います。
17	80 歳代以上	男性	私自身高齢で体の自由が利かないため、学習施設まで参加出来ない。参加出来る何かの方法で交通手段があれば参加できる可能性がある。
18	80 歳代以上	女性	文学や歴史に興味があり、「広報うじ」の記事を毎回読んでいる。講座の欄は特に詳しく読む。しかし高齢になると交通の便が悪ければつい出かけるのが億劫になる。不可能とは分かっているが、講座の日に巡回ミニバスとかがあればなあ…と思う。美術館、博物館への鑑賞会があればぜひ参加したい。
19	80 歳代以上	女性	高齢になって時間はあり学びたいこと知りたいことは沢山ありますが、開催されている場所までの交通機関等、足のなさで諦めています。例えば映画鑑賞も文化センターに行かなくては…。他県では図書館で毎月テーマに関する短編を無料で見られるなどもあります。町内の集会所で-ということも少しずつ行われていますが、サークル会員とかリーダー的実力者でなくふつうの者が参加できるようなもの・場所があったらと思います。

講座について（46 件）

Ｎｏ．	年代	性別	意見
1	30 歳代	男性	内容にもよるが、web で行えると良いと思う
2	40 歳代	男性	マイナンバーカードの更新や選挙等、面倒な処理をネットで出来るようにして欲しい。インターネットや AI などを活用し便利になるようにみんなが思えるように IT 知識の学習を求める。 また同時にインターネットによる詐欺などに騙されないような学習も効果があると感じる
3	40 歳代	男性	宇治は歴史のある地域なので、それを生かした学習を受けたい。 史跡やそれに関わる人物の解説など。 史跡を巡るともに、講演のような座学も行ってほしい。
4	40 歳代	男性	遠方に勤務しているため、講座などに参加することが難しい。 動画で公開されているなら、参加も検討できるのではないか。
5	40 歳代	女性	講演会、講習会が平日のため、興味がある内容でも行けないことが多い。 情報がなかなか入ってこない。 オンラインで後日見れるようにしてもらえると嬉しいです。
6	40 歳代	女性	子育てが一段落して　なんかしてみたいなぁと思っている人は多いと思います。 あと核家族で　独り暮らしのかたもたくさんいると思います。 なんかもやもや毎日暮らしてる方にささることをお願いいたします。 私もしてみたいがなかなか実行できない、東京でみかけたのですが、ご老人の話し相手、主に LINE のやり方やアプリの入れ方使い方を教えてあげるような事業ないですか？
7	40 歳代	女性	発達障害やグレーゾーン、また、不登校の子どもの育児についてや高齢化に伴い、介護認定、デーサービスやショートステイなど、今後、親の介護をしていくにあたっての必要な知識を教えてほしい。 認知症の親の対応方法など。

Ｎｏ．	年代	性別	意見
8	40 歳代	女性	・子どもと一緒に学べる場所や学べる事があれば参加してみたい。例）子どもの気になる学習内容（歴史や百人一首など）を一緒に学ぶ、夏休みの自由学習のし方を学ぶなど ・家庭での日常に活かせる学習も参加してみたい。例）SDG's の学習→家での節水・節電など ・育成の利用をノート→アプリにしてもらいたい。 ・給食の利用を中学までひろげてほしい。 ・夏休みも給食が利用できるようにしてほしい。（育成） 働くためには、もう少し育成の内容を充実してもらいたい。預ける時間とか早くしてもらわないと、仕事に間に合っていません。
9	40 歳代	女性	お年寄り向けに、よく平日のパソコン教室などありますが、仕事と家事をしながらは、なかなか通えません。平日の帰宅後 90 分くらいの講座があれば時間をかけてでも学べるかもしれません。 最近学校の先生の働き方について見直しの話があります。拘束時間が長い事も理解できますが、中学生の部活動の時間短縮等の案もあるようです。私は、中学生の部活動の時間はとても大切な時間と考えています。短縮するのではなく、外から専門の先生を入れるなど対策をして頂きたいです。
10	40 歳代	女性	講座や教室をもっとたくさん開いてほしいです。
11	40 歳代	女性	長期休みなど、子どもが参加できるイベントをもっと増やしてほしいです。
12	40 歳代	女性	ほぼ日程が合わない為、気になる講座等があっても参加せず（できず）。オンライン講座（いつでも自由に視聴可能）であれば検討対象になるかなという感じです。
13	50 歳代	男性	今後巻き込んで行きたい若者はデジタルネイティブ世代なので、今の行政マンだけで的を得た講座なり取り組みを展開していくのは難しいと思う。 先進的な取り組みをしている大学にアイデアをもらうなどして協力を得ていくことも考えてはどうでしょう。
14	50 歳代	男性	多様化の今ニーズに答えられる講座の開設は困難だと思いますので、新たな興味・趣味を持つことや仲間を作るきっかけ作りになるような講座の開設を望みます。
15	50 歳代	男性	免許、資格取得のための講習会を開催してください。

Ｎｏ．	年代	性別	意見
16	50 歳代	女性	興味がある講座が近くで学べたら行きたいと思います。自宅から近い施設がないので行けないのが現状です。最寄りの小学校や病院などに出張して来て欲しいです。 近所の六地蔵病院で時々、医療系の講演があり聞きに行っています。
17	50 歳代	女性	生涯学習において一番力を入れていただきたいと願うのは防災の学習です。最近地震が多く他人事ではなくいつ起きるかわからない、不安も含め宇治市にも防災センターの設置ができればいいなと思っています。そこで防災に関しての学習、体験をし、地震に備える事ができたらと思います。市の方と検討いただき、利用の少ない施設の再利用として、活用できたらいいなと思います。
18	50 歳代	女性	学習の機会がなかなかなく費用などの面でも難しい所があるが月 2 回ぐらいストレッチ教室などの開催があれば参加し交流をもてたらいいなあと思う。また、若者に対して仕事に対しての情報や中高年への就職するための資格や教室も充実させてもらい、生きがいを見つけられる社会や独立しせずに過せるようになればいいと思う。 公民館は市民にとってもっともっと身近な存在で様々な活動に利用できるよう市で管理すべきで閉館は反対である。 本資料が郵送されたとき封が開いたままだった。確認をしっかりして下さい。
19	50 歳代	女性	1 つの講座に同じ人が何回も申し込み新しくその講座に通いたい、気になると思っても空きがなく通うことが出来ない事があった。例えば、年間の講座であれば 1 年間通えば翌年はちがう人が通えるようにする、同じ人が連続して当たらないようにするとかして欲しい。
20	60 歳代	男性	宇治の歴史には少し興味があります。菟道稚郎子と仁徳天皇の関係性や、葬られた本当の場所や、点在している宇治陵は藤原家のだれなのかとか、槙島城の歴史とか、戦川の所以とか。

Ｎｏ．	年代	性別	意見
21	60 歳代	男性	現在、私がやりたい学習は、インバウンドの増加に伴い仕事上で必要になってきた英語の学習、及び引退後に趣味として本格的に行いたい無農薬不耗有機栽培（堆肥を作り、化学肥料を不使用）です。自分で調べて家庭菜園で実験していますが、分からないことが多々あります。無農薬不耗有機栽培とまではいかなくても宇治市の講習会で有機栽培の基礎を学べる座学がないかを探しているのですが見当たらないような気がします（植物園の講習会は初心者には良いと思います）。民間だと費用が年間数十万します（かなり思いっきりが必要。）しかし市が市民の細かい要望を聞き取り幾つもの講習会を企画するのは現実的ではないと思います。 そこで提案なのですが、自分のこれまでの経験を活かし社会に還元・貢献・参加・感謝されたい・自己顕示欲を満たしたい等と思うリタイヤ人材は多数おられると思います。私は長年のタクシー運転手として無事故で営業を行っている運転についての思考と技術を伝え、少しでも事故を減らしたい思っています。市内にも様々な分野のスペシャリストで、その経験を生かし SDGS に貢献したい、医学の知識や健康法を伝え健康長寿や健康保険料の上昇を抑制したい、感謝の言葉を掛けてもらいたい等と思っておられる方はおられると思います。市には、その経験や思考・技術を伝える市民が講師の公開講座（小さな催し、一回でも良い）の場所の提供、講師の募集、内容の相談、後押し等を行い、実現の敷居を低くする環境整備を行っていただけませんでしょうか。 市民が講師の講座が活発になれば、市民の心と体の健康、市の様々な問題及び財政、SDGｓに多少なりとも好影響を与えると思います。
22	60 歳代	男性	自分は何が学びたいのか。何が学べるのかを改めて考える機会にしたい。 こんな人がこんな風に生涯学習に取り組んでいるといった具体的なケースを紹介する場、情報を得ることができる機会があればいいなと思う。

Ｎｏ．	年代	性別	意見
23	60 歳代	女性	一番利用しているのは西宇治図書館です。一番近くて便利なのですが、椅子は湿っているし高齢者のお昼寝場所になっているのも事実です（静かに読めない）。講座が講演会、料理教室と興味が有り、参加したい行事も多々ありますが、西宇治地区ではあまりなく車の移動距離の会場が多く足を運べないのが現実です。また、土曜開催の教養講座や 65 歳以上の枠で参加できないのがあり、日曜の開催なら個人的にはありがたいです。大久保辺りに多機能型施設があれば大変便利です。
24	60 歳代	女性	50 代前半まではパソコン教室、ダンス教室、ゴルフレッスンなど色々なものに挑戦し、歴史や短歌も学びたかったのですが、介護問題が降りかかる年齢になり、自分のための時間が取れなくなりました。空いた時間にパソコン等で学べたらいいのにと思います。
25	60 歳代	女性	昔は宇治公民館で行われていた教室に通った時もありました。生涯学習センターでのエコのとりくみにも何回か参加しましたが、近くの公民館での講座がどういう内容なのか、参加募集をされているのかも知ることがなく、民間のカルチャーセンターに行っています。歩いていける場所で安価で、スポーツ、文化活動に参加できる講座を開いていただけるよう望みます。
26	60 歳代	女性	シニアの大学に興味があり、65 才からとのことで、65 才になるのをたのしみに健康でいられるように頑張っています。今まで興味のなかった事や視野を広げることに挑戦していきたいと思っていますが、今はなかなか出づらく、いこう！！と思えるイベントに期待します。
27	60 歳代	女性	公的な施設での勉強は考えていませんでした。内容が充実したらいいかもしれませんね。小学校の下校時のランニングパトロールには興味があります。小学生の安全も守り、ボランティアも健康になる。ぜひそういう講座を開いて欲しいです。
28	60 歳代	女性	いつもありがとうございます。年齢を重ねるごとにネット社会のスピードが私にはとても速く感じます。少し分かった頃には新しい事が始まっています。仕事のためのスキルを上げるためではなく、ネット社会で生きていく上での勉強が必要だと感じています。全く知らない訳でもありませんが、新しい単語が出たりすると PC や携帯の画面を見て？となることが多々あります。「ビクビクしないネット関係の学習」があればと思います。今までに講座がありましたらごめんなさい。

Ｎｏ．	年代	性別	意見
29	60 歳代	女性	落語講座、日本の歴史、京都宇治の歴史等、また、健康体操等、人気の講座枠を増やしてほしい。 ・ゴミを拾いながら、宇治各所の歴史を学び、俳句をする等
30	60 歳代	女性	経済的に民間のカルチャースクールはそんなにも利用できないので、いろんな分野でのそういった講座を安価で提供して頂ければうれしいです。
31	60 歳代	女性	気軽に参加できるイベントや教室。
32	60 歳代	女性	私（62 才）としては、自分が仕事としている着付けを色々な方にも学んで欲しいと思っています。着物についてというより着付けに関してになりますが、また個人として家庭菜園を学びたいと思っています。近所でできる場所（平日を望む）、LGBT の方との交流というかどのように接したら、また声掛けなどが分からない時があります。その際に本人達はどう接することを望むのか話しを聞いてみたいです。後は、PC・スマホの機能について、NISA について、それと、今後まだ体は動きますが、年配者向けのラジオ体操の輪を広げる活動が始まればいいなあ～と漠然と思っています。 この年齢になりあの体操がとても効果的だとすばらしい体験だと感じてます。健康を保つため、いつでも近くで皆で楽しくできることを望みます。
33	70 歳代	男性	インターネット（宇治市のホームページ）で、10 分間程度のミニ教養番組を多数発信して下さい。
34	70 歳代	男性	技能や資格に関して項目ごとに実施してください。例えば救命救急の仕方、または資格を取る等、日曜大工で棚の作り方、修理等方法。生涯学習に関係なかったらボツにしてください。
35	70 歳代	男性	自宅に居ながら自由に興味のある講座に参加できるネット機能を充実して頂き、施設に行けない方々にも楽しく過ごせる場の提供を進めて頂きたい。
36	70 歳代	男性	最近の情報化時代と言われるけど、スマホやパソコンで言われる言葉がいまいち何を言っているのか、私にはわかりません。もっと系統的に判り易い講座が有れば、そこで受講してみたい。 （例）ＳＮＳ→何がＳＮＳなの？
37	70 歳代	女性	高齢者大学校があれば参加したい。（社会福祉協議会）これを機会に活動内容等を知りたいと思った。

Ｎｏ．	年代	性別	意見
38	70 歳代	女性	コミュニティセンター等、近場で高齢者が笑って楽しむ場（機会）があれば良いなと思います。（笑うことが少なくなった今日、）講座等、期待します。
39	70 歳代	女性	私事ですが、手話と英会話を学びたく、窓口へ。残念ながら”ありません”とのこと。どこかで機会があれば学びたいと思っております。
40	70 歳代	女性	大学の講座でも学べなかったユニークな講義の出来る人が指導してくれるなら、参加してみたいです。それ以外は時間のムダです。
41	80 歳代以上	男性	南海地震など、防災についての取り組みなど。
42	80 歳代以上	男性	生涯学習講座の内容を充実させ、容易に参加できるよう配慮下さい。
43	80 歳代以上	男性	以前、歴史資料館で古文書の解読がされていたとのことですが、最近では教室活動がないとのこと。初心者から学べる教室開催で歴史・生活様子を知りたいです。経済・法律が日々改訂されていますが、専門用語が多用され理解がしずらい。日常生活に活かされるべきだと思いますが、これらの教室が開催されてはと思います。
44	80 歳代以上	女性	5 才迄の子ども達と一緒に遊んだり、学んだりする日が月１回か２回あるといいかな。 又５才以上の子ども達といろいろ学べたらいいかな。
45	無回答	無回答	平日の昼間の講座が多いので、平日の夜、土曜日の講座を増やしてほしいです。勉強（自由に）するスペースをもつと開放してほしい。よろしくお願いします。
46	無回答	無回答	市民の為にいつも有り難うございます。忙しさにかまけて、市民だより等を見過ごしてしまい、中々参加できるような講座等に出会えなくなってしまっています。もう少し中高生の保護者向けの講座等、そしてネットにて受講出来るような、また講座も探しやすい工夫がほしいと思います。また、近隣駐車場の情報もあれば車で行きやすくなります。楽しい講座を楽しみにしております。

その他（79 件）

Ｎｏ．	年代	性別	意見
1	20 歳代	女性	子育てをしながらの生涯学習は時間的にも難しい事がたくさんあります。そういった方への支援があると学習したいと思う方が増えると思います。
2	20 歳代	女性	特になし。 宇治市の教育行政、生涯学習に向けた取り組みについて知る良い機会になりました。お仕事頑張って下さい。
3	30 歳代	女性	子どもたちへの道徳授業で、保護犬・保護猫という存在があること、その子達は家族に迎えられなかった場合、お父さんお母さんが汗水垂らして働いて納めた税金で殺処分をされてしまうということを伝える活動をしてほしい。 この活動は必ず子どもたちの動物を大切にする教育につながる。
4	30 歳代	女性	「生涯学習」と言われてもピンとこない世代が多い気がする。分りやすいキャッチコピー（死ぬまで学ぼうなど？）の方がシンプルに伝わるしイメージしやすい気がする…。
5	40 歳代	男性	宇治市に特にして欲しいことはない。
6	40 歳代	女性	生涯学習って何を指すのかがよくわからない。
7	40 歳代	女性	生涯学習という言葉自体が馴染みがない。まずはそこから認知が必要では？
8	40 歳代	女性	特になし。
9	40 歳代	女性	20 年前、宇治市文化センターでスタジオジブリの音楽を作られた久石譲さんのコンサートがありました。私にとって人生初のコンサートです。そのコンサートをきっかけに彼氏ができて結婚しました。 城陽プラムホールに平原綾香さんがライブに来てくれて、私は嬉しかったです。 私は精神障害者で、あまり交通費やコンサート＆ライブチケット代が高いとお金が払えなくて行けません。久石譲さんの時は宇治市の補助があり、コンサートチケットが 5,000 円で当時大学生の私にとって何とか支払える金額でした。

Ｎｏ．	年代	性別	意見
10	40 歳代	女性	・学習という言葉じたいにあまり魅力を感じない。 ・今は、ほしい情報はかなり高度なものまで SNS やウエブで調べられてしまうので、そのような探求を日々行っている者としてはそれが「学習」であるという意識はあまりない。 ・情報の提供というよりは、予防医療のためともいえる。スポーツ系や、実技の伴う趣味系の活動への参加費用の補助が求められている気がする。
11	50 歳代	男性	ネットで回答しようとしたら、アドレスが見つからなかった。市の HP からもいけなかった。こういったことをまともにして欲しい。今は景気も悪化の一途なので、あまり必要を感じない。税金の無駄だけは絶対にやめてほしい。そもそも教育委員会に信用がない。
12	50 歳代	男性	教育は、いつの時代も社会の基礎であると同時に、かつて日本は軍国教育により、兵士になり国の為に死ぬことが本当に心に刻まれていきました。教育が戦後日本の反省と、平和宣言都市宇治にふさわしく、きなくさい内容をきびしく退け、政治的利用や陣営性・偏見による国際対立要素や歴史歪曲などの決して入らない良心的人間的な「学校のあとの学校」「教育を正しくうけられなかった人々のためにもなる学校」「社会への疑問から様々な人生を送る人々の教訓」そして「学校で教えるのに身につかないまま本当の必要性を社会で痛感する人々への救済第二自由学校」として、全世代にひらかれた、文字通り「幼少から老後」までの生涯教育の推進をお願い致します。教育は社会のバカな問題を一瞬で解決します。がんばってください。また、老後は人の脳は老化度により年をとるほど個人差が激しくなり、30 代でねこむ人、80 代近くでアルプスにいつも登る人と極端な違いがあります。しかも脳細胞は手をとるほどネットワークが複雑になり、覚えが悪いかわりに高度な思考や情緒が発達するときました。学習低下の多くは単なるあきらめであり、可能性があるのにもったいないので大いにすばらしい若者、すばらしい子ども、すばらしい親、そしてすばらしい偉大な長老の育成、心が若く可能性を体験しつづけ、挑みつづけ安らぎを広めるすてきな人生の先輩を輩出してください。教育のあらゆる機会を応援します。生涯教育は学校の外で教え導ける学校任せでないすばらしい地域の可能性です。非番の文化人、人間的な人をよびおこし、みんなで知る・学ぶ・育つ喜びを育てましょう。

Ｎｏ．	年代	性別	意見
13	50 歳代	男性	転勤してきた者でよくわかりません。
14	50 歳代	女性	生涯学習とても良い事だと思う。もっと色んな事を学んで活かせる仕事に就きたい。
15	50 歳代	女性	私はもう子どもも大きいし、今現在仕事に就き職場から外部の研修や書籍などで勉強しています。なかなか生涯学習施設を利用する機会がなく、今回のアンケートもあまりお役に立てていないので申し訳ないと思っています。子どもが小さい時は図書館へよく通いました。小さい子どもさんや高齢者の方などに役立つ内容で活動して頂けたらよいと思いますが…。
16	50 歳代	女性	施設を利用したり、様々な学びを深めたいと思いますが仕事もあり、なかなか余暇を取れない状況です。年齢が上がっても学べる環境が整っているといいなと思います。
17	50 歳代	女性	自分は関心がありませんが、豊かに暮らす助けとして活用される方がおられると思うので、そうした方たちのために引き続きよろしくお願います。
18	50 歳代	女性	数年前に車を手放したため、移動は全て電動自転車です。両親死去により、介護中はコロナ禍にも関わらず（京都市は応募したにも関わらず開催されませんでした）色々な講座を体感出来大変お世話になりありがとうございました。只今、先輩や友達、他府県にいる親戚が介護中なので、できるだけ寄り添うように心がけています。手土産としても宇治の物、京都の物を持参して…。LINE で写真も送れるので、槇島周辺の素敵な風景もお気に入りです。工夫次第で何とでもできると思っていて、情報収集に余念がありません。
19	50 歳代	女性	3 月に引っ越ししてきた所で、これからいろいろと見て回り、学べる事は学んでいきたいと思っていますので、機会が頂けるのであれば嬉しいです。

Ｎｏ．	年代	性別	意見
20	50 歳代	女性	私は 50 才になりましたが、生涯学習についての知識が全くありません。1 日の半分は他人の相談を受ける仕事をしていますが、実際に「生涯学習」というワードを聞いたこともありませんし、話題になったこともありませんので自分よりも若い世代は、無関心なのかなと。今回のアンケートに答えることにより知ることができました。先ずターゲット層がどこなのかも明確にわかりません。京都で暮らすかぎり知りたいことは山ほどあります。生涯学習というものを沢山の人に理解してもらう必要があると感じます。人が「わかりやすさ」を求めているのでは？とも思っております。この度のアンケートは少しだけ関われた事、うれしく思います。ありがとうございます。
21	50 歳代	女性	このようなアンケート調査を行って頂きありがとうございます。生涯学習の重要性がこれから高まっていくと思います。これから関心を持ってみていきます。
22	60 歳代	男性	今後の生活を豊かにするための学習の充実と、その為の意見を広く収集して欲しい。
23	60 歳代	男性	特にない。
24	60 歳代	男性	現在大変難しいですが、時間がとれましたらまた考えていきたいと思います。
25	60 歳代	男性	特にありません。
26	60 歳代	男性	「生涯学習」の名称をもっと取っつき易い名に変えませんか？堅苦しくて、飛び込みにくいですよ。
27	60 歳代	女性	興味がないことに家から出たくないし、知らない人ときわりたくないです。
28	60 歳代	女性	仕事が忙しく、施設を利用したことが一度もありません。観光関係の仕事をしているため地理、歴史に関しては必要にせまられ毎日学習しています。しかし、他の方との交流があればもっと向上できると思いますので、機会があれば利用させていただきたいです。アンケートをお送りくださりありがとうございました。
29	60 歳代	女性	ありません。

Ｎｏ．	年代	性別	意見
30	60 歳代	女性	テレビ、本などで興味を持った事を自分で情報を得て、楽しんでいます。人との交流が苦手で、出かける事も億劫なタイプです。市の情報誌も読んで情報を集めていますが、なかなか、参加するまでには至りません。会場が遠い事もあります。
31	60 歳代	女性	このような取り組みを進めて下さることに喜びと感謝を感じます。老後の希望の光です。
32	60 歳代	女性	現在は仕事中心の生活を送っています。今後リタイアした後は、色々な学習もしていきたいと考えます。宇治市在住の年配の方から宇治市は高齢者への取り組みも充実して頂いていると聞きました。今後とも、よろしくお願いします。
33	60 歳代	女性	年齢とともに孤独・孤立を感じている。地域の図書館へ行き、会話はないが人々との交流を感じている。生きがいを感じられる何かがあればこれからの人生をもっと楽しく過ごすことができるのではないか。
34	60 歳代	女性	意欲のある職員さんと意欲ある市民とでより質の高い物を目指して頂きたいと思います。文化度の高い市であってほしいものです。
35	60 歳代	女性	今のところ半分は仕事しているので、特に考えがないです。
36	70 歳代	男性	今回のアンケートの結果が知りたい。
37	70 歳代	男性	学習したいことが分からない
38	70 歳代	男性	特にありません。
39	70 歳代	男性	現段階ではわからない。
40	70 歳代	男性	「生涯学習」って何ですか？「生涯」の意味分かります。「学習」の意味分かります。しかし、宇治市が言おうとしている「生涯学習」の意味が分かりません。死ぬまで学習するということですか？興味のあることについて少しでも接するという意味では理解できますが、行政のすることについて敷居が高すぎで我々一般人にはなかなか接しにくいところです。もっともっと皆が気軽に接することができる環境を作ってください。
41	70 歳代	男性	近くに施設があれば利用します。
42	70 歳代	男性	老々介護の為、余裕がありません。
43	70 歳代	男性	テレビ、ネットなどでカタカナ語、さらにはアルファベット、数文字の略語が多すぎる。例：リスキリング、エッセンシャルワーカー、SDGS←こんな言葉を聞いても誰も意味がわかない。関係者はもっと漢字数文字の日本語に努力をすべきである。

Ｎｏ．	年代	性別	意見
44	70 歳代	男性	私は 75 才になります。学習と言っても趣味の仏像観賞、仏像の切絵、魚釣り、草花いじりと軽い物ばかりです。あとは健康第一です。
45	70 歳代	男性	教育行政について。軍国的愛国心じゃなく、一般常識的・日本国民的な愛国心教育必要。何事につけても最近〇〇ハラ、××ハラとあまりにも甘やかしすぎる。自己中心的な考え方が多すぎる。節度ある厳しさも必要である。教師が生徒、学生や保護者に気を使いすぎて知識教育は行うが、道徳的教育がなされていない。最近の国民全体に言える事であるが福祉だ！、助成金だ！と公助を一番に求める声が多いと思われる。まず自助・次に共助・最後に公助だと私は思う。私達子どものころの教育が良かった。ぜひ復活を！
46	70 歳代	男性	よくわからない、子どももいないので。
47	70 歳代	女性	現在のところあまり生涯学習など理解が浅いので、今後興味を深く持ち勉強して参りたいです。 高齢化に伴い、いろんなことを考えて頂きますように。
48	70 歳代	女性	今の時代何を信じてよいのか、何を目標に生きるすべがわからず、毎日ボーっと一日が過ぎています。人も世の中も変わりすぎました。決め事が多すぎて、迷いが多いのも一つだと思います。人間関係が一番大変かと思っています。
49	70 歳代	女性	あまりくわしく知らないし、利便性もなければいけない。
50	70 歳代	女性	病気のため何もできない。
51	70 歳代	女性	宇治市の情報にあまり関心がなかったのですが、この機会に勉強したいと思いました。
52	70 歳代	女性	いくつになっても、積極的に何かを学びたいという意欲があるか、どうかだと思います。結局、その人自身（個人）の関わりによって変わってくるものだと思います。いろいろな制約はあるかもしれませんが、人生は一生学びの場であるとも言われています。
53	70 歳代	女性	学生の時、市民会館が閉館され、図書室の所で学校帰りに宿題や試験勉強をさせていただいた。懐かしい思い出が年表を拝見してよみがえってきました。気軽に立ち寄り、友人たちと活かした時のこと、年を重ねて同窓会の取り決め等、利用させていただき有り難うございました。

Ｎｏ．	年代	性別	意見
54	70 歳代	女性	完璧な案でよく考えて下さっているなぁと思います。 仕事をやめたら傾聴ボランティア、点字ボランティアを考えていたのに時遅し、気持ちがあっても体力切れで断念しました。 年齢があがると施設が遠く、行くだけで時間・体力がいります。東宇治図書館ネット予約して配本していただき利用させて頂いておりますが、往復 50 分（4700 歩）リュックサックでいつまで続けられるか…できなくなったらネットで古本買入かなと。今は働きながら学んできた（京都市で）趣味を家で楽しみ有酸素運動、柔軟体操、DVD シネマ。家で完成ですが時には文化センターでのセレクトシネマ、コンサート、イベント有難く利用させて頂きます。もう一つ、ネットが使えないと情報を取りに行けないし、利用できない時代かなと思います。
55	70 歳代	女性	ハンドメイド　いろいろな事を教えてほしいです。
56	70 歳代	女性	宇治商工会議所でパソコン・スマホ教室に行っているが、wifi の設備が整備されてない。
57	70 歳代	女性	申し訳ございませんが別に興味がございません。家の用事で一杯です。
58	70 歳代	女性	年齢的にもある程度の時間はとれるが体力・体調的にも無理がある。自宅で脳トレなどを行っているが、生涯学習とは異なり自己完結している。（一人でやって満足しているので充実感はある）
59	80 歳代以上	男性	88 歳の現在、学習意欲より衰えていく身体機能をいかにして維持していくかのみ考えています。
60	80 歳代以上	男性	80 才ですから毎日の健康が一番ですからなかなか学習までいけません。特にありません。
61	80 歳代以上	男性	必ず参加！方向性？
62	80 歳代以上	男性	今はなし。

Ｎｏ．	年代	性別	意見
63	80 歳代以上	男性	私は現在 94 才で妻が亡くなって 7 年間は一人で生活している。子どもは横浜で世帯を持っている。今年 5 月 1 日からはニチイケアセンス宇治春日の森へ入所。8 割の方が車いすで外出も出来ず、世間より疎外された様でまるで世の中の動きがわからない様に見受けられる。テレビからの情報ばかりで、対話は一切ない。是非、月に 1 回か 2 カ月に 1 回でも先生方のお話（世の中のことや、土地史談）などお聞きしたい。
64	80 歳代以上	男性	宇治市教育委員会より配布いただいた資料で生涯学習の推進（案）を読み勉強させてもらいました。高い次元の取組をされているご様子。これからの 12 年に向け是非よろしくお願いします。
65	80 歳代以上	男性	パソコン、スマホ等に近づきたいが年金的に無理。
66	80 歳代以上	男性	京都市に務めていたが、宇治市からこういうアンケートも誘いもなくこの時期（90 才半ば）では無理と思う。知らすなら定年後 10 年までにお誘い頂ければ少しは約に立てたか、自分のためにもと思う。宇治市には現役時代に活躍した人物も多いと思います…。このアンケートも遅すぎ（私にとって）ます。参考のために！
67	80 歳代以上	男性	ありません。
68	80 歳代以上	男性	生涯学習は必要だが実体は高齢（85 才）のため活動ができない。行動力・知識等が付いて行けない（行こうとしない、無理である）。又、病弱の妻の生活補助に時間が取られる。従って問 5.6.8 は記入できませんでした。すみません。
69	80 歳代以上	女性	84 歳になろうとしている私に学習の件は考えておりません。余生を健康に過ごせたらと思っております。これからの若い方々に住みよい町づくりな社会にしてあげてください。
70	80 歳代以上	女性	気軽に話せる人達が多い方が良いです。
71	80 歳代以上	女性	分かり切っていても常に「死ぬまで元気で」と一人ずつの頭にすり込んで欲しいです。

Ｎｏ．	年代	性別	意見
72	80 歳代以上	女性	宇治市行政が催される行事は月日・場所（特に）がなかなか合わなくて参加できません。現在 88 才ですが集会所で「スージヤン」（ボランティアの方により）、コミセンでダンスをしています。気楽に参加できる事がたくさんあれば楽しい人生だと思っています。よろしくお願いします。
73	80 歳代以上	女性	私は 55 才で白血病になり生涯学習がしたくても残念ながら出来なくて心のこりです。
74	80 歳代以上	女性	良い機会を頂きました、ありがとうございます。日本のお茶の発祥の土地、今年も外国よりたくさんの方が訪問して下さった。もっと訪ねて来られるよう市民で勉強しましょう。私は今、健康を害していますが人生 100 年時代、頑張りましょう。
75	80 歳代以上	女性	高齢者なので生涯学習には何も希望はありません。
76	80 歳代以上	無回答	特にありません。間もなく 94 歳になります。今は背の凝り、腰痛のためリハビリに病院へ家族に送り迎えしてもらっています。脚力も弱って一人での外出は〇〇になりません。通院以外は何時も座して新聞を見てテレビを見ています。

Ｎｏ．	年代	性別	意見
77	無回答	女性	息子は小さい頃公民館で行った子育てサークルにもよく連れていきましたし、生涯学習センターのまなびんぐにもよく連れていきました。他の方より利用した経験は多くありますが、そのことと生涯学習は結びつかなかったのかと思います。自分たちと関係のあるところだという認識はなかったのかもしれません。 息子は地元で就職をし、小学生の時や中学生の時の友達と仲良くしています。でもワイワイ集まれる場がないと、自力で集まれるスペースを借りました。お金がないとできないことなので、仕事も作り出しました。資格の勉強は通信と主にネットの YouTube です。 行政が自分に有効な何かを提供してくれるとは思っていないようです。 息子は 26 歳、過去に子育てサークルをしたくて公民館を借りに行ったらすでに利用しているサークルさんで埋まっていて新しい人は入れてもらえませんでした。また入れてもらえても公民館のお祭りに協力したり、夜の会議にでないといけないと、すでに利用を認められていたサークルの方が言ってました。年に一度の子供会のイベントも、毎週使っているサークルさんの利用があり、貸してもらえないこともありました。そんなことから、いつしか自分たちには関係のないところという気持ちになりました。 公民館は公の民の館、サークルさんの独占利用は違うと思います。ただしほんとうに宇治に公民館ができた頃のように、社会教育主事がいて学んだ人が社会貢献をするという意味なら意味がありますが、閉じたサークルの専用利用は自分たちで部屋を借りてするべきかと。 生涯学習は生涯だから赤ちゃんから高齢者までがターゲット。どの年齢層も参加しているということが目標かと。何かを変えようとされている思いはわかりますので未来のためにお願いします。 あとアンケートのタイトルは暮らしやすい宇治にするため。そのための公民館や生涯学習センターの在り方ではないでしょうか？ 生涯学習学習の推進に向けてのアンケートとあるとすぐに関係ないと思ってしまう気がします。でも長年宇治の市民でもあり、少なからず生涯学習にも関わったことがある身として無関心にさせてしまったことへの懺悔も含めてアンケートを送ります。
78	無回答	無回答	あてはめることはありません。スマホを使いこなせるようになりたいとは思っています。
79	無回答	無回答	4 年間入院中。

調査票

「生涯学習の推進に向けて」策定のための アンケート

市民の皆様には、日頃から宇治市の教育行政に格別のご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

宇治市教育委員会では、市民の生涯学習ニーズを把握し、今後の生涯学習の推進の方向性を示す「生涯学習の推進に向けて」を策定したいと考えております。

この「生涯学習の推進に向けて」は、社会情勢や人々の価値観、ライフスタイルが変化する中で、社会教育はもとより、学校教育、家庭教育、自己学習、スポーツ、文化活動といった生涯学習の進展のために、今後の生涯学習に関する取組みや施設の方向性を示すものです。

本調査は、皆様の意見をこの方向性に反映するため、20 歳以上の市民 3,000 人(無作為抽出法により抽出)にご協力をお願いするものです。

本調査は無記名であり、また、回答はすべて統計的に処理し、上記の目的以外に使用することはありません。本調査の趣旨をご理解の上、ぜひ、ご協力くださいますよう、お願い申し上げます。

令和6年5月

宇治市教育委員会

1. 回答方法

A) 郵送による回答

- 直接用紙にご記入いただき、この表紙を含めて回答用紙3枚を同封の返送用封筒に入れてご投函ください。

B) インターネットによる回答

- スマートフォン等でQRコードを読み込むか、パソコン等で次のアドレスにアクセスしてください。
- (アドレス)

https://www.shinsei.elg-front.jp/kyoto2/uketsuke/form.do?acs=shogaigakushu

QR コード

2. 各設問には(1 つに○)(主なもの 2 つまで○)などの指定がありますので、お間違えのないようお願いします。
3. ご回答は **1 人 1 回限り**でお願いします。
4. アンケートの回答は **6月 20日 (木)**<**消印有効**>までにお願いします。

【お問い合わせ先】

宇治市教育委員会 生涯学習課 電話:0774-20-8758(課直通)

受付時間:祝日を除く、月曜～金曜の 8 時 30 分から 17 時 15 分

生涯学習について

生涯学習の理念は、教育基本法第 3 条に「国民一人一人が、自己の人格を磨き、豊かな人生を送ることができるよう、その生涯にわたって、あらゆる機会に、あらゆる場所において学習することができ、その成果を適切に生かすことのできる社会の実現が図られなければならない。」と定められています。

質問中の「学習（生涯学習）」とは、“**人々が生涯に行うあらゆる学習、学校教育、家庭教育、社会教育、文化活動、スポーツ活動、レクリエーション活動、ボランティア活動、企業内教育、趣味など様々な機会において行う学習**”という意味ととらえてください。

生涯学習施設（例）： 生涯学習センター・公民館・図書館・コミュニティセンター・集会所・文化センター・地域福祉センター・男女共同参画支援センターなど

問1 はじめに、あなた自身にあてはまる番号を選んでください。

ア 性別 （1つに○）	1 男性 2 女性	3 その他
イ 年齢 （1つに○）	1 20 歳代 2 30 歳代 3 40 歳代 4 50 歳代	5 60 歳代 6 70 歳代 7 80 歳代以上
ウ 居住校区 （1 つに○）	1 菟道小学校 2 菟道第二小学校 3 神明小学校 4 槇島小学校 5 北槇島小学校 6 小倉小学校 7 伊勢田小学校 8 西小倉小学校 9 北小倉小学校 10 南小倉小学校 11 大久保小学校 12 大開小学校	13 西大久保小学校 14 平盛小学校 15 宇治小学校 16 三室戸小学校 17 南部小学校 18 岡屋小学校 19 木幡小学校 20 御蔵山小学校 21 笠取小学校 22 笠取第二小学校 23 わからない
エ 職業等 （1つに○）	1 会社員・公務員 2 自営業（家族従事者含む） 3 パートタイマー、アルバイト 4 家事専業	5 学生 6 無職 7 その他 （　　）

問2　この1年間に、月に1日以上どのようなことを学習しましたか。
（あてはまるもの全てに〇）

1	仕事に必要な知識・技能や資格に関すること
2	インターネットの知識・技能に関すること
3	ボランティア活動に必要な知識・技能に関すること
4	自然体験や生活体験などの体験活動に関すること
5	人口減少や地球温暖化などの社会問題に関すること
6	健康やスポーツに関すること
7	料理や裁縫などの家庭生活に関すること
8	育児や教育に関すること
9	音楽や美術、レクリエーション活動などの趣味に関すること
10	文学や歴史、語学などの教養に関すること
11	学習していない　⇒付問②へ
12	その他（具体的に：　　）

付問①　問２で、<u>1～10、12と答えた方</u>への質問です。
学習した理由は何ですか。（あてはまるもの全てに〇）

1	仕事において必要性を感じたため
2	就職や転職のために必要性を感じたため
3	地域や社会における活動に生かすため
4	家庭や日常生活に生かすため
5	健康の維持・増進のため
6	他の人との親睦を深めたり、友人を得たりするため
7	人生を豊かにするため
8	教養を深めるため
9	その他（具体的に：　　）

付問②　問２で、<u>11と答えた方</u>への質問です。
学習をしていない理由を教えてください。（あてはまるもの全てに〇）

1	仕事が忙しくて時間がない	7	学習するための費用がない
2	家事が忙しくて時間がない	8	学習したい内容の講座がない
3	学習より優先したいことがある	9	学習するための情報がない
4	時間帯が希望に合わない	10	きっかけがつかめない
5	一緒に学習する仲間がいない	11	特に必要がない
6	身近に学習する場がない	12	その他 （具体的に：　　）

問3　これから学習する場合、どのようなことを学習したいですか。（あてはまるもの全てに○）

1	仕事に必要な知識・技能や資格に関すること
2	インターネットの知識・技能に関すること
3	ボランティア活動に必要な知識・技能に関すること
4	自然体験や生活体験などの体験活動に関すること
5	人口減少や地球温暖化などの社会問題に関すること
6	健康やスポーツに関すること
7	料理や裁縫などの家庭生活に関すること
8	育児や教育に関すること
9	音楽や美術、レクリエーション活動などの趣味に関すること
10	文学や歴史、語学などの教養に関すること
11	学習したいとは思わない
12	その他（具体的に：　　）

問4　これから学習する場合、どのような場所や形態で学習したいと思いますか。（あてはまるもの全てに○）

1	公的機関の講座や教室	6	生涯学習センター、公民館
2	民間事業者の講座や教室、通信教育	7	図書館、博物館
3	大学や専門学校の講座や教室、通信教育	8	テレビやラジオ
4	職場の教育、研修	9	インターネット
5	同好者のサークル活動	10	書籍や雑誌など
		11	その他（具体的に：　　）

問5　市に期待する生涯学習に関する取り組みはありますか。（あてはまるもの全てに○）

1	生涯学習講座の内容を充実させる
2	講座等を企画・支援する人材の育成
3	気軽に生涯学習について相談できる窓口
4	生涯学習に関する情報発信
5	成果を生かし、発表する場の充実
6	生涯学習施設の利便性の向上
7	社会教育主事（※）等による生涯学習のコーディネート
8	特にない
9	その他（具体的に：　　）

※社会教育主事は、地域の学習課題を把握し、事業の企画・実施や専門的な助言と指導を行うことによって、地域住民の自発的な学習活動や学習を通じた地域づくりの活動を支援する役割を果たしています。

問6　生涯学習施設にどのような役割や機能等を期待しますか。
（主なもの2つまで○）

1	講座や講演会、イベント等の開催
2	自主活動への支援
3	学習活動グループのネットワークづくりの支援
4	地域リーダーの育成や確保
5	多世代交流のきっかけづくり
6	インターネット環境の整備
7	交流スペースの設置
8	自習スペースの設置
9	防音設備の整備
10	特にない
11	わからない
12	その他（具体的に：　　）

問7　生涯学習がしやすい時間帯はいつですか。（あてはまるもの全てに○）

1	平日の午前	7	日曜・祝日の午前
2	平日の午後	8	日曜・祝日の午後
3	平日の夜間（午後6時以降）	9	日曜・祝日の夜間（午後6時以降）
4	土曜日の午前	10	時間がとれない
5	土曜日の午後	11	その他（具体的に：　　）
6	土曜日の夜間（午後6時以降）		

問8　生涯学習に関してどのような情報を必要としていますか。
（主なもの2つに○）

1	グループ・サークル等の情報
2	講座や講習会の情報
3	指導者・講師の情報
4	施設の内容や利用方法についての情報
5	ボランティアや社会教育団体についての情報
6	その他（具体的に：　　）

問9　生涯学習施設をどれくらい利用していますか。（1つに○）

1	週に1回以上
2	月に2，3回程度
3	月に１回程度
4	年に数回程度
5	ほとんど利用していない
6	利用したことがない

◆宇治市の教育行政への意見・提案

「生涯学習の推進に向けて（案）」及び今後の市の教育行政に対するご意見・ご提案がありましたら、ぜひ、お聴かせください。（自由記入）

ご協力ありがとうございました。
回答していただいた調査票は 6 月 20 日(木)＜消印有効＞ までに、同封の返信用封筒（切手不要）に入れて、ご投函くださいますようお願いします。

宇治市教育委員会
「生涯学習の推進に向けて」策定のための
アンケート結果報告書

令和６年７月発行

発行：宇治市教育委員会生涯学習課
電話：0774-20-8758（直通）

令和６年７月30日
生涯学習審議会資料⑦

生涯学習関連事業評価シート　概要説明

生涯学習関連事業調査とは

■目的

宇治市では各課が生涯学習の視点を持ち、総合行政の意識啓発の役割を担うことを目指しています。市民が学びあう生涯学習社会の進展において、市民の自主的で主体的な学習活動が社会に還元されることを目指すため、第2次宇治市教育振興基本計画の施策5、および施策6に関連する庁内事業の取組実施状況を把握し、総合的に検証するために生涯学習関連事業調査を実施しています。

■調査結果の活用

生涯学習審議会において事業評価の検証を行い、結果（審議会意見）を各課にフィードバックし、各事業の方向性の整理や予算編成時の参考にすることを目指します。

対象となる事業について

第２次宇治市教育振興基本計画　施策５の推進施策⑴～⑸、および施策６の推進施策⑴～⑹に関連する、市民の自主的な活動の支援、講座やイベント、人材養成等、学習活動を支援する事業や取組に該当する事業を、生涯学習課にて抽出しています。

評価シートの表示項目について

◆推進体系・推進施策・主な取り組み

対象事業ごとに第２次宇治市教育振興基本計画上の「推進体系・推進施策・主な取り組み」の位置付けを記載しています。

◆担当課・事業名・事業内容

対象事業の所管課、対象事業名、事業概要を記載しています。

◆令和５年度事業予算額（新設）

令和５年度の事業予算額を記載しています。（切り分け不可のものは他事業分を含めて計上）

◆令和５年度事業目標（新設）

令和５年度の事業目標を記載しています。

◆令和５年度事業実績（新設）

令和５年度の事業実績を記載しています。

◆令和５年度事業評価（変更）

所管課による対象事業評価を記載しています。（目的意識評価から変更）

◆令和５年度評価理由（新設）

所管課による事業評価の選択理由を記載しています。

◆令和６年度課題と目標

令和６年度の課題と目標を記載しています。

令和４年度　生涯学習関連事業　具体的施策事業評価・目的意識評価シート（参考）

事業No.	1
施策体系	5　家庭・学校・地域の連携・協働促進
推進施策	(1) コミュニティ・スクールの推進
主な取り組み	② 地域学校協働活動を推進していく中で、放課後子ども教室、子どもの見守り活動、子どもの体験活動など、積極的に子どもを地域ではくくむための取組を進めます。
担当課	教育支援課
事業名	放課後子ども教室支援事業
事業内容	平日の放課後及び土曜日の午前中に、地域の参画を得て、子どもに安全・安心な居場所を提供する。
令和４年度 事業評価	地域住民等で構成される推進組織の運営により、放課後等の学校において児童の遊びと学びの場を提供した。地域学校協働活動を推進していく中で、引き続き国の動向等を踏まえ、子どもの健全育成に向けた環境づくりを推進する。
令和４年度 目的意識評価	B A=　意識して目標設定し目標を達成できた B=　意識して目標設定し取り組めた C=　意識して目標設定できなかった D=　中止等により実施無し
令和５年度 課題と目標	地域学校協働活動を推進していく中で、引き続き国の動向等を踏まえ、子どもの健全育成に向けた環境づくりを推進する。
生涯学習審議会 委員意見	**特になし**

令和５年度　生涯学習関連事業　具体的施策事業評価シート

事業No.	1
施策体系	5　家庭・学校・地域の連携・協働促進
推進施策	(1) コミュニティ・スクールの推進
主な取り組み	② 地域学校協働活動を推進していく中で、放課後子ども教室、子どもの見守り活動、子どもの体験活動など、積極的に子どもを地域ではくくむための取組を進めます。
担当課	教育支援課
事業名	放課後子ども教室支援事業
事業内容	平日の放課後及び土曜日の午前中に、地域の参画を得て、子どもに安全・安心な居場所を提供する。
令和５年度 事業予算額	2,820,000円
令和５年度 事業目標	4,500人（参加人数）
令和５年度 事業実績	4,023人（参加人数）
令和５年度 事業評価	B A=　事業目標を十分に達成した B=　事業目標を概ね達成した C=　事業目標の達成に向けて内容の見直しが必要 D=　事業目標の達成に向けて事業自体の見直しが必要
令和５年度 評価理由	地域住民等で構成される推進組織の運営により、放課後等の学校において児童の遊びと学びの場を提供したが、教室を持続的に運営するための地域の安定した協力体制に課題があった。
令和６年度 課題と目標	地域学校協働活動を推進していく中で、引き続き国の動向等を踏まえ、地域の推進組織と連携・協力しながら、人材確保を含め、子どもの健全育成に向けた環境づくりを推進する。

令和４年度　生涯学習関連事業　具体的施策事業評価・目的意識評価シート（参考）

事業No.	2
施策体系	5　家庭・学校・地域の連携・協働促進
推進施策	(4)　青少年の健全育成
主な取り組み	①　青少年健全育成協議会、少年補導委員会、連合育友会など各種関係団体が相互に連携しながら、青少年健全育成のための取組を推進します。
担当課	教育支援課
事業名	社会教育団体への支援
事業内容	青少年健全育成に関わる団体や連合育友会への支援を行う。
令和４年度 事業評価	市から関係団体へ補助金を交付することにより、団体への活動を支援できた。
令和４年度 目的意識評価	B A=　意識して目標設定し目標を達成できた B=　意識して目標設定し取り組めた C=　意識して目標設定できなかった D=　中止等により実施無し
令和５年度 課題と目標	引き続き支援を行う。
生涯学習審議会 委員意見	**特になし**

令和５年度　生涯学習関連事業　具体的施策事業評価シート

事業No.	2
施策体系	5　家庭・学校・地域の連携・協働促進
推進施策	(4)　青少年の健全育成
主な取り組み	①　青少年健全育成協議会、少年補導委員会、連合育友会など各種関係団体が相互に連携しながら、青少年健全育成のための取組を推進します。
担当課	教育支援課
事業名	社会教育団体への支援
事業内容	青少年健全育成に関わる団体や連合育友会へ補助金を交付することによる支援を行う。
令和５年度 事業予算額	2,000,000円 （青少年健全育成協議会補助金1,500千円+連合育友会補助金500千円）
令和５年度 事業目標	青少年の健全育成のため、各団体が計画している事業を社会状況に応じて実施する。
令和５年度 事業実績	コロナ禍以前に実施していた事業をほぼ従来どおり実施できた。
令和５年度 事業評価	B A=　事業目標を十分に達成した B=　事業目標を概ね達成した C=　事業目標の達成に向けて内容の見直しが必要 D=　事業目標の達成に向けて事業自体の見直しが必要
令和５年度 評価理由	地域青少協ではまだコロナ禍以前の事業を再開できていない部分がある。
令和６年度 課題と目標	引き続き青少年の健全育成のため、社会状況に応じて、事業実施を検討する。

令和４年度　生涯学習関連事業　具体的施策事業評価・目的意識評価シート（参考）

事業No.	3
施策体系	5　家庭・学校・地域の連携・協働促進
推進施策	(4)　青少年の健全育成
主な取り組み	①　青少年健全育成協議会、少年補導委員会、連合育友会など各種関係団体が相互に連携しながら、青少年健全育成のための取組を推進します。
担当課	生涯学習課
事業名	子ども手づくり文化祭
事業内容	小学生の創意工夫あふれた作品の展示と、クラフト制作等、学校・学年を越えた交流を図り、心豊かな子どもの成長を促進する。実行委員会（連合育友会、子ども会連絡協議会、市、市教委）が主催する。
令和４年度 事業評価	新型コロナウイルス感染症の影響により中止した。
令和４年度 目的意識評価	D A=　意識して目標設定し目標を達成できた B=　意識して目標設定し取り組めた C=　意識して目標設定できなかった D=　中止等により実施無し
令和５年度 課題と目標	本事業については、事業実施に係る実行委員会構成団体の負担が課題となっており、議論を続けてきた。令和5年度は事業内容の整理を図る。
生涯学習審議会 委員意見	**特になし**

令和５年度　生涯学習関連事業　具体的施策事業評価シート

事業No.	3
施策体系	5　家庭・学校・地域の連携・協働促進
推進施策	(4)　青少年の健全育成
主な取り組み	①　青少年健全育成協議会、少年補導委員会、連合育友会など各種関係団体が相互に連携しながら、青少年健全育成のための取組を推進します。
担当課	生涯学習課
事業名	子ども手づくり文化祭
事業内容	小学生の創意工夫あふれた作品の展示と、クラフト制作等、学校・学年を越えた交流を図り、心豊かな子どもの成長促進を目指して実行委員会形式（連合育友会、子ども会連絡協議会、市、市教委）で実施してきたが、実行委員会構成団体の負担が大きく、発展的解消を決定した。今後、新たな形での連携を模索していく。
令和５年度 事業予算額	－
令和５年度 事業目標	－
令和５年度 事業実績	－
令和５年度 事業評価	D A=　事業目標を十分に達成した B=　事業目標を概ね達成した C=　事業目標の達成に向けて内容の見直しが必要 D=　事業目標の達成に向けて事業自体の見直しが必要
令和５年度 評価理由	事業自体を発展的に解消し、新たな取組を模索することとなったため。
令和６年度 課題と目標	－

令和４年度　生涯学習関連事業　具体的施策事業評価・目的意識評価シート（参考）

事業No.	4
施策体系	5　家庭・学校・地域の連携・協働促進
推進施策	(4) 青少年の健全育成
主な取り組み	② 人権が尊重される豊かな社会の実現に向けて、子どもたちの「生きる力」をはぐくむため、よりいっそう、事業活動の充実を図るとともに、保護者や子育て世代との交流の促進や学力向上につながる事業の推進に努めます。
担当課	教育支援課
事業名	中学生の主張大会開催
事業内容	中学生、保護者、市民等の参加の下に、市内11中学校の代表生徒が「主張」を発表し、互いに考え学び合う機会とするとともに、市民全般に中学生に対する理解と認識を深め、青少年の健全育成の一層の推進を図る。
令和４年度 事業評価	中学生が学校、家庭、地域生活の中で感じたことを発表することで、同世代の青少年の学び合いと、市民の中学生に対する理解と認識の促進を図った。本年度は入場制限を行い、生涯学習センター第１ホールで開催したが、今後は社会状況を踏まえ、より多くの中学生や一般参加者に聞いてもらえるよう事業実施の工夫を図る。
令和４年度 目的意識評価	B A=　意識して目標設定し目標を達成できた B=　意識して目標設定し取り組めた C=　意識して目標設定できなかった D=　中止等により実施無し
令和５年度 課題と目標	昨年度は生涯学習センター第１ホールで開催したが、今年度は宇治市文化センター小ホールで、より多くの中学生や一般参加者に聞いてもらえるよう工夫を図る。
生涯学習審議会 委員意見	**特になし**

令和５年度　生涯学習関連事業　具体的施策事業評価シート

事業No.	4
施策体系	5　家庭・学校・地域の連携・協働促進
推進施策	(4) 青少年の健全育成
主な取り組み	② 人権が尊重される豊かな社会の実現に向けて、子どもたちの「生きる力」をはぐくむため、よりいっそう、事業活動の充実を図るとともに、保護者や子育て世代との交流の促進や学力向上につながる事業の推進に努めます。
担当課	教育支援課
事業名	中学生の主張大会開催
事業内容	中学生、保護者、市民等の参加の下に、市内11中学校の代表生徒が「主張」を発表し、互いに考え学び合う機会とするとともに、市民全般に中学生に対する理解と認識を深め、青少年の健全育成の一層の推進を図る。
令和５年度 事業予算額	711,000円
令和５年度 事業目標	185人（参加者）
令和５年度 事業実績	160人（参加者）
令和５年度 事業評価	B A=　事業目標を十分に達成した B=　事業目標を概ね達成した C=　事業目標の達成に向けて内容の見直しが必要 D=　事業目標の達成に向けて事業自体の見直しが必要
令和５年度 評価理由	4年ぶりに入場制限をなくして実施した結果、一定数の市民に来場してもらえることができた。
令和６年度 課題と目標	社会状況に応じて、事業実施を検討し、より多くの市民に聞いてもらえるよう工夫を図る。

令和４年度　生涯学習関連事業　具体的施策事業評価・目的意識評価シート（参考）

事業No.	5
施策体系	5　家庭・学校・地域の連携・協働促進
推進施策	(4)　青少年の健全育成
主な取り組み	②　人権が尊重される豊かな社会の実現に向けて、子どもたちの「生きる力」をはぐくむため、よりいっそう、事業活動の充実を図るとともに、保護者や子育て世代との交流の促進や学力向上につながる事業の推進に努めます。
担当課	文化スポーツ課
事業名	少年少女合唱団
事業内容	自主的で情操豊かな児童・生徒を育成することを目的とし、学校教育に準じて運営・指導を行う。市・指導者・保護者会の3者で運営。定期的に指導者会議を実施。
令和４年度 事業評価	音楽の技術向上だけでなく、責任感・協調性を身に付けることができ、自主的で情操豊かな人間性の育成に努めた。創立より44年目を迎えた。
令和４年度 目的意識評価	B A=　意識して目標設定し目標を達成できた B=　意識して目標設定し取り組めた C=　意識して目標設定できなかった D=　中止等により実施無し
令和５年度 課題と目標	近年、団員数が減少傾向にあり、合唱団の認知等の向上のため、市内外へ積極的に広報していく。
生涯学習審議会 委員意見	**特になし**

令和５年度　生涯学習関連事業　具体的施策事業評価シート

事業No.	5
施策体系	5　家庭・学校・地域の連携・協働促進
推進施策	(4)　青少年の健全育成
主な取り組み	②　人権が尊重される豊かな社会の実現に向けて、子どもたちの「生きる力」をはぐくむため、よりいっそう、事業活動の充実を図るとともに、保護者や子育て世代との交流の促進や学力向上につながる事業の推進に努めます。
担当課	文化スポーツ課
事業名	少年少女合唱団
事業内容	自主的で情操豊かな児童・生徒を育成することを目的とし、学校教育に準じて運営・指導を行う。市・指導者・保護者会の3者で運営。定期的に指導者会議を実施。
令和５年度 事業予算額	2,637,000円
令和５年度 事業目標	合唱団の認知等の向上のため、市内外へ積極的に広報していく。
令和５年度 事業実績	団員は市内在住の小学2年生から中学3年生までの約20人で、コンサート出演などの活動を行った。 　全日本少年少女合唱祭全国大会など市内外のコンサートへも多数参加するとともに、定期演奏会を開催した。
令和５年度 事業評価	B A=　事業目標を十分に達成した B=　事業目標を概ね達成した C=　事業目標の達成に向けて内容の見直しが必要 D=　事業目標の達成に向けて事業自体の見直しが必要
令和５年度 評価理由	多くのイベントへ参加することにより、周知は進んだが、団員の増加には至らなかった為。
令和６年度 課題と目標	近年、団員数が減少傾向にあり、合唱団の認知等の向上のため、市内外へ積極的に広報していく。

令和４年度　生涯学習関連事業　具体的施策事業評価・目的意識評価シート（参考）

事業No.	6
施策体系	5　家庭・学校・地域の連携・協働促進
推進施策	(4)　青少年の健全育成
主な取り組み	④　生涯学習活動のため施設を利用している団体と協働し、青少年向け事業のいっそうの充実と世代間の交流促進の取組を推進します。
担当課	教育支援課
事業名	青少年健全育成推進
事業内容	青少年の健全育成及び社会環境づくりの推進を図るため、ジュニアリーダー養成（ふる里）学習会等の青少年育成事業を実施するとともに、青少年育成団体の活動を助成し、青少年育成に係る啓発活動を行う。
令和４年度 事業評価	当協議会の大きな事業の一つである、ジュニアリーダー養成（ふる里）学習会が中止となったが、ジュニアリーダー研修会をはじめ、青少年健全育成推進大会等、各種関係団体が連携し、徐々に事業を再開することができた。
令和４年度 目的意識評価	B A=　意識して目標設定し目標を達成できた B=　意識して目標設定し取り組めた C=　意識して目標設定できなかった D=　中止等により実施無し
令和５年度 課題と目標	令和２年度から４年度まで新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となっていたジュニアリーダー養成（ふる里）学習会やクリスマス会の実施を目指す。
生涯学習審議会 委員意見	**特になし**

令和５年度　生涯学習関連事業　具体的施策事業評価シート

事業No.	6
施策体系	5　家庭・学校・地域の連携・協働促進
推進施策	(4)　青少年の健全育成
主な取り組み	④　生涯学習活動のため施設を利用している団体と協働し、青少年向け事業のいっそうの充実と世代間の交流促進の取組を推進します。
担当課	教育支援課
事業名	青少年健全育成推進
事業内容	青少年の健全育成及び社会環境づくりの推進を図るため、社会参加等の青少年育成事業を実施するとともに、青少年育成団体の活動を助成し、青少年育成に係る啓発活動を行う。
令和５年度 事業予算額	721,000円
令和５年度 事業目標	青少年の健全育成のため、計画している事業を社会状況に応じて実施する。
令和５年度 事業実績	コロナ禍以前に実施していた事業をほぼ従来どおり実施できた。
令和５年度 事業評価	B A=　事業目標を十分に達成した B=　事業目標を概ね達成した C=　事業目標の達成に向けて内容の見直しが必要 D=　事業目標の達成に向けて事業自体の見直しが必要
令和５年度 評価理由	地域青少協ではまだコロナ禍以前の事業を再開できていない部分がある。
令和６年度 課題と目標	引き続き青少年の健全育成のため、社会状況に応じて、事業実施を検討する。

令和４年度　生涯学習関連事業　具体的施策事業評価・目的意識評価シート（参考）

事業No.	7
施策体系	5　家庭・学校・地域の連携・協働促進
推進施策	(4) 青少年の健全育成
主な取り組み	④ 生涯学習活動のため施設を利用している団体と協働し、青少年向け事業のいっそうの充実と世代間の交流促進の取組を推進します。
担当課	生涯学習課
事業名	青少年によるクリーン宇治運動
事業内容	青少年団体への呼びかけにより、塔の島から白虹橋までの宇治川両岸及び大吉山周辺を中心に清掃活動を行い、青少年の社会参加と健全な育成を目指す（実行委員会と共催、中央会場）。
令和４年度 事業評価	新型コロナウイルス感染症対策として、参加予定者による開会式司会やFMうじ出演は見送ったが、12団体からの参加があった。
令和４年度 目的意識評価	B A=　意識して目標設定し目標を達成できた B=　意識して目標設定し取り組めた C=　意識して目標設定できなかった D=　中止等により実施無し
令和５年度 課題と目標	感染症の状況を考慮しながら、参加予定者による開会式やFMうじ出演など、コロナ禍で見送った内容についても復活させたい。
生涯学習審議会 委員意見	**特になし**

令和５年度　生涯学習関連事業　具体的施策事業評価シート

事業No.	7
施策体系	5　家庭・学校・地域の連携・協働促進
推進施策	(4) 青少年の健全育成
主な取り組み	④ 生涯学習活動のため施設を利用している団体と協働し、青少年向け事業のいっそうの充実と世代間の交流促進の取組を推進します。
担当課	生涯学習課
事業名	青少年によるクリーン宇治運動
事業内容	青少年団体への呼びかけにより、塔の島から天ケ瀬橋までの宇治川両岸及び大吉山周辺を中心に清掃活動を行い、青少年の社会参加と健全な育成を目指す（実行委員会と共催、中央会場）。
令和５年度 事業予算額	26,000円
令和５年度 事業目標	新型コロナウイルス感染症の様子をみながら、参加予定者による開会式司会やFMうじ出演を再開する。
令和５年度 事業実績	青少年団体への呼び掛けにより、塔の島から天ケ瀬橋を中心に、クリーン宇治運動を実施。179人が参加。また、新型コロナウイルス5類移行に伴い、スポーツ少年団によるFM宇治での広報、少年少女合唱団による開会式、子ども会連絡協議会による啓発ティッシュの配布を再開。
令和５年度 事業評価	B A=　事業目標を十分に達成した B=　事業目標を概ね達成した C=　事業目標の達成に向けて内容の見直しが必要 D=　事業目標の達成に向けて事業自体の見直しが必要
令和５年度 評価理由	新型コロナウイルス感染症対策として、見送っていた参加予定によるFM宇治での広報、開会式、啓発ティッシュの配布を再開できた。
令和６年度 課題と目標	ここ近年、参加者数は横ばいである。今後、より多くの参加者を得られるよう、引き続き取り組みを進めていく。また、地域会場との連携のため、物品の貸出を引き続き行う。

令和４年度　生涯学習関連事業　具体的施策事業評価・目的意識評価シート（参考）

事業No.	24
施策体系	6　市民が学び合う生涯学習社会の進展
推進施策	(2) 生涯学習講座の充実
主な取り組み	④　地域の特色をいかした学習講座の充実を図ります。
担当課	生涯学習課 （小倉公民館）
事業名	小倉納涼盆おどり大会・同講習会
事業内容	地域伝統文化として開催し、地域の人々のふれあいと親睦・交流を深め、住みよく明るい地域づくりを進める。
令和４年度 事業評価	関係者との協議により、新型コロナウイルス感染症の影響を鑑みて中止とした。
令和４年度 目的意識評価	D A=　意識して目標設定し目標を達成できた B=　意識して目標設定し取り組めた C=　意識して目標設定できなかった D=　中止等により実施無し
令和５年度 課題と目標	実施手法を検討するため、令和5年度は実施を見送る予定である。
生涯学習審議会 委員意見	**特になし**

令和５年度　生涯学習関連事業　具体的施策事業評価シート

事業No.	24
施策体系	6　市民が学び合う生涯学習社会の進展
推進施策	(2) 生涯学習講座の充実
主な取り組み	④　地域の特色をいかした学習講座の充実を図ります。
担当課	生涯学習課 （小倉公民館）
事業名	小倉納涼盆おどり大会・同講習会
事業内容	地域伝統文化として開催し、地域の人々のふれあいと親睦・交流を深め、住みよく明るい地域づくりを進める。
令和５年度 事業予算額	84,000円
令和５年度 事業目標	令和5年度は実施を見送り、実施手法を検討する。
令和５年度 事業実績	小倉公民館主催での実施はなし。小倉連合町内会が体育振興会と共催で小学校体育館で実施。
令和５年度 事業評価	C A=　事業目標を十分に達成した B=　事業目標を概ね達成した C=　事業目標の達成に向けて内容の見直しが必要 D=　事業目標の達成に向けて事業自体の見直しが必要
令和５年度 評価理由	コロナ前と同じように小倉公民館で実施すると、会場が密になり安全上の課題が残るため。
令和６年度 課題と目標	引き続き関係者と実施手法を検討する。

令和４年度　生涯学習関連事業　具体的施策事業評価・目的意識評価シート（参考）

事業No.	25
施策体系	6　市民が学び合う生涯学習社会の進展
推進施策	(2) 生涯学習講座の充実
主な取り組み	④　地域の特色をいかした学習講座の充実を図ります。
担当課	生涯学習課 （小倉公民館）
事業名	小倉茶香服大会
事業内容	地場産業の団体と連携して、お茶を味わいながら競技を楽しみ、宇治茶や宇治の文化についての理解と親しみを深める講座を開催する。
令和４年度 事業評価	関係者との協議により、新型コロナウイルス感染症の影響を鑑みて中止とした。
令和４年度 目的意識評価	D A=　意識して目標設定し目標を達成できた B=　意識して目標設定し取り組めた C=　意識して目標設定できなかった D=　中止等により実施無し
令和５年度 課題と目標	宇治名産のお茶に親しむ伝統的な競技を体験できる機会として、実施に向けて調整する予定である。
生涯学習審議会 委員意見	**特になし**

令和５年度　生涯学習関連事業　具体的施策事業評価シート

事業No.	25
施策体系	6　市民が学び合う生涯学習社会の進展
推進施策	(2) 生涯学習講座の充実
主な取り組み	④　地域の特色をいかした学習講座の充実を図ります。
担当課	生涯学習課 （小倉公民館）
事業名	小倉茶香服大会
事業内容	地場産業の団体と連携して、お茶を味わいながら競技を楽しみ、宇治茶や宇治の文化についての理解と親しみを深める講座を開催する。
令和５年度 事業予算額	33,686円
令和５年度 事業目標	宇治名産のお茶に親しむ伝統的な競技を体験できる機会として、実施に向けて関係者と調整する。
令和５年度 事業実績	実施なし。
令和５年度 事業評価	C A=　事業目標を十分に達成した B=　事業目標を概ね達成した C=　事業目標の達成に向けて内容の見直しが必要 D=　事業目標の達成に向けて事業自体の見直しが必要
令和５年度 評価理由	指導者が属する団体の動向が不明で、実施を見合わせているため。
令和６年度 課題と目標	引き続き実施に向けて関係者と調整する。

令和４年度　生涯学習関連事業　具体的施策事業評価・目的意識評価シート（参考）

事業No.	26
施策体系	6　市民が学び合う生涯学習社会の進展
推進施策	(2) 生涯学習講座の充実
主な取り組み	④　地域の特色をいかした学習講座の充実を図ります。
担当課	生涯学習課 （木幡公民館）
事業名	こはた大発見
事業内容	主に木幡地域に住む人が木幡に関することへの興味・関心を高め、その知識を広め、理解を深められるように、木幡に特化したテーマについての講座を開催する。
令和４年度 事業評価	「浄妙寺」「松殿山荘」「木幡の地理と自然環境」をテーマに実施し、リピーターも多く好評であった。
令和４年度 目的意識評価	B A=　意識して目標設定し目標を達成できた B=　意識して目標設定し取り組めた C=　意識して目標設定できなかった D=　中止等により実施無し
令和５年度 課題と目標	事業を開始して4年となり、新しいテーマ設定が難しくなっている。事業の見直しを進めたい。
生涯学習審議会 委員意見	**特になし**

令和５年度　生涯学習関連事業　具体的施策事業評価シート

事業No.	26
施策体系	6　市民が学び合う生涯学習社会の進展
推進施策	(2) 生涯学習講座の充実
主な取り組み	④　地域の特色をいかした学習講座の充実を図ります。
担当課	生涯学習課 （木幡公民館）
事業名	こはた大発見
事業内容	主に木幡地域に住む人が木幡に関することへの興味・関心を高め、その知識を広め、理解を深められるように、木幡に特化したテーマについての講座を開催する。
令和５年度 事業予算額	31,700円
令和５年度 事業目標	「木幡の地理と自然環境」をテーマに実施する。 数値目標：参加者30人
令和５年度 事業実績	フィールドワークもあり、大変好評であった。 数値実績：参加者30人
令和５年度 事業評価	B A=　事業目標を十分に達成した B=　事業目標を概ね達成した C=　事業目標の達成に向けて内容の見直しが必要 D=　事業目標の達成に向けて事業自体の見直しが必要
令和５年度 評価理由	リピーターも多く募集人数30人が集まり、満足度の高い事業となったため。
令和６年度 課題と目標	こはた大発見はリピーターも多く好評であったが、事業を開始して5年となり、新しいテーマ設定が難しくなっているため、新しい事業に組み替える。

令和４年度　生涯学習関連事業　具体的施策事業評価・目的意識評価シート（参考）

事業No.	27
施策体系	6　市民が学び合う生涯学習社会の進展
推進施策	(3)　市民・地域活動への支援
主な取り組み	①　学習や活動をコーディネートする人材の育成や活用に努めます。
担当課	地域福祉課
事業名	学区福祉委員会活動支援事業 （学区福祉委員会活動事業補助金）
事業内容	学区福祉委員会に対する活動支援のため、社会福祉協議会に対し補助金を交付し、地域福祉の推進を図った。
令和４年度 事業評価	学区福祉委員会連絡協議会の事務局である宇治市社会福祉協議会と協議を行い、新型コロナウイルス感染症の影響については柔軟な運用にて対応することで学区福祉委員会活動を支援した。
令和４年度 目的意識評価	C A=　意識して目標設定し目標を達成できた B=　意識して目標設定し取り組めた C=　意識して目標設定できなかった D=　中止等により実施無し
令和５年度 課題と目標	補助事業であり、成果を目的としたものではないが、本事業を活用し各学区で行われる事業によって地域福祉の推進が図れるよう、引き続き事業を継続する。
生涯学習審議会 委員意見	**特になし**

令和５年度　生涯学習関連事業　具体的施策事業評価シート

事業No.	27
施策体系	6　市民が学び合う生涯学習社会の進展
推進施策	(3)　市民・地域活動への支援
主な取り組み	①　学習や活動をコーディネートする人材の育成や活用に努めます。
担当課	地域福祉課
事業名	学区福祉委員会活動支援事業 （学区福祉委員会活動事業補助金）
事業内容	学区福祉委員会に対する活動支援のため、社会福祉協議会に対し補助金を交付し、地域福祉の推進を図った。
令和５年度 事業予算額	3,150,000円
令和５年度 事業目標	150千円を上限に、20学区に補助
令和５年度 事業実績	20学区　2,665,307円
令和５年度 事業評価	B A=　事業目標を十分に達成した B=　事業目標を概ね達成した C=　事業目標の達成に向けて内容の見直しが必要 D=　事業目標の達成に向けて事業自体の見直しが必要
令和５年度 評価理由	学区福祉委員会連絡協議会の事務局である宇治市社会福祉協議会と協議を行い、新型コロナウイルス感染症が５類感染症に移行後、なお残る社会活動等への影響については柔軟な運用にて対応することで学区福祉委員会活動を支援した。
令和６年度 課題と目標	補助事業であり、成果を目的としたものではないが、本事業を活用し各学区で行われる事業によって地域福祉の推進が図れるよう、引き続き事業を継続する。

令和４年度　生涯学習関連事業　具体的施策事業評価・目的意識評価シート（参考）

事業No.	28
施策体系	6　市民が学び合う生涯学習社会の進展
推進施策	(3) 市民・地域活動への支援
主な取り組み	①　学習や活動をコーディネートする人材の育成や活用に努めます。
担当課	学校教育課
事業名	図書館ボランティア養成事業（中央図書館と共催）
事業内容	地域の教育力の活用を図り、学校図書館の活性化を図るための、市民・保護者を対象にした蔵書整理から読み聞かせを担う図書館ボランティアの養成講座。学校を通じ受講希望者を募集⇒講座の開催⇒受講者名簿を学校へ送付。
令和４年度 事業評価	学校図書館ボランティア養成講座を開催（令和4年5月13日） ボランティア登録者数　233人
令和４年度 目的意識評価	A A=　意識して目標設定し目標を達成できた B=　意識して目標設定し取り組めた C=　意識して目標設定できなかった D=　中止等により実施無し
令和５年度 課題と目標	コロナ禍でボランティア活動が縮小され、登録者数が減少しているが、今後、内容を充実させ、希望する保護者・市民が必要な知識・技術を修得する講座を開催する。
生涯学習審議会 委員意見	**ボランティア養成講座の参加者数・講座開催数などの数値目標や、講座の質を上げる目標を明確に掲げて事業実施してほしい。**

令和５年度　生涯学習関連事業　具体的施策事業評価シート

事業No.	28
施策体系	6　市民が学び合う生涯学習社会の進展
推進施策	(3) 市民・地域活動への支援
主な取り組み	①　学習や活動をコーディネートする人材の育成や活用に努めます。
担当課	学校教育課
事業名	図書館ボランティア養成事業（中央図書館と共催）
事業内容	地域の教育力の活用を図り、学校図書館の活性化を図るための、市民・保護者を対象にした蔵書整理から読み聞かせを担う図書館ボランティアの養成講座。学校を通じ受講希望者を募集⇒講座の開催⇒受講者名簿を学校へ送付。
令和５年度 事業予算額	49,000円
令和５年度 事業目標	学校図書館の活性化を図るための、市民・保護者を対象に、必要な知識・技術を修得する図書館ボランティアの養成講座を開催し、学校図書館教育の充実を図る。
令和５年度 事業実績	学校図書館ボランティア養成講座を開催（令和5年5月19日） 学校図書館ボランティア研修会を開催（令和6年2月16日） ボランティア登録者数　270人
令和５年度 事業評価	A A=　事業目標を十分に達成した B=　事業目標を概ね達成した C=　事業目標の達成に向けて内容の見直しが必要 D=　事業目標の達成に向けて事業自体の見直しが必要
令和５年度 評価理由	学校図書館の新たな活性化を図るため、市民・保護者を対象にした蔵書管理から読み聞かせまでを担うボランティアの養成を図ることを目標に、内容を工夫した学校図書館ボランティア養成講座や学校図書館ボランティア研修会を開催することができた。ボランティア登録者数も増加した。
令和６年度 課題と目標	ポストコロナでボランティア活動が再開され、登録者数が回復してきており、今後、さらに内容を充実させ、希望する保護者・市民が必要な知識・技術を修得する講座を開催する。

令和４年度　生涯学習関連事業　具体的施策事業評価・目的意識評価シート（参考）

事業No.	29
施策体系	6　市民が学び合う生涯学習社会の進展
推進施策	(3)　市民・地域活動への支援
主な取り組み	④　「うじ市民活動サポート事業」や「市民まなびの集い（宇治まなびんぐ）」など、市民が企画・運営する事業を支援します。
担当課	男女共同参画課
事業名	市民企画事業奨励事業・地域推進支援事業
事業内容	男女共同参画の実現に取り組む市民・団体・事業所の実践的活動を支援するため、奨励金を交付する。
令和４年度 事業評価	市民や団体の取組活動に対して、積極的な支援を行うよう努めた。３事業の実施で目標の５事業には達成しなかったものの、多くの方が事業に参加されたとの報告があった。
令和４年度 目的意識評価	B A=　意識して目標設定し目標を達成できた B=　意識して目標設定し取り組めた C=　意識して目標設定できなかった D=　中止等により実施無し
令和５年度 課題と目標	限られた予算の範囲内ではあるが、事業者等への周知・啓発も含め、積極的な事業実施に努める。目標事業数：５件
生涯学習審議会 委員意見	**特になし**

令和５年度　生涯学習関連事業　具体的施策事業評価シート

事業No.	29
施策体系	6　市民が学び合う生涯学習社会の進展
推進施策	(3)　市民・地域活動への支援
主な取り組み	④　「うじ市民活動サポート事業」や「市民まなびの集い（宇治まなびんぐ）」など、市民が企画・運営する事業を支援します。
担当課	男女共同参画課
事業名	市民企画事業奨励事業・地域推進支援事業
事業内容	男女共同参画の実現に取り組む市民・団体・事業所の実践的活動を支援するため、奨励金を交付する。
令和５年度 事業予算額	290,000円
令和５年度 事業目標	限られた予算の範囲内ではあるが、事業者等への周知・啓発も含め、積極的な事業実施に努める。目標事業数：５件
令和５年度 事業実績	市民や団体の取組活動に対して、積極的な支援を行うよう努めた。２事業の実施で目標事業数には達成しなかったものの、１２０人以上の多くの方が参加された。
令和５年度 事業評価	B A=　事業目標を十分に達成した B=　事業目標を概ね達成した C=　事業目標の達成に向けて内容の見直しが必要 D=　事業目標の達成に向けて事業自体の見直しが必要
令和５年度 評価理由	目標事業数には達成しなかったものの、市民や団体の取組活動への支援をしたことにより多くの方の参加があったため。
令和６年度 課題と目標	令和５年度は目標事業数に達しなかったため、周知・啓発も含め、積極的な事業実施に努める。目標事業数：５件

令和４年度　生涯学習関連事業　具体的施策事業評価・目的意識評価シート（参考）

事業No.	30
施策体系	6　市民が学び合う生涯学習社会の進展
推進施策	(3) 市民・地域活動への支援
主な取り組み	④ 「うじ市民活動サポート事業」や「市民まなびの集い（宇治まなびんぐ）」など、市民が企画・運営する事業を支援します。
担当課	男女共同参画課
事業名	市民企画サポート事業
事業内容	男女共同参画の実現に取り組む市民等の実践的活動を支援するため、センターの会議室等の無料貸し出しや広報活動への協力、センタースタッフによる助言などの支援を行う。
令和４年度 事業評価	企画者が行う男女共同参画社会の実現に向けた事業を共催で実施し、企画・運営への助言等を行い支援に努めた。４事業の実施となり目標事業数を達成した。
令和４年度 目的意識評価	A A=　意識して目標設定し目標を達成できた B=　意識して目標設定し取り組めた C=　意識して目標設定できなかった D=　中止等により実施無し
令和５年度 課題と目標	市民への周知・啓発を効果的に行い、積極的な事業実施に努める。目標事業数：４件
生涯学習審議会 委員意見	**特になし**

令和５年度　生涯学習関連事業　具体的施策事業評価シート

事業No.	30
施策体系	6　市民が学び合う生涯学習社会の進展
推進施策	(3) 市民・地域活動への支援
主な取り組み	④ 「うじ市民活動サポート事業」や「市民まなびの集い（宇治まなびんぐ）」など、市民が企画・運営する事業を支援します。
担当課	男女共同参画課
事業名	市民企画サポート事業
事業内容	男女共同参画の実現に取り組む市民等の実践的活動を支援するため、センターの会議室等の無料貸し出しや広報活動への協力、センタースタッフによる助言などの支援を行う。
令和５年度 事業予算額	30,000円
令和５年度 事業目標	市民への周知・啓発を効果的に行い、積極的な事業実施に努める。目標事業数：４件
令和５年度 事業実績	企画者が行う男女共同参画社会の実現に向けた事業を共催で実施し、企画・運営への助言等を行い支援に努めた。４事業の実施となり目標事業数を達成した。
令和５年度 事業評価	A A=　事業目標を十分に達成した B=　事業目標を概ね達成した C=　事業目標の達成に向けて内容の見直しが必要 D=　事業目標の達成に向けて事業自体の見直しが必要
令和５年度 評価理由	企画者が実施する事業に対し、企画・運営への助言などにより支援をすることで、目標事業数の４件を達成することが出来たため。
令和６年度 課題と目標	引き続き市民への周知・啓発を効果的に行い、積極的な事業実施に努める。 目標事業数：４件

令和４年度　生涯学習関連事業　具体的施策事業評価・目的意識評価シート（参考）

事業No.	31
施策体系	6　市民が学び合う生涯学習社会の進展
推進施策	(3) 市民・地域活動への支援
主な取り組み	④ 「うじ市民活動サポート事業」や「市民まなびの集い（宇治まなびんぐ）」など、市民が企画・運営する事業を支援します。
担当課	生涯学習センター
事業名	市民まなびの集い（宇治まなびんぐ）
事業内容	生涯学習に取り組む個人・団体の交流と日頃の成果を発表する機会として開催する。市民の実行委員会が企画運営する。学習のきっかけ作りやネットワークを築く場である。
令和４年度 事業評価	市民公募による実行委員会形式で開催し、実行委員が準備及び当日運営を、当日のボランティアも出展者補助等を積極的に行った。参加者数は令和元年度の8割程度まで回復した。
令和４年度 目的意識評価	B A=　意識して目標設定し目標を達成できた B=　意識して目標設定し取り組めた C=　意識して目標設定できなかった D=　中止等により実施無し
令和５年度 課題と目標	実行委員の前向きなアイデアを大事にしながら、出展者・参加者・実行委員・ボランティアが学び合う場として充実させていく。
生涯学習審議会 委員意見	**特になし**

令和５年度　生涯学習関連事業　具体的施策事業評価シート

事業No.	31
施策体系	6　市民が学び合う生涯学習社会の進展
推進施策	(3) 市民・地域活動への支援
主な取り組み	④ 「うじ市民活動サポート事業」や「市民まなびの集い（宇治まなびんぐ）」など、市民が企画・運営する事業を支援します。
担当課	生涯学習センター
事業名	市民まなびの集い（宇治まなびんぐ）
事業内容	生涯学習に取り組む個人・団体の交流と日頃の成果を発表する機会として開催する。市民の実行委員会が企画運営する。学習のきっかけ作りやネットワークを築く場である。
令和５年度 事業予算額	274,000円
令和５年度 事業目標	参加者数について、コロナ前の令和元年度の数字を超えることを目標とする。また、出展者同士の交流の場を再開させる。
令和５年度 事業実績	参加者数、出展者数ともに令和元年度を上回り、出展者同士の交流会を再開することができた。
令和５年度 事業評価	A A=　事業目標を十分に達成した B=　事業目標を概ね達成した C=　事業目標の達成に向けて内容の見直しが必要 D=　事業目標の達成に向けて事業自体の見直しが必要
令和５年度 評価理由	数値目標を達成できたこと、昨年度の第3回実行委員会で出た課題を実行委員とともに解決できたことによる。
令和６年度 課題と目標	数値目標としては参加者数の増加が挙げられる。特に土曜日の参加者数をどう伸ばしていくかが課題と考える。課題解決のためにHPの作り方、広報を改善する。

令和４年度　生涯学習関連事業　具体的施策事業評価・目的意識評価シート（参考）

事業No.	32
施策体系	6　市民が学び合う生涯学習社会の進展
推進施策	(3) 市民・地域活動への支援
主な取り組み	④ 「うじ市民活動サポート事業」や「市民まなびの集い（宇治まなびんぐ）」など、市民が企画・運営する事業を支援します。
担当課	生涯学習課
事業名	社会教育関係団体への活動支援
事業内容	子ども会連絡協議会、女性の会連絡協議会の社会教育活動を支援する。
令和４年度 事業評価	社会教育関係団体へ支援・助言等を行っている。市政への協力や積極的な社会貢献など、関係団体が果たす役割は大きい。
令和４年度 目的意識評価	B A=　意識して目標設定し目標を達成できた B=　意識して目標設定し取り組めた C=　意識して目標設定できなかった D=　中止等により実施無し
令和５年度 課題と目標	団体構成員の高齢化や後継者不足などが課題である。
生涯学習審議会 委員意見	**特になし**

令和５年度　生涯学習関連事業　具体的施策事業評価シート

事業No.	32
施策体系	6　市民が学び合う生涯学習社会の進展
推進施策	(3) 市民・地域活動への支援
主な取り組み	④ 「うじ市民活動サポート事業」や「市民まなびの集い（宇治まなびんぐ）」など、市民が企画・運営する事業を支援します。
担当課	生涯学習課
事業名	社会教育関係団体への活動支援
事業内容	子ども会連絡協議会、女性の会連絡協議会の社会教育活動を支援するために補助金を交付するとともに、各団体の事業実施に向けた支援・助言等を行う。
令和５年度 事業予算額	770,000円 子連協　350,000円 女性連　420,000円
令和５年度 事業目標	補助金交付や支援・助言等により、各団体の事業実施をフォローし、子どもや女性を中心としたつながりや活動の継続を図る。
令和５年度 事業実績	子連協 親子で楽しむグラウンドゴルフ大会 令和5年10月22日117人が参加 新春子ども大会 親子・個人部門でかるた、個人部門で将棋を実施
令和５年度 事業評価	B A=　事業目標を十分に達成した B=　事業目標を概ね達成した C=　事業目標の達成に向けて内容の見直しが必要 D=　事業目標の達成に向けて事業自体の見直しが必要
令和５年度 評価理由	新型コロナウイルス感染症の5類移行により、休止していた事業が再開できたため。
令和６年度 課題と目標	コロナ禍での社会変容により人と人との繋がり方が多様化する中、両団体ともに活動のあり方を模索しながら活動を継続されている。団体構成員の高齢化や新しいメンバーの確保などの課題があるが、活動の継続に向けて支援していく。

令和４年度　生涯学習関連事業　具体的施策事業評価・目的意識評価シート（参考）

事業No.	33
施策体系	6　市民が学び合う生涯学習社会の進展
推進施策	(3) 市民・地域活動への支援
主な取り組み	④ 「うじ市民活動サポート事業」や「市民まなびの集い（宇治まなびんぐ）」など、市民が企画・運営する事業を支援します。
担当課	生涯学習センター
事業名	うじ市民活動サポート事業
事業内容	市民を対象に行う市民企画事業を募集し、教育委員会内に設ける選考委員会で採択した事業について、当センターと共催で事業を行う。
令和４年度 事業評価	採択した2団体（テーマは絵本のある子育て、キラリ発見☆新しい自分）に対して、企画された講座の実施を、会場提供、広報の協力等を通してサポートした。
令和４年度 目的意識評価	B A=　意識して目標設定し目標を達成できた B=　意識して目標設定し取り組めた C=　意識して目標設定できなかった D=　中止等により実施無し
令和５年度 課題と目標	採択した4団体（テーマは絵本のある子育て、キラリ発見☆新しい自分、宇治の語り部、カリンバ演奏）に対して、企画された講座の実施を、会場提供、広報の協力等を通してサポートする。
生涯学習審議会 委員意見	**特になし**

令和５年度　生涯学習関連事業　具体的施策事業評価シート

事業No.	33
施策体系	6　市民が学び合う生涯学習社会の進展
推進施策	(3) 市民・地域活動への支援
主な取り組み	④ 「うじ市民活動サポート事業」や「市民まなびの集い（宇治まなびんぐ）」など、市民が企画・運営する事業を支援します。
担当課	生涯学習センター
事業名	うじ市民活動サポート事業
事業内容	市民を対象に行う市民企画事業を募集し、教育委員会内に設ける選考委員会で採択した事業について、当センターと共催で事業を行う。
令和５年度 事業予算額	28,000円
令和５年度 事業目標	講座やイベントを実施する際のノウハウを採択団体に伝え、今後も市内で活躍できるようにサポートする。
令和５年度 事業実績	採択した4団体（テーマは絵本のある子育て、キラリ発見☆新しい自分、宇治の語り部、カリンバ演奏）に対して、企画された講座の実施を、会場提供、広報の協力等を通してサポートした。
令和５年度 事業評価	B A=　事業目標を十分に達成した B=　事業目標を概ね達成した C=　事業目標の達成に向けて内容の見直しが必要 D=　事業目標の達成に向けて事業自体の見直しが必要
令和５年度 評価理由	スムーズに運営できた団体もあれば途中で中止せざるを得ない状況となった団体もあったが、その都度どのように対応すればいいか一緒に考え対応することができた。
令和６年度 課題と目標	昨年度よりも多い5団体（テーマはカリンバ作成と演奏会、クリニカルアート、ダンボールジオラマ、ローズウィンドウ、コミュニケーションカアップ）に対して、企画された講座の実施を、会場提供、広報の協力等を通してサポートする。

令和４年度　生涯学習関連事業　具体的施策事業評価・目的意識評価シート（参考）

事業No.	34
施策体系	6　市民が学び合う生涯学習社会の進展
推進施策	(3) 市民・地域活動への支援
主な取り組み	⑤ 講座履修後に自主的な学習活動やイベントでの学習成果の発表を行うなど、「市民が学び合う生涯学習社会」を推進する仕組みの充実を図ります。
担当課	都市計画課
事業名	うじ井戸端会議
事業内容	地区まちづくり協議会やまちづくりマイスター（まちづくり塾修了生)等のまちづくり活動についての情報・意見交換、交流を目的として開催し、まちづくりのリーダーの活動を支援する。
令和４年度 事業評価	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため開催見送り
令和４年度 目的意識評価	D A=　意識して目標設定し目標を達成できた B=　意識して目標設定し取り組めた C=　意識して目標設定できなかった D=　中止等により実施無し
令和５年度 課題と目標	R5年度より、まちについて気軽に話し合える場を、主にまちづくり協議会の活動を紹介するパネル展会場に併設し「うじまちパネル展」として開催する。地域の良いところなどの写真も掲示し、共通のテーマについて語らうことで、まちの魅力を発見し、地域に対する興味・愛着を深めてもらう。
生涯学習審議会 委員意見	**特になし**

令和５年度　生涯学習関連事業　具体的施策事業評価シート

事業No.	34
施策体系	6　市民が学び合う生涯学習社会の進展
推進施策	(3) 市民・地域活動への支援
主な取り組み	⑤ 講座履修後に自主的な学習活動やイベントでの学習成果の発表を行うなど、「市民が学び合う生涯学習社会」を推進する仕組みの充実を図ります。
担当課	都市計画課
事業名	うじまちパネル展
事業内容	地区まちづくり協議会活動のパネルや、地域の写真、宇治市まちづくり景観条例の内容について展示、紹介するとともに、来場者と地区まちづくり協議会やまちづくりマイスター等が自由にまちづくりについて意見交換できる場を設ける。
令和５年度 事業予算額	1,215,000円 まちづくり活動支援事業費全体
令和５年度 事業目標	うじ井戸端会議について一部内容を見直し、うじまちパネル展として開催。主に地区まちづくり協議会の活動を紹介するパネル展会場で、まちについて気軽に話し合える場を設け、まちの魅力を再発見し、地域（うじ）に対する興味や愛着を深めてもらう。
令和５年度 事業実績	１０月３０日～１１月２日の４日間、市役所１階市民交流ロビーにて開催
令和５年度 事業評価	B A=　事業目標を十分に達成した B=　事業目標を概ね達成した C=　事業目標の達成に向けて内容の見直しが必要 D=　事業目標の達成に向けて事業自体の見直しが必要
令和５年度 評価理由	パネルや写真で来場者にまちづくりについて紹介するとともに、地区まちづくり協議会、まちづくりマイスター、市職員が来場者と協議会活動、交通、空き家、防災などについて意見交換を行った。
令和６年度 課題と目標	令和６年度も引き続き、来場者にまちの魅力を再発見し、地域（うじ）に対する興味や愛着を深めてもらうことを目的に開催する。

令和４年度　生涯学習関連事業　具体的施策事業評価・目的意識評価シート（参考）

事業No.	35
施策体系	6　市民が学び合う生涯学習社会の進展
推進施策	(3)　市民・地域活動への支援
主な取り組み	⑤　講座履修後に自主的な学習活動やイベントでの学習成果の発表を行うなど、「市民が学び合う生涯学習社会」を推進する仕組みの充実を図ります。
担当課	生涯学習センター
事業名	宇治鳳凰大学祭
事業内容	鳳凰大学の受講生が、仲間との交流を深める場として開催するもので、クラブ活動の成果と個人の趣味を作品展示、舞台発表という形で披露する。
令和４年度 事業評価	令和3年度は新型コロナウイルス感染症対策の一環で、参加者を鳳凰大学生にのみに限定していたが、令和4年度はクラブ員の家族・友人まで参加者を広げ開催することができた。
令和４年度 目的意識評価	B A=　意識して目標設定し目標を達成できた B=　意識して目標設定し取り組めた C=　意識して目標設定できなかった D=　中止等により実施無し
令和５年度 課題と目標	令和5年度は会場を文化センターから生涯学習センターに移し、新しい形での鳳凰大学祭を開催する予定である。
生涯学習審議会 委員意見	**特になし**

令和５年度　生涯学習関連事業　具体的施策事業評価シート

事業No.	35
施策体系	6　市民が学び合う生涯学習社会の進展
推進施策	(3)　市民・地域活動への支援
主な取り組み	⑤　講座履修後に自主的な学習活動やイベントでの学習成果の発表を行うなど、「市民が学び合う生涯学習社会」を推進する仕組みの充実を図ります。
担当課	生涯学習センター
事業名	宇治鳳凰大学祭
事業内容	鳳凰大学の受講生が、仲間との交流を深める場として開催するもので、クラブ活動の成果と個人の趣味を作品展示、舞台発表という形で披露する。
令和５年度 事業予算額	83,600円
令和５年度 事業目標	令和5年度から宇治鳳凰大学は生涯学習センター事業となり、鳳凰大学祭の開催場所も生涯学習センターとなる。クラブ活動についても、円滑に移行する。
令和５年度 事業実績	事前の取り組みにより、クラブ活動についても円滑に移行、実施することができた。場所の利を生かしたより合理的、効果的な事業展開ができた。
令和５年度 事業評価	B A=　事業目標を十分に達成した B=　事業目標を概ね達成した C=　事業目標の達成に向けて内容の見直しが必要 D=　事業目標の達成に向けて事業自体の見直しが必要
令和５年度 評価理由	令和5年度の事業目標を達成し、新しい鳳凰大学祭の幕開けができたことによる。
令和６年度 課題と目標	鳳凰大学祭参加者を一般市民にも広げることで、活動の活発化や鳳凰大学そのもの広報にもつなげる。

令和４年度　生涯学習関連事業　具体的施策事業評価・目的意識評価シート（参考）

事業No.	36
施策体系	6　市民が学び合う生涯学習社会の進展
推進施策	(3) 市民・地域活動への支援
主な取り組み	⑥ 市民が学習成果を社会に還元する取組を行えるよう、機会の提供やコーディネートに努めます。
担当課	文化スポーツ課
事業名	宇治市高校生文化芸術祭典ＦＵＮ×ＦＡＮ×ＦＥＳ
事業内容	市内に在住・在学する高校生などが一堂に会し、文化センターで舞台発表や作品展示を開催。参加高校生による実行委員会を組織し、企画・運営を行う。
令和４年度 事業評価	高校生の発表や作品の鑑賞を通じて、互いの活動や工夫などの情報交換の場とし、新たなつながりや活動を生み出す契機を提供できた。
令和４年度 目的意識評価	A A=　意識して目標設定し目標を達成できた B=　意識して目標設定し取り組めた C=　意識して目標設定できなかった D=　中止等により実施無し
令和５年度 課題と目標	事業実施にあたり、より効果的な手法を検討し、参加者と入場者の増加を図る必要がある。
生涯学習審議会 委員意見	**特になし**

令和５年度　生涯学習関連事業　具体的施策事業評価シート

事業No.	36
施策体系	6　市民が学び合う生涯学習社会の進展
推進施策	(3) 市民・地域活動への支援
主な取り組み	⑥ 市民が学習成果を社会に還元する取組を行えるよう、機会の提供やコーディネートに努めます。
担当課	文化スポーツ課
事業名	宇治市高校生文化芸術祭典ＦＵＮ×ＦＡＮ×ＦＥＳ
事業内容	市内に在住・在学する高校生などが一堂に会し、文化センターで舞台発表や作品展示を開催。参加高校生による実行委員会を組織し、企画・運営を行う。
令和５年度 事業予算額	4,200,000円
令和５年度 事業目標	発表や作品の鑑賞、芸術祭の企画・運営を通じて、互いの活動や工夫などの情報交換の場とし、新たなつながりや活動を生み出す契機を提供する。
令和５年度 事業実績	市内の全9校の高校生約300人が文化センターにて、12月9日(土)・10日(日)の2日間にわたり舞台発表や作品展示を行った。 　また、高校生で組織する実行委員会を開催し、企画立案及び当日の運営などを行った。
令和５年度 事業評価	A A=　事業目標を十分に達成した B=　事業目標を概ね達成した C=　事業目標の達成に向けて内容の見直しが必要 D=　事業目標の達成に向けて事業自体の見直しが必要
令和５年度 評価理由	高校生の発表や作品の鑑賞、芸術祭の企画・運営を通じて、互いの活動や工夫などの情報交換の場とし、新たなつながりや活動を生み出す契機を提供できた。
令和６年度 課題と目標	事業実施にあたり、より効果的な手法を検討し、参加者と入場者の増加を図る必要がある。

令和４年度　生涯学習関連事業　具体的施策事業評価・目的意識評価シート（参考）

事業No.	37
施策体系	6　市民が学び合う生涯学習社会の進展
推進施策	(3) 市民・地域活動への支援
主な取り組み	⑥ 市民が学習成果を社会に還元する取組を行えるよう、機会の提供やコーディネートに努めます。
担当課	男女共同参画課
事業名	市民活動支援ここからチャレンジ相談事業
事業内容	いろいろな分野でチャレンジしている、又はチャレンジしようとする女性を支援するため、NPO等の設立や起業等の相談窓口を委託して設置している。
令和４年度 事業評価	女性の就業や経営参画に向けた相談など、女性の活躍推進に向けた事業を実施することができた。相談件数は７７件と、目標の９７件には至らなかったものの、「ここからチャレンジ・マルシェ」を年４回開催し、延べ１０８ブースの出店があり大変賑わった。
令和４年度 目的意識評価	B A=　意識して目標設定し目標を達成できた B=　意識して目標設定し取り組めた C=　意識して目標設定できなかった D=　中止等により実施無し
令和５年度 課題と目標	新たな相談員を迎え２名体制で実施する。更なる市民への周知・啓発に努める。目標相談件数：９６件
生涯学習審議会 委員意見	**特になし**

令和５年度　生涯学習関連事業　具体的施策事業評価シート

事業No.	37
施策体系	6　市民が学び合う生涯学習社会の進展
推進施策	(3) 市民・地域活動への支援
主な取り組み	⑥ 市民が学習成果を社会に還元する取組を行えるよう、機会の提供やコーディネートに努めます。
担当課	男女共同参画課
事業名	市民活動支援ここからチャレンジ相談事業
事業内容	色々な分野でチャレンジしている、またはチャレンジしようとしている女性を支援するため、ＮＰＯ等の設立や企業等の相談窓口を委託して設置している。
令和５年度 事業予算額	499,000円
令和５年度 事業目標	新たな相談員を迎え２名体制で実施する。更なる市民への周知・啓発に努める。 目標相談件数：９６件
令和５年度 事業実績	女性の起業や経営企画に向けた相談など、女性の活躍推進に向けた事業を実施する事が出来た。相談件数は８０件と、目標件数には至らなかったものの、昨年度を上回った。また、「ここからチャレンジ・マルシェ」を年４回開催し、延べ１５８ブースの出店があり大変賑わった。
令和５年度 事業評価	B A=　事業目標を十分に達成した B=　事業目標を概ね達成した C=　事業目標の達成に向けて内容の見直しが必要 D=　事業目標の達成に向けて事業自体の見直しが必要
令和５年度 評価理由	目標相談件数には達成しなかったものの、「ここからチャレンジ・マルシェ」を開催したことにより多くの方の参加があったため。
令和６年度 課題と目標	先まで予約が埋まる状況であるため相談のコマ数を増やすこととした。引き続き、市民への周知・啓発に努める。目標相談件数：９６件

令和４年度　生涯学習関連事業　具体的施策事業評価・目的意識評価シート（参考）

事業No.	38
施策体系	6　市民が学び合う生涯学習社会の進展
推進施策	(3) 市民・地域活動への支援
主な取り組み	⑥ 市民が学習成果を社会に還元する取組を行えるよう、機会の提供やコーディネートに努めます。
担当課	長寿生きがい課
事業名	認知症キャラバンメイトフォローアップ研修
事業内容	円滑なサポーター養成講座の展開に向けて媒体の工夫についての意見交換等をし、メイトの資質向上、メイト同士の交流をはかる。
令和４年度 事業評価	認知症の人やその家族を地域でサポートできる人を養成するために、認知症あんしんサポーター養成講座をの内容等について意見交換や情報交換をし、メイトの資質向上を図ることができた。
令和４年度 目的意識評価	B A=　意識して目標設定し目標を達成できた B=　意識して目標設定し取り組めた C=　意識して目標設定できなかった D=　中止等により実施無し
令和５年度 課題と目標	多くのメイトが参加し、資質向上につながるような研修方法や内容の充実を図る。
生涯学習審議会 委員意見	**特になし**

令和５年度　生涯学習関連事業　具体的施策事業評価シート

事業No.	38
施策体系	6　市民が学び合う生涯学習社会の進展
推進施策	(3) 市民・地域活動への支援
主な取り組み	⑥ 市民が学習成果を社会に還元する取組を行えるよう、機会の提供やコーディネートに努めます。
担当課	長寿生きがい課
事業名	認知症キャラバンメイトフォローアップ研修
事業内容	円滑なサポーター養成講座の展開に向けて媒体の工夫についての意見交換等をし、メイトの資質向上、メイト同士の交流をはかる。
令和５年度 事業予算額	53,000円 （他の事業分も含む）
令和５年度 事業目標	多くのメイトが参加し、資質向上につながるような研修方法や内容の充実を図る。
令和５年度 事業実績	キャラバン・メイトフォローアップ研修　受講者数　35人
令和５年度 事業評価	B A=　事業目標を十分に達成した B=　事業目標を概ね達成した C=　事業目標の達成に向けて内容の見直しが必要 D=　事業目標の達成に向けて事業自体の見直しが必要
令和５年度 評価理由	参加者数は前年度を上回った。啓発に活用できるツールの紹介や意見交換などメイトの資質向上を図ることができた。
令和６年度 課題と目標	多くのメイトが参加し、資質向上につながるような研修方法や内容の充実を図る。

令和４年度　生涯学習関連事業　具体的施策事業評価・目的意識評価シート（参考）

事業No.	39
施策体系	6　市民が学び合う生涯学習社会の進展
推進施策	(3) 市民・地域活動への支援
主な取り組み	⑥ 市民が学習成果を社会に還元する取組を行えるよう、機会の提供やコーディネートに努めます。
担当課	長寿生きがい課
事業名	認知症家族支援プログラム（ＯＢ会支援）
事業内容	認知症家族支援プログラム終了後に立ち上がったOB会の支援を行う。OBが今後、地域の疲弊した介護者を支援できるような組織を目指す。
令和４年度 事業評価	認知症の人を介護する家族が、認知症についての知識や介護方法を学ぶことができ、また参加者同士の交流により心身の安定を得ることができている。
令和４年度 目的意識評価	B A=　意識して目標設定し目標を達成できた B=　意識して目標設定し取り組めた C=　意識して目標設定できなかった D=　中止等により実施無し
令和５年度 課題と目標	認知症の人を介護する家族が、心身の安定を得ることができる機会として、多くの介護者が参加できるように努める。
生涯学習審議会 委員意見	**特になし**

令和５年度　生涯学習関連事業　具体的施策事業評価シート

事業No.	39
施策体系	6　市民が学び合う生涯学習社会の進展
推進施策	(3) 市民・地域活動への支援
主な取り組み	⑥ 市民が学習成果を社会に還元する取組を行えるよう、機会の提供やコーディネートに努めます。
担当課	長寿生きがい課
事業名	認知症家族支援プログラム（ＯＢ会支援）
事業内容	認知症家族支援プログラム及びＯＢ会を通して、認知症の人を介護する家族を支援する。
令和５年度 事業予算額	409,200円
令和５年度 事業目標	認知症の人を介護する家族が、心身の安定を得ることができる機会として多くの介護者が参加できるように努める。
令和５年度 事業実績	認知症家族支援プログラム　参加者　延べ26人 OB会　参加者　延べ71人
令和５年度 事業評価	B A=　事業目標を十分に達成した B=　事業目標を概ね達成した C=　事業目標の達成に向けて内容の見直しが必要 D=　事業目標の達成に向けて事業自体の見直しが必要
令和５年度 評価理由	介護者家族に対し、認知症の正しい理解を促進し、介護者同士の交流を支援した。OB会の参加者は増加したが、家族支援プログラムの参加者は低迷しており、在宅介護中の家族が気軽に参加できる工夫が必要である。
令和６年度 課題と目標	認知症の人を介護する家族が、心身の安定を得ることができる機会として多くの介護者が参加できるように努める。

令和４年度　生涯学習関連事業　具体的施策事業評価・目的意識評価シート（参考）

事業No.	40
施策体系	6　市民が学び合う生涯学習社会の進展
推進施策	(3)　市民・地域活動への支援
主な取り組み	⑥　市民が学習成果を社会に還元する取組を行えるよう、機会の提供やコーディネートに努めます。
担当課	健康づくり推進課
事業名	食生活改善推進員地区組織活動支援
事業内容	食生活改善推進員養成講座の修了生で結成された宇治市食生活改善推進員協議会「若葉の会」の活動の支援や定期的な会員対象の研修を実施する。また、「若葉の会」が実施主体となって実施する地域での健康料理教室を開催する。
令和４年度 事業評価	会員対象の研修会の実施や地域での健康料理教室の開催を行い、「若葉の会」が中心の活動を通じて、市民の健康行動の変容につなげられるよう継続実施。
令和４年度 目的意識評価	B A=　意識して目標設定し目標を達成できた B=　意識して目標設定し取り組めた C=　意識して目標設定できなかった D=　中止等により実施無し
令和５年度 課題と目標	会員の状況と活動内容について会と相談しながら支援を継続する。数値目標：活動回数70回
生涯学習審議会 委員意見	**特になし**

令和５年度　生涯学習関連事業　具体的施策事業評価シート

事業No.	40
施策体系	6　市民が学び合う生涯学習社会の進展
推進施策	(3)　市民・地域活動への支援
主な取り組み	⑥　市民が学習成果を社会に還元する取組を行えるよう、機会の提供やコーディネートに努めます。
担当課	健康づくり推進課
事業名	食生活改善推進員地区組織活動支援
事業内容	食生活改善推進員養成講座の修了生で結成された宇治市食生活改善推進員協議会「若葉の会」の活動の支援や定期的な会員対象の研修を実施する。また、「若葉の会」が実施主体となって実施する地域での健康料理教室を開催する。
令和５年度 事業予算額	428,000円
令和５年度 事業目標	会員の状況と活動内容について会と相談しながら支援を継続する。 数値目標：活動回数70回
令和５年度 事業実績	活動回数：99回
令和５年度 事業評価	A A=　事業目標を十分に達成した B=　事業目標を概ね達成した C=　事業目標の達成に向けて内容の見直しが必要 D=　事業目標の達成に向けて事業自体の見直しが必要
令和５年度 評価理由	自主活動及び行政協力依頼事業ともに目標回数を十分達成することができたため。
令和６年度 課題と目標	会員の状況と活動内容について会と相談しながら支援を継続する。 数値目標：活動回数70回

令和４年度　生涯学習関連事業　具体的施策事業評価・目的意識評価シート（参考）

事業No.	41
施策体系	6　市民が学び合う生涯学習社会の進展
推進施策	(3)　市民・地域活動への支援
主な取り組み	⑥　市民が学習成果を社会に還元する取組を行えるよう、機会の提供やコーディネートに努めます。
担当課	生涯学習課 （中央公民館）
事業名	人形劇フェスティバル
事業内容	市内の公民館等で活動する人形劇サークルの活動成果の発表の場を兼ねて、市民団体の実行委員会が企画運営し、子どもたちに人形劇の楽しさを味わってもらう。
令和４年度 事業評価	毎年参加の5団体による実行委員会形式での開催で、時間をかけて交流したり、舞台業者との意見交換を行ったり、例年より丁寧な準備が行えた。
令和４年度 目的意識評価	B A=　意識して目標設定し目標を達成できた B=　意識して目標設定し取り組めた C=　意識して目標設定できなかった D=　中止等により実施無し
令和５年度 課題と目標	人形劇サークルの成果発表の場として定着し、子どもに人形劇の楽しさを味わってもらう機会となっているが、集客に課題があるため、事業内容や広報に工夫が必要である。
生涯学習審議会 委員意見	**特になし**

令和５年度　生涯学習関連事業　具体的施策事業評価シート

事業No.	41
施策体系	6　市民が学び合う生涯学習社会の進展
推進施策	(3)　市民・地域活動への支援
主な取り組み	⑥　市民が学習成果を社会に還元する取組を行えるよう、機会の提供やコーディネートに努めます。
担当課	生涯学習課 （中央公民館）
事業名	人形劇フェスティバル
事業内容	市内の公民館等で活動する人形劇サークルの活動成果の発表の場を兼ねて、市民団体の実行委員会が企画運営し、子どもたちに人形劇の楽しさを味わってもらう。
令和５年度 事業予算額	243,000円
令和５年度 事業目標	課題である集客の増加に向けて、事業内容や広報を工夫する。 数値目標：参加者400人
令和５年度 事業実績	実行委員会を重ね、一部人形劇に限らない内容にするなど工夫して実施した。 数値実績：参加者150人
令和５年度 事業評価	C A=　事業目標を十分に達成した B=　事業目標を概ね達成した C=　事業目標の達成に向けて内容の見直しが必要 D=　事業目標の達成に向けて事業自体の見直しが必要
令和５年度 評価理由	集客が伸び悩んだため。また、実施するサークルの高齢化という担い手の課題もあり、内容の見直しが必要である。
令和６年度 課題と目標	開催場所を文化センターから生涯学習センターに移して、人形劇や読み聞かせ、音楽に関わる団体・個人が出演する子ども向けの新たなイベントを実施する。

令和４年度　生涯学習関連事業　具体的施策事業評価・目的意識評価シート（参考）

事業No.	42
施策体系	6　市民が学び合う生涯学習社会の進展
推進施策	(3) 市民・地域活動への支援
主な取り組み	⑥ 市民が学習成果を社会に還元する取組を行えるよう、機会の提供やコーディネートに努めます。
担当課	生涯学習センター
事業名	ふれあいワークショップ
事業内容	出展者が会場内の全ての人たちに「オリジナル作品の魅力」を発信し、体験型ワークショップを通して出展者と来場者、または出展者同士がふれあいながら楽しめる場をつくることを目的とする。
令和４年度 事業評価	出展者、参加者ともに例年より少なかったが、出展者同士が互いのコーナーを見ながら交流することができた。
令和４年度 目的意識評価	B A=　意識して目標設定し目標を達成できた B=　意識して目標設定し取り組めた C=　意識して目標設定できなかった D=　中止等により実施無し
令和５年度 課題と目標	出展者、参加者を増やすため効果的な情報発信が必要である。
生涯学習審議会 委員意見	**特になし**

令和５年度　生涯学習関連事業　具体的施策事業評価シート

事業No.	42
施策体系	6　市民が学び合う生涯学習社会の進展
推進施策	(3) 市民・地域活動への支援
主な取り組み	⑥ 市民が学習成果を社会に還元する取組を行えるよう、機会の提供やコーディネートに努めます。
担当課	生涯学習センター
事業名	ふれあいワークショップ
事業内容	出展者が取り組んでいる創作活動について、魅力を発信できる場とするワークショップ形式のイベント。出展者は公募。
令和５年度 事業予算額	7,600円
令和５年度 事業目標	募集数（11組）に近い出展者が集まること。 たくさんの参加者がふれあいワークショップを知って、楽しんでもらうこと。
令和５年度 事業実績	出展者は11組の募集があった。参加者は、昨年度に比べて約6.6倍（8人→53人）となった。
令和５年度 事業評価	B A=　事業目標を十分に達成した B=　事業目標を概ね達成した C=　事業目標の達成に向けて内容の見直しが必要 D=　事業目標の達成に向けて事業自体の見直しが必要
令和５年度 評価理由	出展者募集・参加者募集ともに、イベント自体の認知度向上のために広報の強化に取り組むことができた。
令和６年度 課題と目標	出展ブース同士の間隔が広く、一体感がなかったため、会場の雰囲気づくりを再設計して、より過ごしやすいイベントを目指す。

令和４年度　生涯学習関連事業　具体的施策事業評価・目的意識評価シート（参考）

事業No.	43
施策体系	6　市民が学び合う生涯学習社会の進展
推進施策	(3) 市民・地域活動への支援
主な取り組み	⑥ 市民が学習成果を社会に還元する取組を行えるよう、機会の提供やコーディネートに努めます。
担当課	生涯学習課 （中央公民館）
事業名	子どもの遊び場
事業内容	土曜日の午前中を、子どもの遊び場として公民館の一室を子どもに開放し、さまざまな遊びや学習の体験や地域の人たちとの交流ができる場として、子どもたちがゆとりを持って過ごせる場所の提供を行っていく。
令和４年度 事業評価	子どもに折り紙、クラフト、映画鑑賞、木工作の体験の場を提供し、世代間交流をすることができた。新型コロナウイルス感染症対策から始めた予約優先制が定着し、以前よりも参加者が増えている。
令和４年度 目的意識評価	B A=　意識して目標設定し目標を達成できた B=　意識して目標設定し取り組めた C=　意識して目標設定できなかった D=　中止等により実施無し
令和５年度 課題と目標	長年講師を依頼している団体のなかには、高齢化等により活動が難しくなっている団体もあるため、今後の実施手法について検討が必要である。
生涯学習審議会 委員意見	**特になし**

令和５年度　生涯学習関連事業　具体的施策事業評価シート

事業No.	43
施策体系	6　市民が学び合う生涯学習社会の進展
推進施策	(3) 市民・地域活動への支援
主な取り組み	⑥ 市民が学習成果を社会に還元する取組を行えるよう、機会の提供やコーディネートに努めます。
担当課	生涯学習課 （中央公民館）
事業名	子どもの遊び場
事業内容	土曜日の午前中を、子どもの遊び場として公民館の一室を子どもに開放し、さまざまな遊びや学習の体験や地域の人たちとの交流ができる場として、子どもたちがゆとりを持って過ごせる場所の提供を行っていく。
令和５年度 事業予算額	24,500円
令和５年度 事業目標	折り紙、クラフト、映画鑑賞、木工作などのテーマで年間12回実施する。 数値目標：参加者279人
令和５年度 事業実績	折り紙、クラフト、映画鑑賞、木工作などのテーマで年間12回実施できた。 数値実績：参加者222人
令和５年度 事業評価	B A=　事業目標を十分に達成した B=　事業目標を概ね達成した C=　事業目標の達成に向けて内容の見直しが必要 D=　事業目標の達成に向けて事業自体の見直しが必要
令和５年度 評価理由	新型コロナウイルス感染症対策から始めた予約優先制が定着し、以前よりも参加者が増え、目標の8割程度の参加者があるため。（令和4年度188人→令和5年度222人）
令和６年度 課題と目標	長年講師を依頼している団体のなかには、高齢化等により活動が難しくなっている団体もあるため、講座の運営に工夫が必要である。

令和４年度　生涯学習関連事業　具体的施策事業評価・目的意識評価シート（参考）

事業No.	44
施策体系	6　市民が学び合う生涯学習社会の進展
推進施策	(3)　市民・地域活動への支援
主な取り組み	⑥　市民が学習成果を社会に還元する取組を行えるよう、機会の提供やコーディネートに努めます。
担当課	生涯学習課 （広野公民館）
事業名	子ども教室（科学の教室）
事業内容	子どもたちに色々な生活体験、自然体験、文化・スポーツ活動などを行い、心豊かな人間性を育む事業を実施する。
令和４年度 事業評価	科学の教室を実施した。ほとんどの子どもが不思議な現象に目を輝かせており、低学年の子どもに付き添う保護者も興味深く参加していた。
令和４年度 目的意識評価	B A=　意識して目標設定し目標を達成できた B=　意識して目標設定し取り組めた C=　意識して目標設定できなかった D=　中止等により実施無し
令和５年度 課題と目標	簡単な実験工作では時間を持て余すため、指導者との事前調整が必要である。
生涯学習審議会 委員意見	**特になし**

令和５年度　生涯学習関連事業　具体的施策事業評価シート

事業No.	44
施策体系	6　市民が学び合う生涯学習社会の進展
推進施策	(3)　市民・地域活動への支援
主な取り組み	⑥　市民が学習成果を社会に還元する取組を行えるよう、機会の提供やコーディネートに努めます。
担当課	生涯学習課 （広野公民館）
事業名	子ども教室（科学の教室）
事業内容	子どもたちに色々な生活体験、自然体験、文化・スポーツ活動などを行い、心豊かな人間性を育む事業を実施する。
令和５年度 事業予算額	23,848円
令和５年度 事業目標	科学の教室を年間4回実施する。 数値目標：参加者80人
令和５年度 事業実績	科学の教室を年間3回実施した。1回講師都合により中止となった。 数値実績：参加者28人
令和５年度 事業評価	C A=　事業目標を十分に達成した B=　事業目標を概ね達成した C=　事業目標の達成に向けて内容の見直しが必要 D=　事業目標の達成に向けて事業自体の見直しが必要
令和５年度 評価理由	参加者は不思議な出来事にわくわくし、実験等が成功したときは大きな達成感を得て満足しており、保護者も興味をもって参加しているが、この体験をより多くの参加者にしてもらえるよう工夫が必要であるため。
令和６年度 課題と目標	あらゆる広報手段を使用して事業をPRする。

令和４年度　生涯学習関連事業　具体的施策事業評価・目的意識評価シート（参考）

事業No.	45
施策体系	6　市民が学び合う生涯学習社会の進展
推進施策	(3)　市民・地域活動への支援
主な取り組み	⑥　市民が学習成果を社会に還元する取組を行えるよう、機会の提供やコーディネートに努めます。
担当課	生涯学習センター
事業名	ロビー展示・ミニ講習会
事業内容	ロビー開放や市民ミニギャラリー活用事業を通して、様々な市民団体が作品や活動などを市民に向けて発信する。
令和４年度 事業評価	令和3年度の展示団体数、展示日数を上回る実績があった。新型コロナウイルス感染症蔓延に伴う全市的な公共施設の休館期間がなくなったこと等が原因と考えられる。
令和４年度 目的意識評価	B A=　意識して目標設定し目標を達成できた B=　意識して目標設定し取り組めた C=　意識して目標設定できなかった D=　中止等により実施無し
令和５年度 課題と目標	展示団体数、来場者数、展示団体と来場者の交流機会の増加に向け、広報を工夫する。
生涯学習審議会 委員意見	**特になし**

令和５年度　生涯学習関連事業　具体的施策事業評価シート

事業No.	45
施策体系	6　市民が学び合う生涯学習社会の進展
推進施策	(3)　市民・地域活動への支援
主な取り組み	⑥　市民が学習成果を社会に還元する取組を行えるよう、機会の提供やコーディネートに努めます。
担当課	生涯学習センター
事業名	ロビー展示・ミニ講習会
事業内容	生涯学習センターのロビーを市民の展示ブースとして活用してもらう。展示希望者は展示の他、毎月1組限定で講習会の実施もできる。
令和５年度 事業予算額	8,500円
令和５年度 事業目標	一般の来館者がロビーを快適に利用できるよう、展示・講習会の運用について見直し、展示希望者に対して積極的に周知を行う。
令和５年度 事業実績	申込に関する書類や出展方法の案内を刷新できた。展示希望者からも理解を得ることができた。
令和５年度 事業評価	A A=　事業目標を十分に達成した B=　事業目標を概ね達成した C=　事業目標の達成に向けて内容の見直しが必要 D=　事業目標の達成に向けて事業自体の見直しが必要
令和５年度 評価理由	刷新後の資料では、見やすいよう図や写真を取り入れた。展示希望者への声掛けも積極的に行った。
令和６年度 課題と目標	今後も快適なロビーづくりができるよう、展示機会を創出していく。

令和４年度　生涯学習関連事業　具体的施策事業評価・目的意識評価シート（参考）

事業No.	46
施策体系	6　市民が学び合う生涯学習社会の進展
推進施策	(3) 市民・地域活動への支援
主な取り組み	⑥ 市民が学習成果を社会に還元する取組を行えるよう、機会の提供やコーディネートに努めます。
担当課	生涯学習課 （宇治公民館）
事業名	トマトケチャップづくり講習会
事業内容	市民団体が企画運営して、生活習慣病予防のため、健康的な食生活を考え、有用な健康食づくりを普及する。
令和４年度 事業評価	大変好評で、受付初日で申込者数が募集人数に達した。講座自体の満足度も高かった。
令和４年度 目的意識評価	B A=　意識して目標設定し目標を達成できた B=　意識して目標設定し取り組めた C=　意識して目標設定できなかった D=　中止等により実施無し
令和５年度 課題と目標	次年度に向け、募集人数を増やす方向で検討する。
生涯学習審議会 委員意見	**特になし**

令和５年度　生涯学習関連事業　具体的施策事業評価シート

事業No.	46
施策体系	6　市民が学び合う生涯学習社会の進展
推進施策	(3) 市民・地域活動への支援
主な取り組み	⑥ 市民が学習成果を社会に還元する取組を行えるよう、機会の提供やコーディネートに努めます。
担当課	生涯学習課 （宇治公民館）
事業名	トマトケチャップづくり講習会
事業内容	市民団体が企画運営して、生活習慣病予防のため、健康的な食生活を考え、有用な健康食づくりを普及する。
令和５年度 事業予算額	5,000円
令和５年度 事業目標	トマトケチャップづくり講習会を1回実施する。 数値目標：参加者10人
令和５年度 事業実績	トマトケチャップづくり講習会を1回実施することができた。 数値実績：参加者8人
令和５年度 事業評価	B A=　事業目標を十分に達成した B=　事業目標を概ね達成した C=　事業目標の達成に向けて内容の見直しが必要 D=　事業目標の達成に向けて事業自体の見直しが必要
令和５年度 評価理由	キャンセル者が出たが、参加者にとっては美味しく新鮮なトマトケチャップの作り方を学べ、満足度の高い事業となっているため。
令和６年度 課題と目標	リピーター以外の人にも参加してもらえるよう、選考方法を先着ではなく抽選にしたり、定員を増やしたり、実施方法を工夫する。

令和４年度　生涯学習関連事業　具体的施策事業評価・目的意識評価シート（参考）

事業No.	47
施策体系	6　市民が学び合う生涯学習社会の進展
推進施策	(3)　市民・地域活動への支援
主な取り組み	⑥　市民が学習成果を社会に還元する取組を行えるよう、機会の提供やコーディネートに努めます。
担当課	生涯学習課 （宇治公民館）
事業名	味噌づくり講習会
事業内容	市民団体が企画運営して、生活習慣病予防のため、健康的な食生活を考え、有用な健康食づくりを普及する。
令和４年度 事業評価	大変好評で、受付初日で申込者数が募集人数に達した。講座自体の満足度も高かった。
令和４年度 目的意識評価	B A=　意識して目標設定し目標を達成できた B=　意識して目標設定し取り組めた C=　意識して目標設定できなかった D=　中止等により実施無し
令和５年度 課題と目標	参加者にリピーターが多いため、令和5年度は、初めて味噌づくりを学びたい人に受講してもらえるよう工夫し、募集人数を増やす方向で検討する。
生涯学習審議会 委員意見	**特になし**

令和５年度　生涯学習関連事業　具体的施策事業評価シート

事業No.	47
施策体系	6　市民が学び合う生涯学習社会の進展
推進施策	(3)　市民・地域活動への支援
主な取り組み	⑥　市民が学習成果を社会に還元する取組を行えるよう、機会の提供やコーディネートに努めます。
担当課	生涯学習課 （宇治公民館）
事業名	味噌づくり講習会
事業内容	市民団体が企画運営して、生活習慣病予防のため、健康的な食生活を考え、有用な健康食づくりを普及する。
令和５年度 事業予算額	10,000円
令和５年度 事業目標	味噌づくり講習会を2回実施する。 数値目標：参加者32人
令和５年度 事業実績	味噌づくり講習会を2回実施できた。新規の参加者が半数を超えた。 数値実績：参加者30人
令和５年度 事業評価	A A=　事業目標を十分に達成した B=　事業目標を概ね達成した C=　事業目標の達成に向けて内容の見直しが必要 D=　事業目標の達成に向けて事業自体の見直しが必要
令和５年度 評価理由	リピーター以外の人にも参加してもらえるよう、選考方法を先着ではなく抽選にしたり、定員を増やしたり、実施方法を工夫して実施し、ほぼ目標どおりの人数の参加者に味噌づくりに取り組んでもらえたため。
令和６年度 課題と目標	令和5年度の実施手法にならって実施し、スムーズな運営に努める。

令和４年度　生涯学習関連事業　具体的施策事業評価・目的意識評価シート（参考）

事業No.	48
施策体系	6　市民が学び合う生涯学習社会の進展
推進施策	(3) 市民・地域活動への支援
主な取り組み	⑦　障害のある人の社会参加を目指した学習活動を推進します。
担当課	生涯学習課
事業名	障害者教室
事業内容	「宇治市障害者福祉基本計画」の趣旨を踏まえ、障害者の自立と社会参加を促進するため、学習機会の提供と仲間づくりを目的として、障害者関係団体及びボランティアと連携しながら、障害の種別に応じた障害者教室を開催する。
令和４年度 事業評価	新型コロナウイルス感染症予防のため、障害の種別によって中止した事業もあるが、対策を取って府外への社会見学を再開することができた。また、障害がある人・ない人が共に学ぶ講座を設け、共生社会の形成に向けて市民の共通理解を進める機会を創出できた。
令和４年度 目的意識評価	B A=　意識して目標設定し目標を達成できた B=　意識して目標設定し取り組めた C=　意識して目標設定できなかった D=　中止等により実施無し
令和５年度 課題と目標	共生社会の形成に向けて、インクルーシブな学びの機会の提供に努めているが、障害のない人の参加が少ないことが課題である。引き続き、障害の有無に関わらず多様な方に参加してもらえるよう事業内容の検討や広報の工夫を行わっていく。
生涯学習審議会 委員意見	**特になし**

令和５年度　生涯学習関連事業　具体的施策事業評価シート

事業No.	48
施策体系	6　市民が学び合う生涯学習社会の進展
推進施策	(3) 市民・地域活動への支援
主な取り組み	⑦　障害のある人の社会参加を目指した学習活動を推進します。
担当課	生涯学習課
事業名	障害者教室
事業内容	「宇治市障害者福祉基本計画」の趣旨を踏まえ、障害者の自立と社会参加を促進するため、学習機会の提供と仲間づくりを目的として、障害者関係団体及びボランティアと連携しながら、障害の種別に応じた障害者教室を開催する。
令和５年度 事業予算額	118,000円
令和５年度 事業目標	新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴い、中止していた事業も感染対策を講じながら再開する。障害がある人・ない人が共に学ぶ講座を設け、共生社会の形成に向けて市民の共通理解を進める機会を創出する。
令和５年度 事業実績	心身障害者教室　やまぶき学級：74人 身体障害者教室　社会見学：27人 合同講座（一般含む）：33人
令和５年度 事業評価	B A=　事業目標を十分に達成した B=　事業目標を概ね達成した C=　事業目標の達成に向けて内容の見直しが必要 D=　事業目標の達成に向けて事業自体の見直しが必要
令和５年度 評価理由	新型コロナウイルス感染症の影響で中止が続いていたやまぶき学級を4年ぶりに再開することができた。感染対策のため一部広報を限定した事業もあったが、概ねコロナ前と同様に教室を開催し、障害がある人・ない人が共に学ぶ機会を創出できた。
令和６年度 課題と目標	障害のない人の参加が少ない事が課題である。障害の有無にかかわらず多様な方に参加してもらえるよう事業内容や広報手段を工夫し、共生社会の形成に向けて、インクルーシブな学びの機会の提供に努める。

令和４年度　生涯学習関連事業　具体的施策事業評価・目的意識評価シート（参考）

事業No.	49
施策体系	6　市民が学び合う生涯学習社会の進展
推進施策	(3) 市民・地域活動への支援
主な取り組み	⑦　障害のある人の社会参加を目指した学習活動を推進します。
担当課	文化スポーツ課
事業名	障害者スポーツ大会
事業内容	市内の障害者が一堂に会し、障害者のみでなくボランティアを含めパン食い競走や魚釣り競走など各種競技種目を通して体力の増進を図るとともに関係者間の交流を図り、社会福祉を推進することを目的に開催する。
令和４年度 事業評価	大会そのものは中止となったものの、団体ごとのスポーツ・レクリエーションイベントの実施をサポートすることで、運動・スポーツ実施の機会、交流の場の提供を図った。
令和４年度 目的意識評価	B A=　意識して目標設定し目標を達成できた B=　意識して目標設定し取り組めた C=　意識して目標設定できなかった D=　中止等により実施無し
令和５年度 課題と目標	感染症対策含め、内容の充実を図り、安心安全に参加できる大会となるよう、検討を重ねる必要がある。
生涯学習審議会 委員意見	**特になし**

令和５年度　生涯学習関連事業　具体的施策事業評価シート

事業No.	49
施策体系	6　市民が学び合う生涯学習社会の進展
推進施策	(3) 市民・地域活動への支援
主な取り組み	⑦　障害のある人の社会参加を目指した学習活動を推進します。
担当課	文化スポーツ課
事業名	障害者スポーツ大会
事業内容	市内の障害者が一堂に会し、障害者のみでなくボランティアを含めスクエアボッチャやドッヂビー投げなど各種競技種目を通して体力の増進を図るとともに関係者間の交流を図り、社会福祉を推進することを目的に開催する。
令和５年度 事業予算額	339,205円
令和５年度 事業目標	新型コロナウイルス感染症の影響により、3年間の中止を余儀なくされたが、4年ぶりに本大会を開催する。
令和５年度 事業実績	宇治市の障害者が一堂に会し、ボランティアなどと共に、各競技種目を実施した。 ※　参加者・ボランティア等　221名
令和５年度 事業評価	B A=　事業目標を十分に達成した B=　事業目標を概ね達成した C=　事業目標の達成に向けて内容の見直しが必要 D=　事業目標の達成に向けて事業自体の見直しが必要
令和５年度 評価理由	新型コロナウイルス感染症の影響により、3年間の中止を余儀なくされたが、4年ぶりに「障害者スポーツフェスタ」として開催できたため。
令和６年度 課題と目標	新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行され、今後、参加人数が従前と同程度（約600名）に戻る可能性がある中、障害のある方にとっては感染症を罹患した際のリスクが大きいため、引き続き感染症対策を講じ、参加人数に応じて会場や内容を検討する必要がある。

令和４年度　生涯学習関連事業　具体的施策事業評価・目的意識評価シート（参考）

事業No.	50
施策体系	6　市民が学び合う生涯学習社会の進展
推進施策	(3) 市民・地域活動への支援
主な取り組み	⑧ 地域における豊かな学びを推進するため、多様な主体が協働し、共に学び合えるよう努めます。
担当課	人権啓発課 （コミュニティワークうじ館）
事業名	善法文化祭開催事業
事業内容	地域活動の場である「善法文化祭」の開催を通して、市民の相互交流を促進するとともに、部落差別（同和問題）をはじめさまざまな人権問題に対する市民の理解を深める。
令和４年度 事業評価	感染症対策を行い、規模を縮小して開催。地域活動を一層促進し、主に部落差別(同和問題)をはじめ、さまざまな人権問題に対する相互理解を深めることができた。
令和４年度 目的意識評価	B A=　意識して目標設定し目標を達成できた B=　意識して目標設定し取り組めた C=　意識して目標設定できなかった D=　中止等により実施無し
令和５年度 課題と目標	地域活動を一層促進し、主に部落差別(同和問題)をはじめ、さまざまな人権問題に対する相互理解を深めることに努めてきており、今後も地域との協働のもと、活発な住民交流を促進し、人権が尊重されるまちづくりの取り組みを推進する。
生涯学習審議会 委員意見	**特になし**

令和５年度　生涯学習関連事業　具体的施策事業評価シート

事業No.	50
施策体系	6　市民が学び合う生涯学習社会の進展
推進施策	(3) 市民・地域活動への支援
主な取り組み	⑧ 地域における豊かな学びを推進するため、多様な主体が協働し、共に学び合えるよう努めます。
担当課	人権啓発課 （コミュニティワークうじ館）
事業名	善法文化祭開催事業
事業内容	地域活動の場である「善法文化祭」の開催を通して、市民の相互交流を促進するとともに、部落差別（同和問題）をはじめさまざまな人権問題に対する市民の理解を深める。
令和５年度 事業予算額	676,713円
令和５年度 事業目標	［善法文化祭］参加者数：400人
令和５年度 事業実績	［善法文化祭］参加者数：200人（3月23日開催）
令和５年度 事業評価	B A=　事業目標を十分に達成した B=　事業目標を概ね達成した C=　事業目標の達成に向けて内容の見直しが必要 D=　事業目標の達成に向けて事業自体の見直しが必要
令和５年度 評価理由	感染症対策を行い、規模を縮小して開催。地域活動を一層促進し、主に同和問題をはじめ、さまざまな人権問題に対する相互理解を深めることができた。
令和６年度 課題と目標	地域活動を一層促進し、主に部落差別(同和問題)をはじめ、さまざまな人権問題に対する相互理解を深めることに努めてきており、今後も地域との協働のもと、活発な住民交流を促進し、人権が尊重されるまちづくりの取り組みを推進する。

令和４年度　生涯学習関連事業　具体的施策事業評価・目的意識評価シート（参考）

事業No.	51
施策体系	6　市民が学び合う生涯学習社会の進展
推進施策	(3) 市民・地域活動への支援
主な取り組み	⑧ 地域における豊かな学びを推進するため、多様な主体が協働し、共に学び合えるよう努めます。
担当課	人権啓発課 （コミュニティワークうじ館）
事業名	まちづくり推進事業
事業内容	地域活動の場である「善法人権フェスタ」「防災フェスタ」の開催を通して、市民交流と地域活動を促進するとともに、部落差別（同和問題）をはじめさまざまな人権問題に対する市民の理解を深める。
令和４年度 事業評価	「防災フェスタ」については感染症拡大防止のため中止したが、「善法人権フェスタ」については、感染症対策を行い、規模を縮小して開催。地域活動を一層促進し、主に部落差別(同和問題)をはじめ、さまざまな人権問題に対する相互理解を深めることができた。
令和４年度 目的意識評価	B A=　意識して目標設定し目標を達成できた B=　意識して目標設定し取り組めた C=　意識して目標設定できなかった D=　中止等により実施無し
令和５年度 課題と目標	地域活動を一層促進し、主に部落差別(同和問題)をはじめ、さまざまな人権問題に対する相互理解を深めることに努めてきており、今後も地域との協働のもと、活発な住民交流を促進し、人権が尊重されるまちづくりの取り組みを推進する。
生涯学習審議会 委員意見	**特になし**

令和５年度　生涯学習関連事業　具体的施策事業評価シート

事業No.	51
施策体系	6　市民が学び合う生涯学習社会の進展
推進施策	(3) 市民・地域活動への支援
主な取り組み	⑧ 地域における豊かな学びを推進するため、多様な主体が協働し、共に学び合えるよう努めます。
担当課	人権啓発課 （コミュニティワークうじ館）
事業名	まちづくり推進事業
事業内容	地域活動の場である「善法人権フェスタ」「防災フェスタ」の開催を通して、市民交流と地域活動を促進するとともに、部落差別（同和問題）をはじめさまざまな人権問題に対する市民の理解を深める。
令和５年度 事業予算額	1,347,380円
令和５年度 事業目標	［善法人権フェスタ］参加者数：400人 ［防災フェスタ］参加者数：30人
令和５年度 事業実績	［善法人権フェスタ］参加者数：200人（9月30日開催）
令和５年度 事業評価	B A=　事業目標を十分に達成した B=　事業目標を概ね達成した C=　事業目標の達成に向けて内容の見直しが必要 D=　事業目標の達成に向けて事業自体の見直しが必要
令和５年度 評価理由	「防災フェスタ」については感染症拡大防止のため中止したが、「善法人権フェスタ」については、感染症対策を行い、規模を縮小して開催。地域活動を活性化させるとともに、市民ひとりひとりが「人権」について考えることを発信できる取り組みとなった。
令和６年度 課題と目標	地域活動を一層促進し、主に部落差別(同和問題)をはじめ、さまざまな人権問題に対する相互理解を深めることに努めてきており、今後も地域との協働のもと、活発な住民交流を促進し、人権が尊重されるまちづくりの取り組みを推進する。

令和４年度　生涯学習関連事業　具体的施策事業評価・目的意識評価シート（参考）

事業No.	52
施策体系	6　市民が学び合う生涯学習社会の進展
推進施策	(3)　市民・地域活動への支援
主な取り組み	⑧　地域における豊かな学びを推進するため、多様な主体が協働し、共に学び合えるよう努めます。
担当課	市民協働推進課
事業名	地域コミュニティ活動支援事業
事業内容	「共助」・「協働」による地域づくりに向けて、地域コミュニティの活性化を図ることを目的に、地域コミュニティの活性化及び地域課題の解決に向けた活動を支援する。
令和４年度 事業評価	地域コミュニティ活性化及び地域課題の解決に向け、地域コミュニティ活性化事業補助金及び集会所地域移行支援補助金を交付するとともに、中宇治エリアにおける新たなコミュニティの交流空間促進に向けて支援した。
令和４年度 目的意識評価	A A=　意識して目標設定し目標を達成できた B=　意識して目標設定し取り組めた C=　意識して目標設定できなかった D=　中止等により実施無し
令和５年度 課題と目標	協働によるまちづくりに向け、様々な主体が協力しあえる土壌づくりとなるような意見交換を重ねながら補助・支援に取り組む。
生涯学習審議会 委員意見	**特になし**

令和５年度　生涯学習関連事業　具体的施策事業評価シート

事業No.	52
施策体系	6　市民が学び合う生涯学習社会の進展
推進施策	(3)　市民・地域活動への支援
主な取り組み	⑧　地域における豊かな学びを推進するため、多様な主体が協働し、共に学び合えるよう努めます。
担当課	市民協働推進課
事業名	地域コミュニティ活動支援事業
事業内容	「共助」・「協働」による地域づくりに向けて、地域コミュニティの活性化を図ることを目的に、地域コミュニティの活性化及び地域課題の解決に向けた活動を支援する。
令和５年度 事業予算額	21,000,000円
令和５年度 事業目標	協働によるまちづくりに向け、様々な主体が協力しあえる土壌づくりとなるような意見交換を重ねながら補助・支援に取り組む。
令和５年度 事業実績	地域コミュニティ活性化及び地域課題の解決に向け、地域コミュニティ活性化事業補助金及び集会所地域移行支援補助金を交付するとともに、中宇治エリアにおける新たなコミュニティの交流空間促進に向けた支援に加えて、小倉エリア及び木幡・黄檗エリアにおける新たなコミュニティの交流空間創出に向けて支援した。□
令和５年度 事業評価	A A=　事業目標を十分に達成した B=　事業目標を概ね達成した C=　事業目標の達成に向けて内容の見直しが必要 D=　事業目標の達成に向けて事業自体の見直しが必要
令和５年度 評価理由	補助金の交付等支援により、地域のつながりの促進に寄与することができた。
令和６年度 課題と目標	協働によるまちづくりに向け、様々な主体が協力しあえる土壌づくりとなるような意見交換を重ねながら補助・支援に取り組む。

令和４年度　生涯学習関連事業　具体的施策事業評価・目的意識評価シート（参考）

事業No.	53
施策体系	6　市民が学び合う生涯学習社会の進展
推進施策	(3) 市民・地域活動への支援
主な取り組み	⑧　地域における豊かな学びを推進するため、多様な主体が協働し、共に学び合えるよう努めます。
担当課	農林茶業課
事業名	全国お茶まつり
事業内容	全国お茶まつりが９年ぶりに宇治市で開催される。11月19・20日に開催されるイベント等を通じてお茶に関する理解を深めてもらう。
令和４年度 事業評価	京都府をはじめ多くの茶業関係団体が結集し開催した宇治茶の魅力発信イベントでは約2万人の来場するなど、宇治茶の郷である宇治市から宇治茶の魅力を広く発信することができた。また、全国茶品評会においても、産地賞を受賞し、地元宇治から、高品質な市内産宇治茶の名声を全国に示すことができた。
令和４年度 目的意識評価	A A=　意識して目標設定し目標を達成できた B=　意識して目標設定し取り組めた C=　意識して目標設定できなかった D=　中止等により実施無し
令和５年度 課題と目標	単年度の事業 全国お茶まつりは主要茶産地の持ち回りで開催される。
生涯学習審議会 委員意見	**特になし**

令和５年度　生涯学習関連事業　具体的施策事業評価シート

事業No.	53
施策体系	6　市民が学び合う生涯学習社会の進展
推進施策	(3) 市民・地域活動への支援
主な取り組み	⑧　地域における豊かな学びを推進するため、多様な主体が協働し、共に学び合えるよう努めます。
担当課	農林茶業課
事業名	全国お茶まつり （R5年度は他市で開催）
事業内容	R4年度は全国お茶まつりが9年ぶりに宇治市で開催された。開催地は毎年度変わり、今年度は宇治市としての事業なし。
令和５年度 事業予算額	－
令和５年度 事業目標	－
令和５年度 事業実績	－
令和５年度 事業評価	0 A=　事業目標を十分に達成した B=　事業目標を概ね達成した C=　事業目標の達成に向けて内容の見直しが必要 D=　事業目標の達成に向けて事業自体の見直しが必要
令和５年度 評価理由	－
令和６年度 課題と目標	－

令和４年度　生涯学習関連事業　具体的施策事業評価・目的意識評価シート（参考）

事業No.	54
施策体系	6　市民が学び合う生涯学習社会の進展
推進施策	(3) 市民・地域活動への支援
主な取り組み	⑧ 地域における豊かな学びを推進するため、多様な主体が協働し、共に学び合えるよう努めます。
担当課	文化スポーツ課
事業名	各種大会等委託
事業内容	生涯スポーツの普及や、スポーツの技術向上を目的として、各種大会・講習会等（ジュニア技術講習会、生涯スポーツ育成事業、生涯スポーツ振興事業、ニュースポーツひろば）を外部団体等に委託して開催する。
令和４年度 事業評価	各種事業を実施し、市民スポーツの水準向上とスポーツ人口の拡大を図ることができた。
令和４年度 目的意識評価	B A=　意識して目標設定し目標を達成できた B=　意識して目標設定し取り組めた C=　意識して目標設定できなかった D=　中止等により実施無し
令和５年度 課題と目標	今後も引き続き、事業内容を精査し、より効果をあげられるよう努める。
生涯学習審議会 委員意見	**特になし**

令和５年度　生涯学習関連事業　具体的施策事業評価シート

事業No.	54
施策体系	6　市民が学び合う生涯学習社会の進展
推進施策	(3) 市民・地域活動への支援
主な取り組み	⑧ 地域における豊かな学びを推進するため、多様な主体が協働し、共に学び合えるよう努めます。
担当課	文化スポーツ課
事業名	各種大会等委託
事業内容	生涯スポーツの普及や、スポーツの技術向上を目的として、各種大会・講習会等（ジュニア技術講習会、生涯スポーツ育成事業、生涯スポーツ振興事業、ニュースポーツひろば）を外部団体等に委託して開催する。
令和５年度 事業予算額	2,695,000円
令和５年度 事業目標	各種事業を実施し、市民スポーツの水準向上とスポーツ人口の拡大を図る
令和５年度 事業実績	ジュニア技術講習会　272人 生涯スポーツ育成事業　3,459人 地域生涯スポーツ育成事業　4,907人 ニュースポーツひろば（体振）　1,327人
令和５年度 事業評価	B A=　事業目標を十分に達成した B=　事業目標を概ね達成した C=　事業目標の達成に向けて内容の見直しが必要 D=　事業目標の達成に向けて事業自体の見直しが必要
令和５年度 評価理由	各種事業を実施し、市民スポーツの水準向上とスポーツ人口の拡大を図ることができた。
令和６年度 課題と目標	今後も引き続き、事業内容を精査し、より効果をあげられるよう努める。

令和４年度　生涯学習関連事業　具体的施策事業評価・目的意識評価シート（参考）

事業No.	55
施策体系	6　市民が学び合う生涯学習社会の進展
推進施策	(3) 市民・地域活動への支援
主な取り組み	⑧ 地域における豊かな学びを推進するため、多様な主体が協働し、共に学び合えるよう努めます。
担当課	文化スポーツ課
事業名	宇治十帖スタンプラリー
事業内容	「源氏ろまん」の一環として、10月から11月にかけて、宇治十帖の古跡等を巡るスタンプラリーを開催し、「源氏物語のまち」を印象付ける。
令和４年度 事業評価	『源氏物語』をテーマとするイベントの開催により地域の文化資源に触れる機会の充実を促し、「源氏物語のまちづくり」の定着を図ることができた。
令和４年度 目的意識評価	B A=　意識して目標設定し目標を達成できた B=　意識して目標設定し取り組めた C=　意識して目標設定できなかった D=　中止等により実施無し
令和５年度 課題と目標	「源氏物語のまち」としての宇治の魅力を、より多くの方々へPRすることを目指すため、参加者数増加に向けた事業実施方法の検討が必要。令和5年度は大河ドラマ「光る君へ」PRを含めた事業を検討している。
生涯学習審議会 委員意見	**宇治市の魅力が伝わる機会やふるさと納税のきっかけとなるような方向性で取り組んでほしい。**

令和５年度　生涯学習関連事業　具体的施策事業評価シート

事業No.	55
施策体系	6　市民が学び合う生涯学習社会の進展
推進施策	(3) 市民・地域活動への支援
主な取り組み	⑧ 地域における豊かな学びを推進するため、多様な主体が協働し、共に学び合えるよう努めます。
担当課	観光振興課
事業名	宇治十帖スタンプラリー
事業内容	「源氏ろまん」の一環として、10月から11月にかけて、宇治十帖の古跡等を巡るスタンプラリーを開催し、「源氏物語のまち」を印象付ける。
令和５年度 事業予算額	8,673,000円
令和５年度 事業目標	踏破者数の増加
令和５年度 事業実績	踏破者数　7,973人（スマートフォン5,434人、ウォーキングマップ2,539人）
令和５年度 事業評価	B A=　事業目標を十分に達成した B=　事業目標を概ね達成した C=　事業目標の達成に向けて内容の見直しが必要 D=　事業目標の達成に向けて事業自体の見直しが必要
令和５年度 評価理由	令和4年度の踏破者数5480人（スマートフォン3,669人、ウォーキングマップ1,811人）から大きく数を伸ばしたため。 地域の商店街で利用できる共通利用券や宇治市内での体験チケットを賞品に取り入れたことが理由の1つと考えられる。
令和６年度 課題と目標	大河ドラマ「光る君へ」の放送を契機に「源氏物語のまち」や「紫式部ゆかりのまち」としての宇治の魅力をＰＲし、更なる踏破者数の増加を目指す。

令和４年度　生涯学習関連事業　具体的施策事業評価・目的意識評価シート（参考）

事業No.	56
施策体系	6　市民が学び合う生涯学習社会の進展
推進施策	(3) 市民・地域活動への支援
主な取り組み	⑧　地域における豊かな学びを推進するため、多様な主体が協働し、共に学び合えるよう努めます。
担当課	文化スポーツ課
事業名	京都サンガF.C.との協働
事業内容	京都サンガF.C.のホームタウンとして、宇治市ホームタウンデー、小学校でのサッカー教室等地域活性化を目指した事業を実施。
令和４年度 事業評価	新型コロナウイルス感染症対策を講じ、ホームタウンデーを開催し、市民へのスポーツ振興に貢献できた。
令和４年度 目的意識評価	A A=　意識して目標設定し目標を達成できた B=　意識して目標設定し取り組めた C=　意識して目標設定できなかった D=　中止等により実施無し
令和５年度 課題と目標	本市をホームタウンとするプロスポーツチームと協働することにより、スポーツ気運を醸成する。
生涯学習審議会 委員意見	**特になし**

令和５年度　生涯学習関連事業　具体的施策事業評価シート

事業No.	56
施策体系	6　市民が学び合う生涯学習社会の進展
推進施策	(3) 市民・地域活動への支援
主な取り組み	⑧　地域における豊かな学びを推進するため、多様な主体が協働し、共に学び合えるよう努めます。
担当課	文化スポーツ課
事業名	京都サンガF.C.との協働
事業内容	京都サンガF.C.のホームタウンとして、宇治市ホームタウンデー、小学校でのサッカー教室等地域活性化を目指した事業を実施。
令和５年度 事業予算額	0円
令和５年度 事業目標	京都サンガF.C.を含む、本市をホームタウンとするプロスポーツチームと協働することにより、スポーツ気運を醸成する。
令和５年度 事業実績	8月19日（土）に京都サンガF.C.宇治市ホームタウンデーを開催した。
令和５年度 事業評価	A A=　事業目標を十分に達成した B=　事業目標を概ね達成した C=　事業目標の達成に向けて内容の見直しが必要 D=　事業目標の達成に向けて事業自体の見直しが必要
令和５年度 評価理由	京都サンガF.C.宇治市ホームタウンデーの開催等を通じ、市民へのスポーツ振興に貢献できた。
令和６年度 課題と目標	京都サンガF.C.を含む、本市をホームタウンとするプロスポーツチームと協働することにより、スポーツ気運を醸成する。

令和４年度　生涯学習関連事業　具体的施策事業評価・目的意識評価シート（参考）

事業No.	57
施策体系	6　市民が学び合う生涯学習社会の進展
推進施策	(3) 市民・地域活動への支援
主な取り組み	⑧ 地域における豊かな学びを推進するため、多様な主体が協働し、共に学び合えるよう努めます。
担当課	健康づくり推進課
事業名	健康づくり・食育アライアンスU-CHA　イベント
事業内容	健康づくり・食育推進計画の基本理念「こんにちはと笑顔で健やか宇治のまち」を目指し、「健康寿命の延伸」「こころ豊かに暮らせるまちづくり」の基本方針のもと、市民の健康行動変容のきっかけづくりを行う。
令和４年度 事業評価	内容をより充実させるため、会場を生涯学習センター及び産業会館に変更し、感染対策を実施しながら健康づくり・食育をテーマにしたイベントを開催した。想定以上の市民に参加してもらうことができた。参加者数：1365
令和４年度 目的意識評価	A A=　意識して目標設定し目標を達成できた B=　意識して目標設定し取り組めた C=　意識して目標設定できなかった D=　中止等により実施無し
令和５年度 課題と目標	12月17日（日）に生涯学習センター及び産業会館で健康づくり・食育をテーマにしたイベントを開催予定。数値目標：参加者数750
生涯学習審議会 委員意見	**特になし**

令和５年度　生涯学習関連事業　具体的施策事業評価シート

事業No.	57
施策体系	6　市民が学び合う生涯学習社会の進展
推進施策	(3) 市民・地域活動への支援
主な取り組み	⑧ 地域における豊かな学びを推進するため、多様な主体が協働し、共に学び合えるよう努めます。
担当課	健康づくり推進課
事業名	健康づくり・食育アライアンスU-CHA　イベント
事業内容	健康づくり・食育推進計画の基本理念「こんにちはと笑顔で健やか宇治のまち」を目指し、「健康寿命の延伸」「こころ豊かに暮らせるまちづくり」の基本方針のもと、市民の健康行動変容のきっかけづくりを行う。
令和５年度 事業予算額	4,000,000円
令和５年度 事業目標	12月17日（日）に生涯学習センター及び産業会館で健康づくり・食育をテーマにしたイベントを開催し、市民への「健康づくり・食育の増進」をはかる。数値目標：参加者数750
令和５年度 事業実績	昨年度と同じ会場で健康づくり・食育をテーマにした体験型のイベントを開催し、約1,500人もの来場者数があった
令和５年度 事業評価	A A=　事業目標を十分に達成した B=　事業目標を概ね達成した C=　事業目標の達成に向けて内容の見直しが必要 D=　事業目標の達成に向けて事業自体の見直しが必要
令和５年度 評価理由	目標にしていた数値目標を上回る参加者数となったため
令和６年度 課題と目標	12月22日（日）に生涯学習センター及び産業会館で健康づくり・食育をテーマにした体験型のイベントを開催し、市民への「健康づくり・食育の増進」をはかる。数値目標：参加者数1,000

令和４年度　生涯学習関連事業　具体的施策事業評価・目的意識評価シート（参考）

事業No.	58
施策体系	6　市民が学び合う生涯学習社会の進展
推進施策	(3)　市民・地域活動への支援
主な取り組み	⑧　地域における豊かな学びを推進するため、多様な主体が協働し、共に学び合えるよう努めます。
担当課	危機管理室
事業名	宇治市防災訓練
事業内容	地域住民の災害への初期対応能力を高めること並びに防災関係機関及び各自治会の連携強化を目的とする。
令和４年度 事業評価	「公助」として各防災関係機関の連携強化を図ることと共に、自主防災リーダーの訓練や市民参加型訓練を取り入れ「自助」「互助「共助」の強化を図ることを目的として開催した。
令和４年度 目的意識評価	A A=　意識して目標設定し目標を達成できた B=　意識して目標設定し取り組めた C=　意識して目標設定できなかった D=　中止等により実施無し
令和５年度 課題と目標	の住民を中心に、豪雨と地震による複合災害を想定し、地域住民の迅速かつ的確な災害対応の向上と防災機関との連携訓練を実施する予定。
生涯学習審議会 委員意見	**特になし**

令和５年度　生涯学習関連事業　具体的施策事業評価シート

事業No.	58
施策体系	6　市民が学び合う生涯学習社会の進展
推進施策	(3)　市民・地域活動への支援
主な取り組み	⑧　地域における豊かな学びを推進するため、多様な主体が協働し、共に学び合えるよう努めます。
担当課	危機管理室
事業名	宇治市防災訓練
事業内容	地域住民の災害への初期対応能力を高めること並びに防災関係機関及び各自治会の連携強化を目的とする。
令和５年度 事業予算額	600,000円
令和５年度 事業目標	大久保地域の住民を中心に、豪雨と地震による複合災害を想定し、地域住民の迅速かつ的確な災害対応の向上と防災機関との連携訓練を実施する予定。
令和５年度 事業実績	「公助」として各防災関係機関の連携強化を図ることと共に、自主防災リーダーの訓練や市民参加型訓練を取り入れ「自助」「互助「共助」の強化を図ることを目的として開催した。
令和５年度 事業評価	A A=　事業目標を十分に達成した B=　事業目標を概ね達成した C=　事業目標の達成に向けて内容の見直しが必要 D=　事業目標の達成に向けて事業自体の見直しが必要
令和５年度 評価理由	宇治市立大久保小学校で防災訓練を実施し、地域住民の迅速かつ的確な災害対応の向上と防災機関との連携訓練を実施することができたため。
令和６年度 課題と目標	槇島地域の住民を中心に、豪雨と地震による複合災害を想定し、地域住民の迅速かつ的確な災害対応の向上と防災機関との連携訓練を実施する予定。

令和４年度　生涯学習関連事業　具体的施策事業評価・目的意識評価シート（参考）

事業No.	59
施策体系	6　市民が学び合う生涯学習社会の進展
推進施策	(3) 市民・地域活動への支援
主な取り組み	⑧ 地域における豊かな学びを推進するため、多様な主体が協働し、共に学び合えるよう努めます。
担当課	文化スポーツ課
事業名	市民総合体育大会
事業内容	宇治市と（一財）宇治市スポーツ協会の主催にて、太陽が丘等で20以上の種目を競う。5月に総合開会式、年間を通じ各種目の大会を行う。スポーツ協会傘下の各種目協会が主管し開催する。
令和４年度 事業評価	様々な種目を通じ、参加者のスポーツ参加への意欲、競技力向上を図り、市民へのスポーツ振興に貢献できた。各種目合計7,329人の参加となった。
令和４年度 目的意識評価	B A=　意識して目標設定し目標を達成できた B=　意識して目標設定し取り組めた C=　意識して目標設定できなかった D=　中止等により実施無し
令和５年度 課題と目標	今後も、様々な種目を通じ、市民のスポーツ参加への意欲、競技力の向上を図る。
生涯学習審議会 委員意見	**特になし**

令和５年度　生涯学習関連事業　具体的施策事業評価シート

事業No.	59
施策体系	6　市民が学び合う生涯学習社会の進展
推進施策	(3) 市民・地域活動への支援
主な取り組み	⑧ 地域における豊かな学びを推進するため、多様な主体が協働し、共に学び合えるよう努めます。
担当課	文化スポーツ課
事業名	市民総合体育大会
事業内容	宇治市と（一財）宇治市スポーツ協会の主催にて、太陽が丘等で20以上の種目を競う。5月に総合開会式、年間を通じ各種目の大会を行う。スポーツ協会傘下の各種目協会が主管し開催する。
令和５年度 事業予算額	2,100,000円
令和５年度 事業目標	様々な種目を通じ、市民のスポーツ参加への意欲、競技力の向上を図る。
令和５年度 事業実績	各種目合計参加者7,683人
令和５年度 事業評価	B A=　事業目標を十分に達成した B=　事業目標を概ね達成した C=　事業目標の達成に向けて内容の見直しが必要 D=　事業目標の達成に向けて事業自体の見直しが必要
令和５年度 評価理由	様々な種目を通じ、参加者のスポーツ参加への意欲、競技力向上を図り、市民へのスポーツ振興に貢献できた。
令和６年度 課題と目標	今後も、様々な種目を通じ、市民のスポーツ参加への意欲、競技力の向上を図る。

令和４年度　生涯学習関連事業　具体的施策事業評価・目的意識評価シート（参考）

事業No.	60
施策体系	6　市民が学び合う生涯学習社会の進展
推進施策	(3)　市民・地域活動への支援
主な取り組み	⑧　地域における豊かな学びを推進するため、多様な主体が協働し、共に学び合えるよう努めます。
担当課	文化スポーツ課
事業名	宇治田楽まつり
事業内容	平安時代に宇治の白川を拠点に本座田楽というプロの集団が活躍していたと伝えられていることから、その田楽を現代に蘇らせようと市民参加の宇治田楽まつり実行委員会が中心となって開催する。
令和４年度 事業評価	２５回目を迎え、３年ぶりに有観客で開催した。地域の文化資源や市民による文化芸術活動に触れる機会の充実が図れた。
令和４年度 目的意識評価	B A=　意識して目標設定し目標を達成できた B=　意識して目標設定し取り組めた C=　意識して目標設定できなかった D=　中止等により実施無し
令和５年度 課題と目標	出演者と参加者の更なる増加を図る必要がある。
生涯学習審議会 委員意見	**特になし**

令和５年度　生涯学習関連事業　具体的施策事業評価シート

事業No.	60
施策体系	6　市民が学び合う生涯学習社会の進展
推進施策	(3)　市民・地域活動への支援
主な取り組み	⑧　地域における豊かな学びを推進するため、多様な主体が協働し、共に学び合えるよう努めます。
担当課	文化スポーツ課
事業名	宇治田楽まつり
事業内容	平安時代に宇治の白川を拠点に本座田楽というプロの集団が活動していたと伝えられていることから、その田楽を現代に蘇らせようと市民参加の宇治田楽まつり実行委員会が中心となって開催する。
令和５年度 事業予算額	3,000,000円
令和５年度 事業目標	失われた文化遺産の復活と市民文化の向上を図るとともに、宇治田楽を新たな文化遺産としての定着を図る。
令和５年度 事業実績	あいにく雨天のため文化会館大ホールでの開催となったが、900人の参加があった。
令和５年度 事業評価	A A=　事業目標を十分に達成した B=　事業目標を概ね達成した C=　事業目標の達成に向けて内容の見直しが必要 D=　事業目標の達成に向けて事業自体の見直しが必要
令和５年度 評価理由	宇治田楽を通じて、宇治の歴史や文化を再認識していただける機会となった。
令和６年度 課題と目標	伝統文化の復活はもとより、ふるさと宇治にふさわしい魅力ある市民のまつりとして創造していく。

令和４年度　生涯学習関連事業　具体的施策事業評価・目的意識評価シート（参考）

事業No.	61
施策体系	6　市民が学び合う生涯学習社会の進展
推進施策	(3) 市民・地域活動への支援
主な取り組み	⑧ 地域における豊かな学びを推進するため、多様な主体が協働し、共に学び合えるよう努めます。
担当課	男女共同参画課
事業名	ＵＪＩあさぎりフェスティバル
事業内容	幅広く市民にＵＪＩあさぎりプランの周知を図ると共に、男女共同参画社会への認識を深め、共に考え、ネットワークを広げる場として積極的な市民参画の事業として実施。内容は、テーマに沿ったイベント、参加型イベント、パネル展示、相談、パフォーマンス等。
令和４年度 事業評価	開催時期を１２月から１０月に変更して実施した。メイン企画のほかに、「ここからチャレンジマルシェ」を同時開催したり、クイズラリーを行うなどにより、これまでより多数の約１，４００人の市民の参加があった。
令和４年度 目的意識評価	A A=　意識して目標設定し目標を達成できた B=　意識して目標設定し取り組めた C=　意識して目標設定できなかった D=　中止等により実施無し
令和５年度 課題と目標	市民への周知・啓発を効果的に行い、積極的な事業実施に努める。目標参加者数：１，４００人
生涯学習審議会 委員意見	**特になし**

令和５年度　生涯学習関連事業　具体的施策事業評価シート

事業No.	61
施策体系	6　市民が学び合う生涯学習社会の進展
推進施策	(3) 市民・地域活動への支援
主な取り組み	⑧ 地域における豊かな学びを推進するため、多様な主体が協働し、共に学び合えるよう努めます。
担当課	男女共同参画課
事業名	ＵＪＩあさぎりフェスティバル
事業内容	幅広く市民にＵＪＩあさぎりプランの周知を図ると共に、男女共同参画社会への認識を深め、共に考え、ネットワークを広げる場として積極的な市民参画の事業として実施。内容はテーマに沿ったイベント、参加型イベント、パネル展示、パフォーマンス等。
令和５年度 事業予算額	200,000円
令和５年度 事業目標	市民への周知・啓発を効果的に行い、積極的な事業実施に努める。 目標参加人数：１，４００人
令和５年度 事業実績	前年に引き続き１０月の開催となったが、メイン企画の他に「ここからチャレンジ・マルシェ」を同時開催したり、クイズラリーを行うなどの工夫をしたものの、他でのイベントが重なるなどもあり、約１，０００人の参加となった。
令和５年度 事業評価	B A=　事業目標を十分に達成した B=　事業目標を概ね達成した C=　事業目標の達成に向けて内容の見直しが必要 D=　事業目標の達成に向けて事業自体の見直しが必要
令和５年度 評価理由	目標参加者数には達成しなかったものの、クイズラリーや「ここからチャレンジ・マルシェ」を開催したことにより多くの方の参加があったため。
令和６年度 課題と目標	更に市民への周知・啓発を効果的に行い、積極的な事業実施に努める。 目標参加人数：１，４００人

令和４年度　生涯学習関連事業　具体的施策事業評価・目的意識評価シート（参考）

事業No.	62
施策体系	6　市民が学び合う生涯学習社会の進展
推進施策	(3) 市民・地域活動への支援
主な取り組み	⑧ 地域における豊かな学びを推進するため、多様な主体が協働し、共に学び合えるよう努めます。
担当課	環境企画課
事業名	地球温暖化対策推進パートナーシップ会議の運営
事業内容	地球温暖化防止に向けた具体的取組の推進を目的とし、市民、事業者、市の三者が家庭での省エネに関する啓発活動などの各種事業を協働で実施する。
令和４年度 事業評価	新型コロナウイルス感染拡大により中止。縮小となる事業もあった。感染症対策を十分に講じた上で事業を実施し、参加人数の減少を最小限に抑えるよう努め、参加延べ人数目標3,000人に対し1,825人の実績となった。
令和４年度 目的意識評価	B A=　意識して目標設定し目標を達成できた B=　意識して目標設定し取り組めた C=　意識して目標設定できなかった D=　中止等により実施無し
令和５年度 課題と目標	参加延べ人数3,000人を目指して活動を行う。
生涯学習審議会 委員意見	**特になし**

令和５年度　生涯学習関連事業　具体的施策事業評価シート

事業No.	62
施策体系	6　市民が学び合う生涯学習社会の進展
推進施策	(3) 市民・地域活動への支援
主な取り組み	⑧ 地域における豊かな学びを推進するため、多様な主体が協働し、共に学び合えるよう努めます。
担当課	環境企画課
事業名	地球温暖化対策推進パートナーシップ会議の運営
事業内容	地球温暖化防止に向けた具体的取組を目的とし、市民、事業者、市の三者が家庭での省エネに関する啓発活動などの各種事業を共同で実施する。
令和５年度 事業予算額	220,000円
令和５年度 事業目標	参加延べ人数目標3,000人を目指して、環境フェスタ、家庭の省エネ相談所、緑のカーテン講習会、再エネ講演会等を実施する。
令和５年度 事業実績	環境フェスタ、家庭の省エネ相談所、緑のカーテン講習会、再エネ講演会等を実施した。参加延べ人数目標3,000人に対し2,124人の実績となった。
令和５年度 事業評価	B A=　事業目標を十分に達成した B=　事業目標を概ね達成した C=　事業目標の達成に向けて内容の見直しが必要 D=　事業目標の達成に向けて事業自体の見直しが必要
令和５年度 評価理由	計画していたイベント、活動は実施し、さらに新たな取組として市内商業施設への出張省エネ相談等を実施した。参加延べ人数は目標に達しなかったが、令和4年度から299人16%の増となっている
令和６年度 課題と目標	参加延べ人数3,000人を目指して活動を行う。

令和４年度　生涯学習関連事業　具体的施策事業評価・目的意識評価シート（参考）

事業No.	63
施策体系	6　市民が学び合う生涯学習社会の進展
推進施策	(3) 市民・地域活動への支援
主な取り組み	⑧ 地域における豊かな学びを推進するため、多様な主体が協働し、共に学び合えるよう努めます。
担当課	こども福祉課
事業名	地域子育て支援拠点事業　子育てサークル支援
事業内容	各地域子育て支援センターや地域で活動する子育てサークルに対し、交流会の開催やサークル活動に必要な専門職（保健師・栄養士・保育士等）の派遣、遊具等の貸出などを行い、子育てを支援する。
令和４年度 事業評価	子育てサークルは減少傾向にあるものの、サークル活動を支援することで子育て世帯の交流促進が図れた。 （令和4年度実績）おもちゃ等備品貸出11回、保育士・保健師派遣　　6回、サークル登録数　4（令和3年度　6）
令和４年度 目的意識評価	B A=　意識して目標設定し目標を達成できた B=　意識して目標設定し取り組めた C=　意識して目標設定できなかった D=　中止等により実施無し
令和５年度 課題と目標	少子化や共働き世帯の増加により子育てサークルは減少しつつあるものの、意欲的・自主的に活動しているサークル活動の支援を継続する。
生涯学習審議会 委員意見	**特になし**

令和５年度　生涯学習関連事業　具体的施策事業評価シート

事業No.	63
施策体系	6　市民が学び合う生涯学習社会の進展
推進施策	(3) 市民・地域活動への支援
主な取り組み	⑧ 地域における豊かな学びを推進するため、多様な主体が協働し、共に学び合えるよう努めます。
担当課	こども福祉課
事業名	地域子育て支援拠点事業　子育てサークル支援
事業内容	各地域子育て支援センターや地域で活動する子育てサークルに対し、専門職（保健師・栄養士・保育士等）の派遣、遊具等の貸出などを行い、子育てを支援する。
令和５年度 事業予算額	76,761,000円 （地域子育て支援拠点運営費全体）
令和５年度 事業目標	引き続き専門職の派遣や遊具等の貸出により、サークル活動の支援を行う。
令和５年度 事業実績	専門職の派遣希望のあったサークルや遊具等の貸出希望のあったサークルに対し、支援を行った。
令和５年度 事業評価	B A=　事業目標を十分に達成した B=　事業目標を概ね達成した C=　事業目標の達成に向けて内容の見直しが必要 D=　事業目標の達成に向けて事業自体の見直しが必要
令和５年度 評価理由	子育てサークルに対し、活動支援を行うことができたため。
令和６年度 課題と目標	少子化や共働き世帯の増加により子育てサークルは減少しつつあるものの、意欲的・自主的に活動しているサークルに対し、引き続き支援を継続する。

令和４年度　生涯学習関連事業　具体的施策事業評価・目的意識評価シート（参考）

事業No.	64
施策体系	6　市民が学び合う生涯学習社会の進展
推進施策	(3) 市民・地域活動への支援
主な取り組み	⑧ 地域における豊かな学びを推進するため、多様な主体が協働し、共に学び合えるよう努めます。
担当課	生涯学習課 （各公民館）
事業名	公民館まつり（公民館サークル発表会）
事業内容	公民館でサークル活動や学習をしている団体が日頃の学習や文化活動の成果を発表し、地域との交流と連帯を深める。
令和４年度 事業評価	全館で、集客的要素を廃した適正規模のサークル発表会を開催することができた。各館工夫を凝らして舞台や展示の発表を行い、3年ぶりの開催で活動に張り合いが出たサークルも多かった。
令和４年度 目的意識評価	B A=　意識して目標設定し目標を達成できた B=　意識して目標設定し取り組めた C=　意識して目標設定できなかった D=　中止等により実施無し
令和５年度 課題と目標	感染症対策が緩和されているなかで、各館実行委員会と協議を重ねて新しい公民館まつりの開催を模索する。
生涯学習審議会 委員意見	**特になし**

令和５年度　生涯学習関連事業　具体的施策事業評価シート

事業No.	64
施策体系	6　市民が学び合う生涯学習社会の進展
推進施策	(3) 市民・地域活動への支援
主な取り組み	⑧ 地域における豊かな学びを推進するため、多様な主体が協働し、共に学び合えるよう努めます。
担当課	生涯学習課 （各公民館）
事業名	公民館まつり（公民館サークル発表会）
事業内容	公民館でサークル活動や学習をしている団体が日頃の学習や文化活動の成果を発表し、地域との交流と連帯を深める。
令和５年度 事業予算額	117,700円
令和５年度 事業目標	感染症対策が緩和されたなかで、各館実行委員会等において協議を重ねて新しい公民館まつりの開催を模索する。
令和５年度 事業実績	集客的要素がある模擬店を復活させたり、地域の人に見学に来てもらったりして、前年度より参加者の多い公民館まつりを開催することができた。
令和５年度 事業評価	B A=　事業目標を十分に達成した B=　事業目標を概ね達成した C=　事業目標の達成に向けて内容の見直しが必要 D=　事業目標の達成に向けて事業自体の見直しが必要
令和５年度 評価理由	公民館サークルの日頃の成果発表と地域との交流という事業趣旨に沿った内容で実施することができたため。
令和６年度 課題と目標	実行委員会の役員の高齢化が進んでおり、日程や運営など開催方法の工夫が必要である。

令和４年度　生涯学習関連事業　具体的施策事業評価・目的意識評価シート（参考）

事業No.	65
施策体系	6　市民が学び合う生涯学習社会の進展
推進施策	(3) 市民・地域活動への支援
主な取り組み	⑧　地域における豊かな学びを推進するため、多様な主体が協働し、共に学び合えるよう努めます。
担当課	生涯学習課 （小倉公民館）
事業名	夏休み子どもふれあい広場
事業内容	地域団体と連携しながら、企画運営する。昔の遊び、手づくり体験などを通して、親子のふれあい、地域の人たちとの世代間交流を図る。
令和４年度 事業評価	公民館サークルの協力を得て、子どもに人形劇鑑賞や押し花作成、けん玉・コマ回しの機会を提供し、世代間交流をすることができた。
令和４年度 目的意識評価	B A=　意識して目標設定し目標を達成できた B=　意識して目標設定し取り組めた C=　意識して目標設定できなかった D=　中止等により実施無し
令和５年度 課題と目標	開催時期が他館同種のイベントと重なりやすいため、事前調整が必要である。
生涯学習審議会 委員意見	**特になし**

令和５年度　生涯学習関連事業　具体的施策事業評価シート

事業No.	65
施策体系	6　市民が学び合う生涯学習社会の進展
推進施策	(3) 市民・地域活動への支援
主な取り組み	⑧　地域における豊かな学びを推進するため、多様な主体が協働し、共に学び合えるよう努めます。
担当課	生涯学習課 （小倉公民館）
事業名	夏休み子どもふれあい広場
事業内容	地域団体と連携しながら、企画運営する。昔の遊び、手づくり体験などを通して、親子のふれあい、地域の人たちとの世代間交流を図る。
令和５年度 事業予算額	13,686円
令和５年度 事業目標	公民館サークルの協力を得て、子どもに紙芝居や押し花作成、けん玉・コマ回しの機会を提供し、世代間交流をする。 数値目標：参加者20人
令和５年度 事業実績	公民館サークルの協力を得て、子どもに紙芝居や押し花作成、けん玉・コマ回しの機会を提供し、世代間交流をすることができた。 数値実績：参加者10人
令和５年度 事業評価	B A=　事業目標を十分に達成した B=　事業目標を概ね達成した C=　事業目標の達成に向けて内容の見直しが必要 D=　事業目標の達成に向けて事業自体の見直しが必要
令和５年度 評価理由	紙芝居や押し花作成など、参加者には好評であったため。
令和６年度 課題と目標	夏休みとはいえ、幼児から小学校低学年が中心の取組みであり、保護者の引率が必須であるため、平日開催ではなく土曜日開催とし、開催内容も工夫する。

令和４年度　生涯学習関連事業　具体的施策事業評価・目的意識評価シート（参考）

事業No.	66
施策体系	6　市民が学び合う生涯学習社会の進展
推進施策	(3) 市民・地域活動への支援
主な取り組み	⑧ 地域における豊かな学びを推進するため、多様な主体が協働し、共に学び合えるよう努めます。
担当課	生涯学習課 （小倉公民館）
事業名	子ども教室（親子農業体験、書き初め教室）
事業内容	サークル等の協力を得て、学校や家庭で経験できない様々な体験を通して心豊かな人間性を育むとともに世代間交流と親睦を図る。
令和４年度 事業評価	親子農業体験と書き初め教室を実施した。農業に力を入れた令和4年度は収穫物も豊作で、小学生や保護者にとって、世代間交流や地域との交流につながる体験となった。
令和４年度 目的意識評価	B A=　意識して目標設定し目標を達成できた B=　意識して目標設定し取り組めた C=　意識して目標設定できなかった D=　中止等により実施無し
令和５年度 課題と目標	親子農業体験に関しては、畑管理にかかる負担が大きいが、今後も地域と連携しながら事業を実施する予定である。
生涯学習審議会 委員意見	**特になし**

令和５年度　生涯学習関連事業　具体的施策事業評価シート

事業No.	66
施策体系	6　市民が学び合う生涯学習社会の進展
推進施策	(3) 市民・地域活動への支援
主な取り組み	⑧ 地域における豊かな学びを推進するため、多様な主体が協働し、共に学び合えるよう努めます。
担当課	生涯学習課 （小倉公民館）
事業名	子ども教室（親子農業体験、書き初め教室）
事業内容	サークル等の協力を得て、学校や家庭で経験できない様々な体験を通して心豊かな人間性を育むとともに世代間交流と親睦を図る。
令和５年度 事業予算額	37,581円
令和５年度 事業目標	親子農業体験を3回、書き初め教室を1回実施する。 数値目標：参加者（親子農業体験）延べ54組（書き初め教室）40人
令和５年度 事業実績	親子農業体験を3回、書き初め教室を1回実施することができた。 数値実績：参加者（親子農業体験）延べ54組・160人（書き初め教室）40人
令和５年度 事業評価	A A=　事業目標を十分に達成した B=　事業目標を概ね達成した C=　事業目標の達成に向けて内容の見直しが必要 D=　事業目標の達成に向けて事業自体の見直しが必要
令和５年度 評価理由	親子農業体験、書き初め教室ともに好評で募集前から問合せがあり、親子農業体験は収穫物も豊作で、小学生や保護者にとって世代間交流や地域との交流につながる体験となったため。
令和６年度 課題と目標	親子農業体験は畑管理にかかる負担が大きいが、今後も地域と連携しながら事業を実施する予定である。

令和４年度　生涯学習関連事業　具体的施策事業評価・目的意識評価シート（参考）

事業No.	67
施策体系	6　市民が学び合う生涯学習社会の進展
推進施策	(3)　市民・地域活動への支援
主な取り組み	⑨　いきいきと豊かな生活を送ることができるよう、ライフステージにおけるニーズに応じて子どもから大人まで生涯にわたる学びを支援します。
担当課	生涯学習課 （中央公民館）
事業名	夏休み親子木工教室
事業内容	夏休み中の小学生とその保護者を対象に、木工作品づくりに挑戦し、親子のふれあいを深め、成し遂げる喜びや楽しみを体験してもらう。
令和４年度 事業評価	中央公民館では人気の講座であり、子どもが大人のサポートを受けながら木工に魅力を感じ、達成感をもつことができる講座となっている。
令和４年度 目的意識評価	B A=　意識して目標設定し目標を達成できた B=　意識して目標設定し取り組めた C=　意識して目標設定できなかった D=　中止等により実施無し
令和５年度 課題と目標	参加する子どもの低年齢化がみられ、大人の制作になりがちであることから、指導者と綿密に事前打合せを行う必要がある。
生涯学習審議会 委員意見	**特になし**

令和５年度　生涯学習関連事業　具体的施策事業評価シート

事業No.	67
施策体系	6　市民が学び合う生涯学習社会の進展
推進施策	(3)　市民・地域活動への支援
主な取り組み	⑨　いきいきと豊かな生活を送ることができるよう、ライフステージにおけるニーズに応じて子どもから大人まで生涯にわたる学びを支援します。
担当課	生涯学習課 （中央公民館）
事業名	夏休み親子木工教室
事業内容	夏休み中の小学生とその保護者を対象に、木工作品づくりに挑戦し、親子のふれあいを深め、成し遂げる喜びや楽しみを体験してもらう。
令和５年度 事業予算額	53,500円
令和５年度 事業目標	夏休み親子木工教室を3回実施する。 数値目標：参加者20組
令和５年度 事業実績	夏休み親子木工教室を3回実施することができた。 数値実績：参加者17組・38人
令和５年度 事業評価	B A=　事業目標を十分に達成した B=　事業目標を概ね達成した C=　事業目標の達成に向けて内容の見直しが必要 D=　事業目標の達成に向けて事業自体の見直しが必要
令和５年度 評価理由	前年度から実施回数を1回増やしたものの、定員の倍近い応募がある人気の講座となっており、当日も子どもが大人のサポートを受けながら熱心に取り組むことができていたため。
令和６年度 課題と目標	低学年の参加者が増えており、参加者に見合った講座の計画が必要である。

令和４年度　生涯学習関連事業　具体的施策事業評価・目的意識評価シート（参考）

事業No.	68
施策体系	6　市民が学び合う生涯学習社会の進展
推進施策	(3)　市民・地域活動への支援
主な取り組み	⑨　いきいきと豊かな生活を送ることができるよう、ライフステージにおけるニーズに応じて子どもから大人まで生涯にわたる学びを支援します。
担当課	生涯学習課 （広野公民館）
事業名	夏休み親子木工教室
事業内容	夏休み中の小学生とその保護者を対象に、木工作品づくりに挑戦し、親子のふれあいを深め、成し遂げる喜びや楽しみを体験してもらう。
令和４年度 事業評価	講師都合により中止となった。
令和４年度 目的意識評価	D A=　意識して目標設定し目標を達成できた B=　意識して目標設定し取り組めた C=　意識して目標設定できなかった D=　中止等により実施無し
令和５年度 課題と目標	令和5年度は、従前どおり子どもに創作する楽しさを感じてもらえるような木工教室を実施する予定である。
生涯学習審議会 委員意見	**特になし**

令和５年度　生涯学習関連事業　具体的施策事業評価シート

事業No.	68
施策体系	6　市民が学び合う生涯学習社会の進展
推進施策	(3)　市民・地域活動への支援
主な取り組み	⑨　いきいきと豊かな生活を送ることができるよう、ライフステージにおけるニーズに応じて子どもから大人まで生涯にわたる学びを支援します。
担当課	生涯学習課 （広野公民館）
事業名	夏休み親子木工教室
事業内容	夏休み中の小学生とその保護者を対象に、木工作品づくりに挑戦し、親子のふれあいを深め、成し遂げる喜びや楽しみを体験してもらう。
令和５年度 事業予算額	12,565円
令和５年度 事業目標	夏休み親子木工教室を1回実施する。 数値目標：参加者8組
令和５年度 事業実績	夏休み親子木工教室を1回実施することができた。 数値実績：参加者8組・14人
令和５年度 事業評価	B A=　事業目標を十分に達成した B=　事業目標を概ね達成した C=　事業目標の達成に向けて内容の見直しが必要 D=　事業目標の達成に向けて事業自体の見直しが必要
令和５年度 評価理由	前年度は講師都合により実施できなかったが、令和5年度は参加者が木工作品づくりを通じて達成感と満足感を得ることができる講座を実施することができたため。
令和６年度 課題と目標	引き続き子どもに創作する楽しさを感じてもらえるような講座を企画する。

令和４年度　生涯学習関連事業　具体的施策事業評価・目的意識評価シート（参考）

事業No.	69
施策体系	6　市民が学び合う生涯学習社会の進展
推進施策	(3)　市民・地域活動への支援
主な取り組み	⑨　いきいきと豊かな生活を送ることができるよう、ライフステージにおけるニーズに応じて子どもから大人まで生涯にわたる学びを支援します。
担当課	生涯学習課 （木幡公民館）
事業名	夏休みはなまる工作教室
事業内容	仲間と共に自由な発想で木工作に取り組み、作る楽しみを体験し創造力を養う。
令和４年度 事業評価	講師都合により中止となった。
令和４年度 目的意識評価	D A=　意識して目標設定し目標を達成できた B=　意識して目標設定し取り組めた C=　意識して目標設定できなかった D=　中止等により実施無し
令和５年度 課題と目標	令和5年度は、従前どおり子どもに創作する楽しさを感じてもらえるような木工教室を実施する予定である。
生涯学習審議会 委員意見	**特になし**

令和５年度　生涯学習関連事業　具体的施策事業評価シート

事業No.	69
施策体系	6　市民が学び合う生涯学習社会の進展
推進施策	(3)　市民・地域活動への支援
主な取り組み	⑨　いきいきと豊かな生活を送ることができるよう、ライフステージにおけるニーズに応じて子どもから大人まで生涯にわたる学びを支援します。
担当課	生涯学習課 （木幡公民館）
事業名	夏休みはなまる工作教室
事業内容	仲間と共に自由な発想で木工作に取り組み、作る楽しみを体験し創造力を養う。
令和５年度 事業予算額	11,700円
令和５年度 事業目標	夏休みはなまる木工教室を1回実施する。 数値目標：参加者12人
令和５年度 事業実績	夏休みはなまる木工教室を1回実施することができた。 数値実績：参加者12人
令和５年度 事業評価	B A=　事業目標を十分に達成した B=　事業目標を概ね達成した C=　事業目標の達成に向けて内容の見直しが必要 D=　事業目標の達成に向けて事業自体の見直しが必要
令和５年度 評価理由	前年度は講師都合により実施できなかったが、令和5年度は親と子どもが一緒になって楽しく木工作に取り組む講座を実施することができたため。
令和６年度 課題と目標	引き続き子どもに創作する楽しさを感じてもらえるような講座を企画する。

令和４年度　生涯学習関連事業　具体的施策事業評価・目的意識評価シート（参考）

事業No.	70
施策体系	6　市民が学び合う生涯学習社会の進展
推進施策	(3)　市民・地域活動への支援
主な取り組み	⑨　いきいきと豊かな生活を送ることができるよう、ライフステージにおけるニーズに応じて子どもから大人まで生涯にわたる学びを支援します。
担当課	生涯学習センター
事業名	はじめよう！セカンドライフ
事業内容	ボランティア活動センターや福祉サービス公社と企画運営し、退職後のシニア世代が今までの生き方を振り返り、今後の地域や社会の中での役割や、居場所、生き方を考える。
令和４年度 事業評価	シニアのセカンドライフ支援のため、大学教授等による講演、ボランティア活動者の発表、参加者の交流からなる講座を行った。コロナ以前のように、2回連続講座を2度開催することができた。
令和４年度 目的意識評価	B A=　意識して目標設定し目標を達成できた B=　意識して目標設定し取り組めた C=　意識して目標設定できなかった D=　中止等により実施無し
令和５年度 課題と目標	より多くのシニアに参加してもらえるよう開催時期等を工夫する。
生涯学習審議会 委員意見	**特になし**

令和５年度　生涯学習関連事業　具体的施策事業評価シート

事業No.	70
施策体系	6　市民が学び合う生涯学習社会の進展
推進施策	(3)　市民・地域活動への支援
主な取り組み	⑨　いきいきと豊かな生活を送ることができるよう、ライフステージにおけるニーズに応じて子どもから大人まで生涯にわたる学びを支援します。
担当課	生涯学習センター
事業名	はじめよう！セカンドライフ
事業内容	セカンドライフの過ごし方を考えている人などを対象として、今後の過ごし方について考えるきっかけとなるよう、生涯学習や地域活動、ボランティア活動等に関する情報を提供し、参加者同士の交流の場として、宇治ボランティア活動センター・宇治市福祉サービス公社と共催で開催。
令和５年度 事業予算額	66,500円
令和５年度 事業目標	「大学教授等による講演」「ボランティア活動等体験者による発表」の2回連続講座を2度開催し、参加者が新たな活動を始めたり、活動の幅を広げるきっかけとなるよう情報提供し、参加者同士の交流を図る。
令和５年度 事業実績	「大学教授等による講演」「ボランティア活動等体験者による発表」の2回連続講座を秋と春に2度開催した。
令和５年度 事業評価	B A=　事業目標を十分に達成した B=　事業目標を概ね達成した C=　事業目標の達成に向けて内容の見直しが必要 D=　事業目標の達成に向けて事業自体の見直しが必要
令和５年度 評価理由	第1講での講演を通じ、地域への関わりやボランティア活動等の内容・考え方を知る機会を提供できた。また、第2講での発表・交流会を通じ、活動のきっかけづくりや活動の幅を広げる道筋を一定程度提供できた。
令和６年度 課題と目標	年々参加者が減少傾向にある。鳳凰大学や公民館での講座でチラシを配布して参加を呼び掛けたが、大きな効果はなかった。広報に課題が残ると考えられるものの、広報媒体には限りがあり、打開策を探る必要がある。

令和４年度　生涯学習関連事業　具体的施策事業評価・目的意識評価シート（参考）

事業No.	71
施策体系	6　市民が学び合う生涯学習社会の進展
推進施策	(3)　市民・地域活動への支援
主な取り組み	⑨　いきいきと豊かな生活を送ることができるよう、ライフステージにおけるニーズに応じて子どもから大人まで生涯にわたる学びを支援します。
担当課	生涯学習課 （木幡公民館）
事業名	チャレンジ・やってみよう
事業内容	子どもが新たなことに取り組もうとしたり、さらに力を伸ばそうとしたりする意欲を高め、生きる力を育てる一つの機会とする。
令和４年度 事業評価	ジャグリング体験、和菓子作り、タイルコースター作り、けん玉体験などを行った。ほとんどの講座を親子同伴可とし、親子で協力し合って活動してもらい、満足度の高い事業となっている。
令和４年度 目的意識評価	B A=　意識して目標設定し目標を達成できた B=　意識して目標設定し取り組めた C=　意識して目標設定できなかった D=　中止等により実施無し
令和５年度 課題と目標	当初の申込みが少ない講座があったため、広報の工夫が必要である。
生涯学習審議会 委員意見	**特になし**

令和５年度　生涯学習関連事業　具体的施策事業評価シート

事業No.	71
施策体系	6　市民が学び合う生涯学習社会の進展
推進施策	(3)　市民・地域活動への支援
主な取り組み	⑨　いきいきと豊かな生活を送ることができるよう、ライフステージにおけるニーズに応じて子どもから大人まで生涯にわたる学びを支援します。
担当課	生涯学習課 （木幡公民館）
事業名	チャレンジ・やってみよう
事業内容	子どもが新たなことに取り組もうとしたり、さらに力を伸ばそうとしたりする意欲を高め、生きる力を育てる一つの機会とする。
令和５年度 事業予算額	31,700円
令和５年度 事業目標	和菓子作りを2回、お茶体験を1回、けん玉体験を1回実施する。 数値目標：参加者89人
令和５年度 事業実績	和菓子作りを2回、お茶体験を1回、けん玉体験を1回実施することができた。 数値実績：参加者78人
令和５年度 事業評価	B A=　事業目標を十分に達成した B=　事業目標を概ね達成した C=　事業目標の達成に向けて内容の見直しが必要 D=　事業目標の達成に向けて事業自体の見直しが必要
令和５年度 評価理由	ほとんどの講座を親子同伴可とし、親子で協力し合って活動してもらい、満足度の高い講座となっているため。
令和６年度 課題と目標	新しいテーマを含む講座を企画する。

令和４年度　生涯学習関連事業　具体的施策事業評価・目的意識評価シート（参考）

事業No.	72
施策体系	6　市民が学び合う生涯学習社会の進展
推進施策	(3)　市民・地域活動への支援
主な取り組み	⑨　いきいきと豊かな生活を送ることができるよう、ライフステージにおけるニーズに応じて子どもから大人まで生涯にわたる学びを支援します。
担当課	生涯学習課 （木幡公民館）
事業名	親と子のちょっとおしゃれな木幡倶楽部
事業内容	ものづくりや芸術鑑賞、体を動かす体験を通して、親子、高齢者の世代間交流を図り、「生活の知恵」「子育てアドバイス」などを学ぶ。
令和４年度 事業評価	七宝焼き、フェルト小物入れ、クリスマスリースなどをつくる講座を行った。親子が力を合わせて完成に向けて取り組む姿が多数見られた。
令和４年度 目的意識評価	B A=　意識して目標設定し目標を達成できた B=　意識して目標設定し取り組めた C=　意識して目標設定できなかった D=　中止等により実施無し
令和５年度 課題と目標	作成が難しい作品に幼児が挑戦すると、保護者や指導者の手を借りることが多くなり、達成感にはつながりづらくなるため、レベルに応じた作品作りができるよう、指導者との事前調整が必要である。
生涯学習審議会 委員意見	**特になし**

令和５年度　生涯学習関連事業　具体的施策事業評価シート

事業No.	72
施策体系	6　市民が学び合う生涯学習社会の進展
推進施策	(3)　市民・地域活動への支援
主な取り組み	⑨　いきいきと豊かな生活を送ることができるよう、ライフステージにおけるニーズに応じて子どもから大人まで生涯にわたる学びを支援します。
担当課	生涯学習課 （木幡公民館）
事業名	親と子のちょっとおしゃれな木幡倶楽部
事業内容	ものづくりや芸術鑑賞、体を動かす体験を通して、親子、高齢者の世代間交流を図り、「生活の知恵」「子育てアドバイス」などを学ぶ。
令和５年度 事業予算額	59,700円
令和５年度 事業目標	小物入れ、七宝焼き、パン、クリスマスリースをつくる講座を各1回実施する。 数値目標：参加者64人
令和５年度 事業実績	小物入れ、七宝焼き、パン、クリスマスリースをつくる講座を各1回実施することができた。 数値実績：参加者53人
令和５年度 事業評価	B A=　事業目標を十分に達成した B=　事業目標を概ね達成した C=　事業目標の達成に向けて内容の見直しが必要 D=　事業目標の達成に向けて事業自体の見直しが必要
令和５年度 評価理由	小物入れは初めての内容で当初応募は少なかったが、その他の講座は人気が高く受付開始後すぐに定員に達し、いずれの講座も大変好評であったため。
令和６年度 課題と目標	好評であったテーマで講座を企画する。

令和４年度　生涯学習関連事業　具体的施策事業評価・目的意識評価シート（参考）

事業No.	73
施策体系	6　市民が学び合う生涯学習社会の進展
推進施策	(3)　市民・地域活動への支援
主な取り組み	⑨　いきいきと豊かな生活を送ることができるよう、ライフステージにおけるニーズに応じて子どもから大人まで生涯にわたる学びを支援します。
担当課	生涯学習課 （広野公民館）
事業名	音楽の広場
事業内容	地域の人々に歌を楽しんでもらい、歌を通じて地域住民が交流を図れるよう実施する。
令和４年度 事業評価	参加者は高齢者が多く、新型コロナウイルス感染症の影響により鑑賞を中心とし、大きな声での合唱は行わなかった。
令和４年度 目的意識評価	B A=　意識して目標設定し目標を達成できた B=　意識して目標設定し取り組めた C=　意識して目標設定できなかった D=　中止等により実施無し
令和５年度 課題と目標	様々な世代の地域住民が参加できるよう広報の工夫が必要である。
生涯学習審議会 委員意見	**特になし**

令和５年度　生涯学習関連事業　具体的施策事業評価シート

事業No.	73
施策体系	6　市民が学び合う生涯学習社会の進展
推進施策	(3)　市民・地域活動への支援
主な取り組み	⑨　いきいきと豊かな生活を送ることができるよう、ライフステージにおけるニーズに応じて子どもから大人まで生涯にわたる学びを支援します。
担当課	生涯学習課 （広野公民館）
事業名	音楽の広場
事業内容	地域の人々に歌を楽しんでもらい、歌を通じて地域住民が交流を図れるよう実施する。
令和５年度 事業予算額	9,959円
令和５年度 事業目標	地域住民が楽しめる音楽の広場を実施する。 数値目標：参加者90人
令和５年度 事業実績	地域住民が楽しめる音楽の広場を実施することができた。 数値実績：参加者55人
令和５年度 事業評価	B A=　事業目標を十分に達成した B=　事業目標を概ね達成した C=　事業目標の達成に向けて内容の見直しが必要 D=　事業目標の達成に向けて事業自体の見直しが必要
令和５年度 評価理由	多くの地域住民や公民館利用者の参加を得て、皆で声を出して歌唱を行い交流することができたため。
令和６年度 課題と目標	平日の午前開催ではあるが、広報の工夫により様々な世代の地域住民の参加を得たい。

令和４年度　生涯学習関連事業　具体的施策事業評価・目的意識評価シート（参考）

事業No.	74
施策体系	6　市民が学び合う生涯学習社会の進展
推進施策	(5) 質の高い生涯学習環境の推進
主な取り組み	③　他分野の市民団体のネットワークが広がるよう、交流機会の拡大や情報共有に努めます。
担当課	文化スポーツ課
事業名	宇治川マラソン大会
事業内容	スポーツ推進・市民相互の交流・観光都市宇治のPRの場として市民及び全国各地からの参加者を対象にマラソン大会を開催する。
令和４年度 事業評価	感染症対策を適切に行い、また、コースの見直しやゲストランナー招聘など内容の充実を図ることで、4年ぶりの開催に至り、1,320人の参加となった。
令和４年度 目的意識評価	B A=　意識して目標設定し目標を達成できた B=　意識して目標設定し取り組めた C=　意識して目標設定できなかった D=　中止等により実施無し
令和５年度 課題と目標	更に内容の充実を図り、安心安全に、且つ新たな魅力を創出し、スポーツ気運を醸成する。
生涯学習審議会 委員意見	**特になし**

令和５年度　生涯学習関連事業　具体的施策事業評価シート

事業No.	74
施策体系	6　市民が学び合う生涯学習社会の進展
推進施策	(5) 質の高い生涯学習環境の推進
主な取り組み	③　他分野の市民団体のネットワークが広がるよう、交流機会の拡大や情報共有に努めます。
担当課	文化スポーツ課
事業名	宇治川マラソン大会
事業内容	スポーツ推進・市民相互の交流・観光都市宇治のPRの場として市民及び全国各地からの参加者を対象にマラソン大会を開催する。
令和５年度 事業予算額	1,450,000円
令和５年度 事業目標	参加者2,000人
令和５年度 事業実績	参加者1,436人（当日出走者数） 今大会は、宇治市観光大使の安田美沙子さんをゲストランナーとして招聘した。
令和５年度 事業評価	B A=　事業目標を十分に達成した B=　事業目標を概ね達成した C=　事業目標の達成に向けて内容の見直しが必要 D=　事業目標の達成に向けて事業自体の見直しが必要
令和５年度 評価理由	ゲストランナーとして宇治市観光大使の安田美沙子さんを招聘し、昨年度よりも多くのランナーに参加してもらえた。しかし目標値の2,000人には到達できなかった。
令和６年度 課題と目標	引き続き、大会の魅力度向上を図り、参加者2,000人を目指すとともに、大会運営に関わる役員等に対して主催者意識向上に向けた取り組みや体制の見直しが必要。

令和４年度　生涯学習関連事業　具体的施策事業評価・目的意識評価シート（参考）

事業No.	75
施策体系	6　市民が学び合う生涯学習社会の進展
推進施策	(5) 質の高い生涯学習環境の推進
主な取り組み	③　他分野の市民団体のネットワークが広がるよう、交流機会の拡大や情報共有に努めます。
担当課	文化スポーツ課
事業名	宇治市民文化芸術祭
事業内容	市内の主な文化芸術団体を中心に舞台・展示を開催。その他、いけばな・音楽・写真・絵画はそれぞれ独自に実施。実行委員会を構成し、企画・運営を行う。
令和４年度 事業評価	市民等が日頃の文化芸術活動の成果を発表することにより、文化芸術活動者間の交流を促進し、それぞれの活動への理解が深まるきっかけづくりができた。
令和４年度 目的意識評価	B A=　意識して目標設定し目標を達成できた B=　意識して目標設定し取り組めた C=　意識して目標設定できなかった D=　中止等により実施無し
令和５年度 課題と目標	参加者及び入場者が増加するためには、事業内容や広報等を再検討しなければならない。
生涯学習審議会 委員意見	**特になし**

令和５年度　生涯学習関連事業　具体的施策事業評価シート

事業No.	75
施策体系	6　市民が学び合う生涯学習社会の進展
推進施策	(5) 質の高い生涯学習環境の推進
主な取り組み	③　他分野の市民団体のネットワークが広がるよう、交流機会の拡大や情報共有に努めます。
担当課	文化スポーツ課
事業名	宇治市民文化芸術祭
事業内容	市内の主な文化芸術団体を中心に舞台・展示を開催。その他、いけばな・音楽・写真・絵画はそれぞれ独自に実施。実行委員会を構成し、企画・運営を行う。
令和５年度 事業予算額	1,800,000円
令和５年度 事業目標	来場者数7,500人（宇治市文化芸術振興基本計画目標（R15までの達成目標）） （R15までの達成目標））
令和５年度 事業実績	来場者数4,200人
令和５年度 事業評価	B A=　事業目標を十分に達成した B=　事業目標を概ね達成した C=　事業目標の達成に向けて内容の見直しが必要 D=　事業目標の達成に向けて事業自体の見直しが必要
令和５年度 評価理由	新型コロナウイルス感染症の影響により、令和２、３年度が中止となり、令和４年度は来場者数が大きく減少した中、令和５年度は前年度を上回る来場者数となった為。
令和６年度 課題と目標	参加者及び来場者が増加するためには、事業内容や広報等を再検討しなければならない。

令和４年度　生涯学習関連事業　具体的施策事業評価・目的意識評価シート（参考）

事業No.	76
施策体系	6　市民が学び合う生涯学習社会の進展
推進施策	(5) 質の高い生涯学習環境の推進
主な取り組み	③　他分野の市民団体のネットワークが広がるよう、交流機会の拡大や情報共有に努めます。
担当課	生涯学習センター
事業名	センター協力者グループ交流会
事業内容	生涯学習センター事業に協力している個人・グループが集まり、各団体の活動を紹介し、団体同士の交流を図る機会とする。
令和４年度 事業評価	令和元年度から実施ができていない。
令和４年度 目的意識評価	D A=　意識して目標設定し目標を達成できた B=　意識して目標設定し取り組めた C=　意識して目標設定できなかった D=　中止等により実施無し
令和５年度 課題と目標	新しい形での実施を検討する。
生涯学習審議会 委員意見	**特になし**

令和５年度　生涯学習関連事業　具体的施策事業評価シート

事業No.	76
施策体系	6　市民が学び合う生涯学習社会の進展
推進施策	(5) 質の高い生涯学習環境の推進
主な取り組み	③　他分野の市民団体のネットワークが広がるよう、交流機会の拡大や情報共有に努めます。
担当課	生涯学習センター
事業名	センター協力者グループ交流会
事業内容	生涯学習センター事業に協力している個人・グループが集まり、各団体の活動を紹介し、団体同士の交流を図る機会とする。
令和５年度 事業予算額	0円
令和５年度 事業目標	令和6年度に新たに実施するコミュニティ・スクール（以下、CS）交流会に発展解消することとし、その準備を行う。交流会参加者は、生涯学習に取り組む団体・個人（人材バンク登録講師含む）、教職員、CSコーディネーターの予定。
令和５年度 事業実績	実施なし。
令和５年度 事業評価	B A=　事業目標を十分に達成した B=　事業目標を概ね達成した C=　事業目標の達成に向けて内容の見直しが必要 D=　事業目標の達成に向けて事業自体の見直しが必要
令和５年度 評価理由	事業の実施はなかったものの、事業自体の見直しを行い、新たな交流会の実施に向けて準備を進めることができた。
令和６年度 課題と目標	生涯学習に取り組む団体・個人がCSに関する理解を深め、地域や学校での活動に協働して取り組むためのヒントを得ること、関係者が知り合い交流することを目的として、CSの担当課である教育支援課と共催でCS交流会を開催する。